

生セル此ノ形式ハ大衆ノ活動力ヲ極度迄ニ發揮シ其ノ決定的勝利ヲ博スルコトニ對シ最大ノ保證ヲ與フル形式ナリ

(d) 「ブルジョア」的民主主義ト獨裁

「ソヴェエト」國家ノ形式ハ「ブルジョア」的民主主義トハ全然相容レザルモノニシテ「ブルジョア」的民主主義ハ「ブルジョア」ノ獨裁ヲ裝フ形式ニナリ、労働者ノ大衆團體ハ「ブルジョア」的民主主義ノ下ニ於テハ只隱忍スルニ過ギザルモ「プロレタリア」獨裁ノ下ニ於テハ「プロレタリア」國家ノ最モ主要ナル支柱ニシテ且機關タリ

「ソヴェエト」國家ハ「ブルジョア」的民主主義ニ反シ人口ノ壓倒的多數ヲ占ムル「プロレタリア」ノ利益ノ爲メニ搾取者ヲ抑壓スルヲ以テ其ノ公然ノ任務トナス

「ブルジョア」的民主主義ハ生産手段殊ニ重要ナル物質的價值ヲ有スル總テノ物件ニ對スル資本家階級ノ獨占ヲ以テ動かスベカラザルモノト爲シ労働者ノ形式の權利ヲ以テ全ク空虚ノモノタラシムルニ反シ「ソヴェエト」國家ハ労働階級ノ自由ヲ物質的ニ保證シ、労働團體ノ活動ヲ可能ナラシメ、以テ右労働者ノ權利ヲ遂行スル爲メ必要ナル前提條件ヲ作ルモノナリ、凡テノ搾取制度ニ於テハ性、民族、宗教、國籍ノ相違ニ基キ人民ノ平不平等ヲ認ムルモ

「プロレタリア」獨裁ハ歴史上初メテ右不平等ヲ除去シ以テ未ダ如何ナル資本主義國家ニ於テモ實現セラレザリシ人民ノ平等ヲ確立スルニ至レリ

「プロレタリア」民主主義ハ其ノ機關ヲ以テ労働者間ニ最モ廣汎ナル民主主義制度ヲ實現スルモノニシテ即チ右大衆ニ對シ最モ接近シ之ヲ行政ニ參加セシムルモノナリ、代表者ヲ新ニ選舉スル權利、其ノ隨時召集、行政權ト司法權ノ聯絡竝ニ地域ニ據ラズシテ生産制度ニ從フ選舉制度（工業及營業團體等ニ據ル）此等ニ凡テ「ブルジョア」的代議制度ノ共和國ト「プロレタリア」ノ「ソヴェエト」制度トノ間ニ存スル著シキ懸隔ナリ

労働階級ハ全労働大衆殊ニ農民大衆ノ指導者ニシテ又前衛ナルガ其ノ指導者トシテノ任務ノ遂行ヲ確保スル爲メニ法律上ノ特權ヲ認メラル、右法律上ノ特權ハ其ノ發達ノ第一階梯ニ於テハ已ヲ得ザル處ナルガ漸次之ヲ廢止スルニ努メザルベカラズ

而シテ遂ニハ労働大衆中ノ爾余ノ部分及國民ノ爾余ノ部分モ新ナル關係ニ於テ新ナル教育ヲ受クル程度ニ達セザルベカラズ

(e) 「ブルジョア」ノ武器獨占ノ制度ノ破壊

「ブルジョア」ノ武器獨占制度ヲ打破シ之ヲ「プロレタリア」ノ掌中ニ掌握スル事ハ労働階

級ニ依ル政權獲得ノ重要ナル要素タリ「ブルジョア」ノ武装ヲ解除シ「プロレタリア」ヲ武装スルコトハ「プロレタリア」ノ主タル目的トナスモノナリ

(f) 軍隊ノ組織

「プロレタリア」ノ軍隊ハ嚴格ナル訓練ニ基キ、階級ノ原則ニ立脚シ、「プロレタリア」ノ獨裁ヲ完全ニ建設セントスルノ目的ニ副ヒ且「プロレタリア」ニ對シテ其ノ指導的地位ヲ保證スルモノタラザルベカラズ

(g) 掠奪者ヨリノ沒收「ブルジョア」ノ生産手段獨占ノ廢止、實權獲得ニ必要ナル事業(土地、大産業、銀行、大規模取引、外國貿易、印刷事業及新聞)ヲ「プロレタリア」ガ奪取スルコト、「プロレタリア」國家ノ經濟政策ト私經濟トノ間ニ正當ナル關係ヲ樹立スルコト、戰時共產主義資本主義經濟ニ於ケル手段方法ノ暫時使用、經濟ハ如何ナル形式ヲトルベキヤノ論争、労働者及農民ノ經濟上ノ同盟

勝利ヲ得タル「プロレタリア」ハ其捷チ得タル權力ヲ利用シ、一方敵ノ反抗ヲ彈壓シ且ツ「ブルジョア」ノ攻撃ニ抗シテ労働階級ノ支配ヲ永續セシメ他方其勢力ヲ集中シテ掠奪者ヨリノ掠奪ヲ敢行セザル可ラズ即先ヅ經濟上ノ革命的變更ヲ行ヒ次テ他ノ總テノ社會上

ノ變革ヲ行フベシ、原則トシテコノ掠奪ハ沒收ノ形式ニ於テ行ハル即生産手段ノ無償沒收ヲ行ヒ「プロレタリア」國家ノ手ニ移サザル可ラズ、此方面ニ於テ共產「インターナショナル」ハ次ノ如キ基礎確立ニ必要ナル手段方法ヲ提唱ス

一、産業ノ大規模ナルモノ、運送、交通(電信、電話)及電氣事業ヲ「プロレタリア」ノ支配下ニ置クコト

二、大地主ノ所有地ヲ國有化シ、「プロレタリア」專制機關ノ處分ニ委シ農業「プロレタリア」ノ助力ヲ借リテ土地ヲ開拓シ以テ農業「プロレタリア」ヲシテ國有財産ニ關スル國家行政ニ關與セシメ、大地主所有地ノ一部殊ニ農業「プロレタリア」ガ賃借シテ耕作シ居リタル土地ヲ貧農及一部ノ中農(農民ニ與ヘラルベキ土地面積ノ標準ハ經濟上ヨリ見テ收支償フヤ否ヤニヨリ又農民ヲ中立セシムルニ必要ナル程度ニ從ヒ更ニ社會政策的見地ヨリ決定セラル)ニ讓與スルコト、農業上ノ改良資金信用ヲ設定スルコト、高利及土地投機ヲ取締ルコト、農民啓發救助ヲ講ズルコト例ヘバ適當ナル學校ヲ建設スルコト等

三、銀行ノ國有化、全部ノ準備貨幣、有貨證券其他ヲ「プロレタリア」國家ノ手ニ移ス

コト、小節約者又ハ小預金者ノ利益ヲ擁護スルコト銀行組織ノ中央集權ヲ行フコト及
總テノ大銀行ヲ共和國中央銀行ノ下ニ隸屬セシムルコト

四、大商業ノ國有化又ハ都市有化

五、國債ノ破却

六、外國貿易ノ獨占

七、主モナル印刷所及新聞ノ獨占

コレラノ各項目ヲ實現スルニ際シテハ次ノ原則ニ注意セザル可ラズ

原則トシテ小中企業ハ國有化ス可ラズ、第一ノ理由ハ「プロレタリア」ハ權力ヲ得タリ
トスルモ特ニ其專制實現ノ當初ニハ建設的方面ニ必要ナル頭數ヲ有セザルヲ以テ舊制度
ヲ破壊シ更ニ其上小中ノ生産機關ノ連絡ヲ保ツコトハ不可能ナルガ爲ナリ

第二ノ理由ハ「プロレタリア」ハ中間團體ノ反抗ヲ生ゼシメザルヲ要スルガ爲ナリ、政
權ヲ獲得シタル「プロレタリア」ハ一方中央集權的ニ且ツ計畫的ニ行ハルル生産ト一方
單ニ附ケタリニ過ギザル生産トノ間ニ正確ナル區別ヲツケ後者ハ個人ノ意思ニ委セザル
可ラズ

上記ノ如キ基礎確立ノ手段方法ヲ實行スルコトニヨリ政權ヲ得タル「プロレタリア」ハ
資本主義經濟ヨリ社會主義經濟ヘノ最初ノ過渡期ニ於テ實行スベキ經濟政策上ノ根本的
使命ヲ果スニ當リ最モ重要ナル前提條件ヲ充スコトトナルナリ

此根本的的使命ヲ果ス方法ハ一方此目的ヲ達センガため經濟上如何ナルコトヲナスガ必要
ナルカ又他方今後モ尙ホ永ク存続シ又繰返サルベキ内亂又ハ戰爭ニ對シ政治上如何ナル
コトヲナスガ必要ナルカニヨリテ決セラル、各國ノ經濟竝ニ政治狀態及其國際關係ノ具
體的條件ニ從ヒ長短ノ差コソアレ一定期間ハ吾人ノ敵タル階級ノ物質上ノ根據ヲ覆ヘシ
現存スル貯藏物ヲ合理的ニ消費スベク仕組マレタル經濟的組織ヲ必要トスルハ明ナリ但
シ之ガ爲メ「プロレタリア」ノ經濟生活ト密接ナル關係アル私經濟ノ生産額ヲ（徵發其
他ニヨリ）減少セシメ、生産力ノ増加ヲ大大的ニ阻止シ場合ニヨリテハ生産不能ニ陥ラ
シムルコトモアリ得ルナリ（戰時共產主義）

サレド公明正大ナル内亂戰ノ終熄後即勞動階級ノ政治上ノ優越權ガ確立シタル後合理化
サレタル經濟政策ガ利益ニシテ目的ニ適ヘルコトハ愈々明トナリ尊重セラルベク、同時
ニ戰時共產主義ノトリタル手段ハ姿ヲ隠シ遂ニハ廢止セラルベシ

「プロレタリア」專制ノ初期ニ當リ社會經濟ハ全體トシテハ次ノ如キ形ヲトルベシ
 一 概ニ經濟改革ト云フモ大ハ社會主義化セル大産業及社會主義化セル農業生産ノ統一ヨ
 リ小ハ手工業又ハ農夫ノ小規模ナル私經濟ニ至ルマデ種々雜多ナル經濟改革ニ在リ
 當該國ガ資本主義ノ色彩濃厚ナル程經濟組織ノ形式ハ益益多種多様ナリ

此ノ種々ナル形式ニ對應シテ種々ナル階級ト經濟的衝動ノ種々ナル形式トガ存シ、其階
 級及經濟的衝動ノ動キコソ現實ノ生産從ツテ生産力ノ現實ノ發達ヲモ左右スルモノナリ
 大規模ノ生産及經濟上決定的勢力ヲ有スル生産ヲ其掌中ニ收メタル「プロレタリア」ノ
 經濟政策上ノ根本的使命ハ此ノ點ヲ考慮シテ決セラルベキナリ、大産業又ハ交通機關ノ
 經濟上ノ勢力並ニ國家ノ行政機關ノ權力ヲ利用シ、私經濟及私經濟的ニ活動セントスル
 欲望ヲ調整シ遂ニハ出來得ル限り圓滑ニ此種私經濟ナル形式ヲ消滅セシメザル可ラズ此
 場合最モ必要ナルハ市場ニ適合スル様取計フコト及市場關係ヲ調整スルコトナリ

「プロレタリア」ハ市場ノ調整ニヨリ又時代遅レノ經濟組織及之ヨリ絶間ナク生ズル「ブ
 ルジョア」、商人、資本家等ノ階級ト戰フコトニヨリ、「プロレタリア」專制ノ欲スル經濟
 形式ノ實現ヲ期セザル可ラズ、但シ市場ニ適合センガ爲ニハ資本主義經濟ノ下ニ行ハル

ル形式又ハ方法ヲ暫時準用セザルヲ得ズ（經濟上ノ種種ノ計算、貨幣ニヨル支拂、取引上
 ノ諸機關ヲ設クルコト、即取引所及銀行其他ノ如シ）サレド此等ノ形式ハ資本主義經濟
 ノ夫レト同一ナルモ「プロレタリア」國家ニ於テハ内容ハ反資本主義的ノモノタルコト
 恰モ現在ノ「プロレタリア」軍隊ガ形式ハ資本主義時代ノ通りナルモ其内容ハ反資本主
 義的ニシテ其色彩ハ益益濃厚トナリツツアルガ如シ、又コノ資本主義的ナル形式又ハ方
 法ヲ用フルコトハ其レ自身資本主義克服ノ萌芽ヲ培フコトトナルナリ、何トナレバコノ
 形式方法ニヨリ「プロレタリア」ノ大生産ガ速カニ發展スレバスル程市場關係ヲ特ニ重
 要視スルノ必要ハ益益僅少トナリ、計畫的ナル經濟政策ハ益益發達シ、資本主義的經濟
 形式ハ益益不必要トナルヲ以テナリ

サレド社會主義化シタル事業ニ於テモ現在ノ如ク資本主義ノ影響ノ殘存シ且ツ勞動階級
 ノ不統一ナル状態ニ於テハ暫クノ間ハ（割増賃金制度、出來高拂ノ賃金制度其他ノ如キ）
 資本主義的ナル種種ノ形式方法ハ幾分コレヲ準用スルコトハ已ムヲ得ザルナリ

「プロレタリア」國家ハ小生産者ガ會社經營ニ移ラントスル場合ニハ其形式ノ如何ヲ問ハ
 ズ如何ナル方法ヲ以テシテモ之ヲ支持促進セザル可ラズ、次ニ農民組合問題ハ重大ナル

意義ヲ有ス殊ニ農業國ニ於テハ特ニ然リ。資本主義及「ブルジョア」專制下ニ於テハ農民組合ハ已ムヲ得ズシテ資本主義的機關ト化シ農民組合ハ資本主義經濟ノ全組織ノ中ニ入りタル爲所謂「農業社會主義」ハ惱マシキ改良主義的「ユートピア」トナリタルニ反シ合理的ナル經濟政策ノ下ニ「プロレタリア」專制ノ世ニ於テ、社會主義化シタル大生産ノ發達セル場合ニハ農民組合ハ不可避的ニ「プロレタリア」專制ノ經濟組織ノ中ニ發達セザルヲ得ズ

「プロレタリア」ト「ブルジョア」トノ階級戰ニ於テ、又其過渡期ノ初メニ當リテハ「過渡期」ノ大部分ハ相互ニ競争シ一定期間ハ並行シテ生長スルニツノ經濟形式ノ間ノ争闘ナルコトヲ常トス「プロレタリア」ノ經濟政策ノ主要事項ハ「プロレタリア」ニ敵對スル時代遅レノ經濟組織ヲ間斷ナク排除スルコトナリ。コレガ爲ニ特ニ重要ナルコトハ巧ニ國有産業ト組合組織ヲ有スル農業トヲ結合シ商業資本及産業資本ニ對抗セシムルコトナリ

國家財政及租稅ヲ利用シ「プロレタリア」國家ノ掌中ニ在ラザル生産方面ニ於テモ生産力ノ分配ヲ整調スルコトハ緊要ナリ

「プロレタリア」ハ都市ト地方トノ關係ヲ特ニ注意シ充分ナル用心ヲ以テ考察セザル可ラズ、且「プロレタリア」ハ農民ノ個人的勞働欲ニ對シテハ何等ノ制限ヲ加フ可ラズ普通取引關係ノ認めラルル範圍及新經濟政策ノ適用セラルル範圍ハ資本主義的大企業ガ小企業ニ對スル關係ニ於テ許サル範圍ニ準ズルコトハ勿論ナリ、即當該國ノ國民經濟ノ發達程度ニ準ズルナリ

(C) 「プロレタリア」專制及階級

徵發者ヨリノ徵發ヲ實現センガ爲ノ争闘ニハ此争闘ニ於ケル總テノ要素

(a) 「ブルジョア」及大地主ノ根本的ナル研究ヲ必要トス

大「ブルジョア」及大地主並高級軍人及高級官僚ノ團體ニ在リテ彼等ニ盲從スルモノハ勞働階級ニトリ不俱戴天ノ敵ニシテ彼等トハ斷乎トシテ戰フコトヲ緊急必要トス

(b) 彼等ノ組織力ヲ出來得ル限り利用スルコト

此等階級ノ組織力ヲ利用スルコトハ原則トシテ、「プロレタリア」專制ノ確立シ且ツ總テノ搾取者ノ陰謀又ハ一揆ヲ決定的ニ鎮壓シタル後ニ初メテ可能ナリ

(c) 技術家タル頭腦勞働者

「プロレタリア」革命ニトリ技術家タル頭腦労働者ノ問題ハ重大ナル意義ヲ有ス、「プロレタリア」ハ彼等ノ反革命的行動ハ最モ峻烈ニ彈壓スルト同時ニ此等教養アル頭腦労働者ノ力ハ絶對ニ必要ナルヲ以テ、此等ノ頭腦労働者及ヒ特ニ大戰ニヨリ難澁シタル連中ニ對シ經濟上ノ困難ヲ來スガ如キ措置ハ悉クコレヲ避ケザル可ラズ「プロレタリア」ハ頭腦労働者ニ文化的ナル社會主義建設ノ有望ナル將來ヲ説キ彼等ヲシテ「プロレタリア」專制ノ理想ヲ了解セシメザル可ラズ

(d) 農民ノ中立

農民ニ對スル共產黨ノ使命ハ彼等ノ大多數ヲ其味方トナスニアリ、勝利ヲ得タル「プロレタリア」ハ農民間ニ於ケル各種ノ團體組織ハ嚴格ニ保持シ其特有ナル意義ヲ了得評價シ、農民中ノ無産者ナル「プロレタリア」階級ヲ支持シ、彼等ニ大地主ノ所有地ノ一部ヲ與ヘ高利資本ニ對スル闘争ヲ容易ナラシメザル可ラス、「プロレタリア」ハ中農階級ノ所有地及其財産ニ手ヲ觸レズシテ彼等ヲ中立セシメザル可ラズ而シテ大農ガ大地主ト共ニ一團トナリテ行フ總テノ攻撃ヲ排撃セザル可ラズ

(e) 地方貧民ノ團體

コノ大農及大地主トノ戦ニ於テ「プロレタリア」ハ農業ニ於テ賃銀労働制度ノ發達セル國ニ於テニ地方「プロレタリア」指導ノ下ニ在ル地方貧民ノ團體ヲ根據トセザル可ラズ

(f) 都市ノ小「ブルジョア」

極端ナル反動運動ト「プロレタリア」ヘノ同情トノ間ヲ彷徨スル都市ノ小「ブルジョア」ハ同様ニ出來得ル限り中立タラシムベシ、彼等ノ僅少ナル財産ノ不可侵ヲ認メ、彼等階級ニ對シテ經濟的交渉ノ自由ヲ認メ且高利ヲ暴ル信用制度ニ對スル反抗ニ於テ彼等ニ補助手段ヲ與フルコト等ニ依リ彼等ハ其ノ中立ノ地位ヲ保證セラル

(g) 「プロレタリア」團體ト「プロレタリア」國家

右總テノ任務ヲ遂行スルニ當リテハ「プロレタリア」ノ各種團體即産業組合、労働組合、殊ニ革命ノ指導的勢力トシテノ共產黨ハ「プロレタリア」政權ノ事實上ノ機關タルベシ只斯ノ如キ團體ニ依リ「プロレタリア」權力ヲ無制限ニ支持シ且階級意思ノ完全ナル一致ヲ圖リ且共產黨ノ指導ノ下ニ於テ「プロレタリア」ハ人類歷史上ノ危機ニ於テ全社會ノ組織者トシテノ役務ヲ盡スコトヲ得ベシ

D、「ブルジョア」ノ教育獨占ノ廢止

(a) 「ブルジョア」ノ教育独占ノ打破

資本家階級ノ生産手段ノ独占ヲ廢止スル「プロレタリア」ハ又同ジク「ブルジョア」階級ノ教育手段ノ独占ヲ打破シ即チ大學ヲ初メ全教育機關ヲ其ノ手中ニ收メザルベカラズ

(b) 「プロレタリア」専門家ノ養成

「プロレタリア」ノ特ニ重要ナル任務ハ生産方面（技師、技術家、組織者、簿記者）ノミナラズ科學及軍制等ノ範圍ニ互リ労働者階級ヨリ専門家ヲ養成スル事ナリ斯ノ如クニシテ絶エズ新ナル部隊ヲ養成スル事ニ因リ「プロレタリア」ハ實際上其ノ社會建設ノ事業ヲ指揮スル眞實ノ動力タルベシ

(c) 「プロレタリア」ノ文化的向上

「プロレタリア」大衆ノ文化ノ程度ヲ向上セシメ且大衆ヲ政治的ニ啓發シ、其ノ智識及技術ノ標準ヲ向上セシメ社會的活動ヲ實習セシメ且「ブルジョア」及小「ブルジョア」ノ偏見等ニ對シテ戰鬥スルヲ以テ任務トスベシ

(d) 宗教ニ對スル抗爭、國家ト教會、教會ト學校

宗教ニ對スル抗爭ハ「ブルジョア」ノ偏見及迷信ニ對シ抗爭スルノ任務中ニ於テ特別ノ地位ヲ占ムルモノナリ

右戰鬥ハ必要ナル戰術ト周到ナル注意トヲ以テ遂行シ殊ニ勤勞者ノ階級ニ於テハ宗教ガ從來日常生活ノ根底トナリ來リタル關係上特別ノ注意ヲ要ス

「プロレタリア」國權ハ教會ニ對スル國家ノ支持ヲ廢止シ教會ト國家教育トノ混淆ヲ防止シ

尙教會組織及其ノ各個ノ職員ノ革命的活動ニ對シ抗爭スベシ

E、帝國主義ニ依ル抑壓ノ除去「プロレタリア」ノ自由意志ニ依ル國家的結合

植民地半植民地及民族國家ト帝國主義母國間ノ人工的ニ作り出サレタル關係ハ帝國主義的大國家ノ主タル支柱ヲ爲シ又爲シタリ故ニ植民地及民族問題ハ資本主義社會破滅ノ見地ヨリ云フモ社會主義的建設ノ見地ヨリ云フモ特ニ重大ナル役割ヲ演ズ

此ノ範圍ニ於テ共產「インターナショナル」ハ「ブルジョア」及社會民主黨ノ政策ニ全然反對シ次ノ如キ「プログラム」ノ要求ヲ確定ス

(a) 民族自決權

國家ヲ完全ニ解體スルノ權利ヲモ包含スルモノト解セラルル民族ノ自決權ノ原則ハ「ブルジョア」國家ニ對シテハ其ノ帝國主義ニ反抗スル戰鬥手段タリ又「プロレタリア」ノ獨裁ニトリテハ「ブルジョア」ノ支配ニ依リ長年ニ互リ醸成セラレタル國民ノ不信任ヲ説得スル

ノ手段タリ

(b) 植民地ノ解放

植民地ノ解放及帝國主義ニ反抗スル植民地運動ノ支持

(c) 「ソビエト」共和國ノ結合（最初ハ「フェデレーション」ノ形式ニテ）

國家組織ニ關スル右ノ「プログラム」上ノ諸點ノ外共產「インターナショナル」ハ總テノ民族ノ平等ヲ要求シ以テ或ル民族ニ對スル除外例ノ除去ヲ要求ス

共產「インターナショナル」ハ又資本主義的移民法（例、北米合衆國ニ於ケル排日法）ニ反對シ「シヨビニスト」及國民主義ニ反對ノ意味ノ宣傳ヲ爲ス

(d) 資本主義國家ニ對スル反對ト妥協ノ可能性

「プロレタリア」ノ政權獲得ハ總テノ國ニ於テ同時ニ之ヲ行ヒ得ザルノミナラス各重要國家間ニ於テスラ然ルガ故ニ資本主義國家ノ外ニ「プロレタリア」國家ノ併立スルノ事實ヲ考慮シ資本主義國家ト「プロレタリア」國家間ニ於ケル主義上ノ對抗アルニ拘ラズ「プロレタリア」國家ガ其ノ外交政策ノ範圍ニ於テ資本主義國家ト妥協スルコトハ可能ニシテ且時トシテハ義務的タルコトアリ（外國トノ商業上ノ關係、借款、利權、政策、一般的會議又

ハ軍事協定其他ノ協定へ參加スルコト等）

四、「プロレタリア」獨裁へノ階梯

「プロレタリア」獨裁ニ到達センコトヲ目的トスル戰爭ニ於テ其ノ勝利ヲ收メンガ爲メニハ團結

強固ニシテ戰爭ノ經驗ニ富ミ且ツ訓練ノ充分ナル集權的共產黨ニ依ル指導ヲ前提要件トス
右團體ハ労働者階級ノ前衛ニシテ同階級中ノ最モ優秀ニシテ階級意識ノ最モ強固ニシテ且最モ勇敢ナル分子ヨリ成ル、同黨ハ「プロレタリア」ノ總テノ戰爭ノ經驗ヲ體得シ「マルクス」主義ノ革命ノ理論ニ立脚シ、労働階級ノ全體ノ一般的永久的利益ヲ代表シ「プロレタリア」ノ根本的信條、其ノ意思及其ノ革命的行動ヲ統一スルモノナリ

「プロレタリア」ノ權力掌握ヲ目的トスル戰鬥團體トシテ右共產黨ハ何等カノ黨務ヲ遂行シツツアル現役ノ革命闘士ヨリ成ル、斯クシテ同黨ハ革命的團體トシテ強固ナル訓練ト最モ嚴格ナル革命的秩序即チ「デモクラチック」ナル集權主義ニ依リ結束セラル而シテ此ノ事タルヤ「プロレタリア」前衛ノ階級意識、革命ノ爲ノ服從、「プロレタリア」大衆及労働大衆ト不斷ニ聯絡ヲ保チ得ル能力及其ノ政治的指導ノ正鴻ニ因リ達シ得ベシ

(a) 共產黨ノ戰術

其ノ歴史的任务ヲ遂行スル爲メ共產黨ハ左ノ如キ戰術上ノ目的ヲ豫定シ其ノ達成ニ努ム
 共產黨ハ勞働大衆ノ大部分ヲ其ノ權力ノ下ニ收メザルベカラズ婦人勞働者、青年勞働者ニ就
 テ又然リ（都市及農村ノ無資産階級、貧困ナル智識階級及所謂小「ブルジョア」階級）斯ノ如
 クニシテ共產黨ニ依リ指導セラルル「プロレタリア」ノ政治的統率關係ヲ實現ス
 共產黨ハ各國內ニ於ケル支配階級間ノ抗爭ノミナラズ又其ノ國際的抗爭ヲモ利用スベシ（例
 戰爭ノ危機利用）

共產黨ハ資本主義ノ支持者タル社會民主主義及黄色勞働組合ノ官僚主義ヲ排斥シ其ノ假面ヲ
 剥ギ其ノ政治的勢力ヲ打破シ「プロレタリア」ノ大衆ノ組織的團體ヲ其ノ權力ノ下ニ置カザ
 ルベカラズ（勞働組合、産業組合、職業委員會、勞働委員會等）

(b) 共產黨ハ「プロレタリア」運動ノ最終ノ目的ヲ達成セントスル戰爭ニ於テ具體的事情即チ
 各階級間ノ權力關係、資本主義ノ強固ノ程度、「プロレタリア」ノ準備的階梯、中間階級ノ態
 度等ヲ考量シ、右事情ニ應ジテ其ノ標語及戰爭方法ヲ作成決定スベシ共產黨ハ又事情ニ依リ
 多クノ部分的要求又ハ中間的標語ヲ定ムル事アルモ此等要求標語ハ革命ノ最終目的（權力ノ
 獲得ト「ブルジョア」的資本主義的社會ノ顛覆）ニ追隨スルモノナラザルベカラズ

(c) 共同戰線ノ戰略ト勞農政權

部分的要求及中間的標語ヲ設定セザルハ共產主義戰術ノ根本原則ニ副ハズ何トナレバ必ズヤ
 黨ノ行動ヲ受動的ナラシメ且ツ其ノ大衆トノ聯絡ヲ斷ツヲ以テナリ
 共同戰線ノ戰略及勞農政權ノ標語ハ共產黨ガ勞働大衆ヲ集收セントスル間ハ常ニ其ノ戰略ノ
 最モ重要ナル要件タリ

(d) 革命狀態ト黨ノ戰術

革命ヲ起シ得ル直接狀態發生ノ場合即チ支配階級ノ組織ガ多少トモ動搖シタル場合、大衆ガ
 革命ヲ惹起シ得ル狀態ニ在ル場合、中間階級ガ「プロレタリア」側ニ傾キタル場合ニ於テハ
 「プロレタリア」團體ハ「ブルジョア」國家ニ對スル戰爭ノ直接ノ渦中ニ勞働大衆ヲ引キ入ルベ
 キ任務ヲ生ズベシ、此ノ事タルヤ其ノ標語ヲ益々激烈ニシ集團的行動ヲ益々過激ナラシムル
 事ニ依リ達シ得ベシ此ノ點ニ關シテハ罷業ヲ行ヒ又罷業ヲ機トシテ示威運動「プロバガンダ」
 ヲ行ヒ遂ニハ全般的罷業ヲ遂行シ「ブルジョア」政權ニ對スル軍事的直接行動ニ出デザルベカ
 ラズ而シテ此ノ戰爭ハ戰術ノ原理ニ從ハザルベカラズ即チ一定ノ戰爭計畫（場所時期等ノ決
 定）攻撃的行動「プロレタリア」ノ絶對的服從及其ノ統率ヲ前提要件トス而シテ此等ノ行動

ハ大衆ヲ戰闘同盟ニ組織スル事ヲ前提シ其ノ形式ハ其レ自身勞働大衆ノ出來得ル限り多數（勞働者、兵卒及農民委員會其他）ヲ引キ入ルルモノナラザルベカラズ尙右戰術ノ勝利ヲ期スル爲メニハ陸軍及海軍ニ於ケル共產黨ノ活動ヲ必要トス

(e) 軍國主義及帝國主義ニ對スル戰闘

共產黨ノ旗幟ノ下ニ大衆ヲ結合セントスルノ運動ハ日常生活ノ現實問題ニ迄進展セザルベカラズ此ノ點ニ關シテハ就中帝國主義及軍國主義ニ對スル戰闘及新ナル帝國主義的戰爭ノ勃發ノ危險ニ對シ抗爭セザルベカラズ

(f) 戰後ノ危機ニ於ケル種々ノ經濟的結果ニ對スル抗爭

他方ニ於テ戰時及戰後ノ危機ニ於テ發生セル種々ノ經濟上ノ結果ニ對スル抗爭ト關聯セル問題モ亦此ニ屬ス（物價ノ騰貴、失業狀態、勞働時間ノ延長、租稅負擔ノ増加等ニ對スル抗爭）

(g) 「ソヴェエツト」聯邦ノ支持

資本主義ニ反對スル中心の團體ニ大衆ヲ集合シ又其ノ勢力ヲ強ムル手段トシテ「ソヴェエツト」聯邦ヲ支持スル事ハ國際的勞働階級ノ手中ニ存シ且ツ其ノ團體ヲ維持スベキ最も有力ナル道具タリ

(h) 共產黨ノ國際的訓練ト共產「インターナショナル」

共產黨ノ行動ヲ統一シ且ツ之ヲ有效ニ指導スル爲メ「プロレタリア」ハ一個ノ階級トシテノ國際的訓練ヲ必要トス右訓練ハ各共產黨ニ於テ第一任務タリ、國際的共產主義的訓練ハ共產黨運動ノ部分的且ツ地方的利益ハ之ヲ其ノ一般的且ツ永久的利益ノ下ニ置ク事及ヒ共產「インターナショナル」ノ主タル機關ノ決議ヲ無條件ニ遂行スル事ニアラザルベカラズ

(i) 各國ノ特別事情ト共產主義原則ノ適用

共產「インターナショナル」ハ「プロレタリア」ノ單一且世界的團體トシテ其ノ各支部ニ對シ當該國ノ特別狀況ヲ慎重ニ考量スベキ義務ヲ負ハシム右特別事情ヲ考量斟酌スル場合ニ於テノミ眞實ニ「マルクス」主義ノ政策ヲ遂行シ得ベシ資本主義ノ發達其ノ高度ニ達シ且ツ「プロレタリア」革命ヲ遂行セントスル國、「ブルジョア」的革命ガ僅ニ其緒ニ就ケルノミニシテ爾後之ヲ「プロレタリア」革命ニ誘導セザルベカラザル國及最後ニ帝國主義的國家ノ植民地又ハ半植民地タルニ止リ植民地的且ツ民族的開放運動ヲ遂行セザルベカラザル國ヲ區別スベク此等諸國間ノ相異ハ共產「インターナショナル」ノ統一的且ツ中央集權的指導ノ下ニ立ツ各共產黨ノ全行動ヲ決定スベキ最も重要ナル要件ナリ

第四款 第六回大會ニ於テ提出セラルベキ活動方針

(一九二八年五月二十五日「コミンテルン」執行委員會内「プログラム」委員會ニテ採擇セラレタルモノ)

「インプレコール」一九二八年六月六日特別號第三十號ニ左記ノ如キ「コミンテルン」ノ「プログラム」ノ草案掲載セラレタリ

前文

「コミンテルン」ノ各團體ニ告グ!

「コミンテルン」執行委員會内「プログラム」委員會ハ「プログラム」草案ヲ公表セントス、本委員會ハ次ニ掲クル草案ハ「コミンテルン」第五回大會ニ於テ「プログラム」草案ノ基礎トシテ採用セラレタルモノト同一ノ主義ニ基ケルコト勿論ナルモ第五回大會當時ノ「プログラム」トハ重要ナル點ニ於テ相違セルコトヲ宣言セザルヲ得ズ、「プログラム」委員會ハ單ナル字句ノ修正ノミニ終始スルヲ得ザリキ何トナレバ第五回大會以來國際生活殊ニ革命運動ノ最モ重要ナル方面ニ於テ非常ナル變化ヲ生ジタルヲ以テナリ。資本主義ノ一般の危期ハ其形ヲ變ジ各國相互ノ關係ニモ變化ヲ生ジタル。又支那大革命ナル大事件勃發シ、且農民問題ノ重大ナルコトハ再ビ高調セラレタリ。

次ニ「ソヴェエト」聯邦ニ於ケル社會主義制度ハ非常ナル進歩ヲナシ、攻勢ニ轉ゼントシツツアル資本主義世界ト「ソヴェエト」聯邦トノ争闘ハ白熱化シ「ファシズム」ハ大資本ノ恐怖政策的獨裁實現セントシ社會的「デモクラシー」ハ破壊サレ侵略的帝國主義ハ擡頭シ「コミンテルン」ハ反對派トノ争闘ニ於テ種々ナル教訓ヲ得タリ一方共產主義ハ前進シ共產運動ハ眞ニ國際化シ、「コミンテルン」ヲ單一ノ同盟機關トシテ、コレニ協調スベキ新ナル必要ヲ生ジタル。此等總テノコトハ舊草案ニ重大ナル變更ヲ加ヘ且ツ其範圍ヲ擴張スルコトヲ必要ニシテ已ムヲ得ザルコトトセリ

「プログラム」委員會ハ共產「インターナショナル」執行委員會ノ決議ニ基キ「プログラム」草案ヲ發表ス。右發表ニ當リ同委員會ハ批評的論文、觀察又ハ具體的提案ニヨリ本草案ニ對シ意見ヲ發表セラレンコトヲ總テノ同志ニ向ヒ希望ス、「プログラム」起草ニ當リテ得タル經驗ハ最近ノ共產主義者ノ國際運動ノ全問題ヲ一ノ文書ニ纏ムルコトノ如何ニ難事ナルカラ痛感セシメタリ。「プログラム」問題ハ第六回「コミンテルン」大會ノ主要問題ノ一タル可シ、大會ニ於テハ本問題討議ニ當リ必要ナル材料ハ充分提供セラレザル可ラズ、「プログラム」委員會ハ總テノ同志ニ對シ「プログラム」ノ討議ニ加ハリ成果ヲ擧ケラレンコトヲ希望ス

緒論

帝國主義時代ハ取モ直サズ資本主義ノ死ニ瀕セル時代ナリ、資本主義ノ危機ハ帝國主義ニ基キテ進展スルモノニシテ右危機到來セルコトハ即社會主義發生ノ物質的前提條件ノ完備セルコトヲ意味ス

帝國主義ノ發達ハ社會主義ノ物質的前提要件ヲ創造スルト同時ニ資本主義轉覆ノ條件ヲモ創造スルモノナリ

帝國主義ハ凡ユル國土—資本主義國家ノ中心ヨリ植民地ノ津々浦々ニ至ル迄—ノ「プロレタリア」大衆ヲシテ金融資本主義ノ獨裁下ニ服從セシム、帝國主義ハ根本的ニ資本家社會ノ總テノ矛盾撞著ヲ暴露シ明示シ或ハ階級的壓迫ヲ極度ニ強メ且世界經濟ノ生産力増進ト國家障壁トノ間ニ生ズル不一致ヲ異常ニ甚ダシカラシム、之等ハ必然全世界ニ互ル帝國主義戰爭ヲ惹起シ右戰爭ハ遂ニ現時ノ社會組織ヲ動搖セシメ斷乎トシテ世界「プロレタリア」革命ニ導クモノナリ

帝國主義ハ世界ヲ金融資本ノ連鎖ヲ以テ連結ス、血ト鐵ノ帶ヲ以テ其國籍、民族ノ如何ヲ問ハズ總テノ「プロレタリア」結合シ財閥及資本家ノ金權政治ノ軌ニ繫グ右金權政治ハ「プロレタリア」

ヲ信ジ得ザル程度ニ搾取シ、壓迫シ、奴隸視シ、斯クシテ「プロレタリア」ヲシテ權力獲得ノ事業ニ直面セシメツツアリ、即帝國主義ハ國籍、人種、性或ハ職業ニ差別無ク總テノ國ノ「プロレタリア」ヲ驅ツテ國家的障壁ヲ打破センガ爲單一ノ國際「プロレタリア」軍ヲ組織セザルヲ得ザラシムルナリ、斯ク帝國主義ハ社會主義實現ノ爲メ必要ナル物質的條件ヲ創造スルト同時ニ「プロレタリア」ヲシテ帝國主義ヲ轉覆スル爲メ「プロレタリア」ノ國際聯合軍ヲ編成スルノ必要ニ直面セシム

一方帝國主義ハ主タル被壓迫大衆ヨリ比較的良好ナル地位ニアル分子ヲ分離セシム、即チ比較的良好ナル地位ニ在ル分子トハ帝國主義ニ依リ買収サレ蠱毒セラレタル上流勞働階級ノ謂ニシテ彼等ハ社會民主黨ノ主要分子ト妥協シ植民地ノ帝國主義的掠奪ヲ好ミ彼等ハ「ブルジョア」階級及帝國主義國家ニ對シ忠義ヲ盡シ又階級戰爭ノ決勝期ニ當リ「プロレタリア」ノ敵タル階級ニ味方セリ。此等ノ原因ニヨリ一九一四年及「キーンタル」ニ於テ社會主義運動ニ於テ分裂ヲ生ジタリ。「ブルジョア」勞働黨ヲ征服シタル露西亞「プロレタリア」革命ノ勝利ハ國際「プロレタリア」ノ歴史的使命即チ帝國主義ノ軌ヲ逃レ「プロレタリア」獨裁ヲ建設スルノ使命ハ唯社會民主主義ニ對シ假借スル處ナク戰闘スルコトニ依ツテノミ果サルルコトヲ明ニセリ

斯ク觀シ來ルトキ世界革命ノ各種勢力ノ編成ハ共產主義ヲ根據トシテノミ可能ナリ。勞働階級内ニ於テ帝國主義ノ出店タリシ便宜主義者ヨリ成ル第二「インターナショナル」ハ必然共產「インターナショナル」ヨリ攻撃セラレベキモノナリ

一九一四年—一九一八年ノ世界大戰ニ促サレ第二「インターナショナル」即愛國社會主義「インターナショナル」ト對抗シ且好戰的帝國主義者ト戰フ武器トシテ新國際革命團體ヲ設立セントスル最初ノ企カ計畫セララルニ至レリ露西亞「プロレタリア」革命ノ勝利ハ資本主義中心地及植民地ニ於テ共產黨組織ノ機運ヲ濃厚ニセリ、カクテ一九一九年遂ニ共產「インターナショナル」成立シ史上初メテ歐米ノ「プロレタリア」中最モ前進的ナル分子ガ革命争闘ノ實行ヲ綱領トシテ支那印度ノ「プロレタリア」及「アフリカ」「アメリカ」ノ有色勞働者ト眞ニ提携スルニ至レリ

共產「インターナショナル」ハ統一集中セル國際的「プロレタリア」團體ニシテ第一「インターナショナル」ノ綱領ヲ繼承シ之ヲ新大衆ヲ基礎トセル「プロレタリア」革命運動ニ應用セントスル唯一ノ團體ナリ、最初ノ帝國主義戦争、コレニ續ク資本主義ノ革命ノ危期、歐洲及植民地ニ起レル數度ノ革命、「ソヴェエト」聯邦ニ於ケル「プロレタリア」獨裁社會主義ノ建設及共產「インターナショナル」大會ノ決議中ニ記録セラレタル各支部ノ事業等ヨリ得タル經驗ニ徴シ且帝國主義的

「ブルジョア」ト「プロレタリア」トノ争闘カ益々國際化スルニ至リタル事實ニ鑑ミ「コミンテルン」ハ其ノ所屬支部共通ナル「プログラム」ヲ起草スル事ヲ得ルニ至レリ且ツ右ハ必要ニシテ時宜ニ適セルモノナリ。本綱領ハ國際「プロレタリア」革命運動ノ經驗ヲ一般化セルモノナルヲ以テ世界「プロレタリア」獨裁ノ爲ノ戦闘即チ世界共產化ノ爲メノ争闘ニ關シ方針ヲ定ムルモノナリ「ブルジョア」及其ノ「社會主義者ト自稱スル」代理人等ニ對抗シ被壓迫、被搾取大衆ヲ指導スル革命勞働者ノ團結機關トシテ共產「インターナショナル」ハ「マルクス」ノ創立セル共產主義者聯盟、及第一「インターナショナル」ノ歴史的繼承者ニシテ且第二「インターナショナル」ノ最良ノ傳統ノ相續者タルコトヲ自認ス、第一「インターナショナル」ハ社會主義實現ヲ目的トスル國際的「プロレタリア」争闘ニ對シ觀念上ノ根據ヲ與ヘタルモノニシテ第二「インターナショナル」ハ其ノ存立中ノ最良期間ニ於テ勞働運動ノ範圍ヲ擴大シ且同運動ヲ大衆ノ中ニ廣ク普及セシムル準備ヲナセリ第三「インターナショナル」ハ第一「インターナショナル」ノ事業ヲ繼續シ且ツ第二「インターナショナル」ノ事蹟ヲ繼承シツツアルモ後者ノ妥協主義社會愛國主義及社會主義ノ「ブルジョアの」曲解等ヲ斷然排除シテ「プロレタリア」獨裁ノ建設ニ着手セリ、斯クシテ共產「インターナショナル」ハ國際勞働運動ノ光輝アリ且英雄的ナル傳統ヲ踏襲シツツアリ。例ヘバ英ノ「チャーチスト」、

佛ノ叛徒（一八三一年）、獨佛ノ勞働者革命家（一八四八年）、巴里「コンミュン」ノ不朽ノ戰士及犧牲者、獨、洪、芬革命ノ勇卒、前帝政「ロシア」ノ勞働階級即「プロレタリア」獨裁ノ擁立者支那「プロレタリア」、即廣東及上海ノ勇士ノ如キ之ナリ

理論及實際ニ於テ共產「インターナショナル」ハ世界及全民族間ノ革命的勞働運動ノ歷史的經驗ヲ基礎トシ且「レーニズム」ニ於テ完成ヲ見タル革命「マルキシズム」ノ見解ヲ完全ニ且ツ無條件ニ採用スルモノニシテ「レーニズム」トハ帝國主義時代及「プロレタリア」革命時代ニ於ケル「マルキシズム」ニ外ナラズ

共產「インターナショナル」ハ「マルクス」及「エングルス」ノ辯證法的唯物史觀ヲ推稱シ宣傳シ應用ス、アラユル「ブルジョア」哲學及便宜主義ノ理論並實際的ト抗爭ス、共產「インターナショナル」ハ「プロレタリア」戰爭ニ基礎ヲ置キ、且「プロレタリア」ノ一時的、部分的國民的利害ヲ其ノ永續的、普遍的且國際的ナル利害ニ從屬セシメ又社會改良論者ガ「ブルジョア」ヨリ受入レタル「階級平和」ノ學說ヲ忌憚ナク摘發ス—（階級平和ノ學說トハ戰時ニ於ケル帝國主義「祖國」ノ防衛、「産業上ノ平和」其他ヲ云フモノニシテ「ブルジョア」的平和主義ノ福音タリ）

共產「インターナショナル」ハ資本主義ノ氣味惡キ墓穴掘鑿者ナル革命的「プロレタリア」ノ革命

的團體ヲ組織スルコトヲ以テ歷史的必要トス故ニ共產「インターナショナル」ハ「プロレタリア」獨裁ノ實現及共產主義ヲ以テ綱領トシ且國際「プロレタリア」革命ノ組織者トシテ公然出現セル唯一ノ國際的團體ナリ

第一 資本主義ノ世界的組織、其ノ發達ト其ノ必然ノ崩壞

商品生産ノ發達ニ基キ發生スル資本主義社會ノ特徴ハ資本家階級ニ依ル生産手段ノ機關獨占、「プロレタリア」賃銀勞働者ノ搾取及營利ヲ目的トスル商品生産ナリ、「ブルジョア」ノ搾取ト「ブルジョア」ノ經濟的優勢トノ因果關係ハ政治的ニハ「プロレタリア」壓迫ノ具タル資本ガ國家的ニ組織セラレ居ルコトヲ見レハ明ナリ

資本主義ノ今日迄ノ發展ハ資本主義社會發達ノ法則並其發達ノ矛盾ニ關シ右ガ資本主義制度ノ呪

ハシキ運命ヲ不可避的ニ招來セザルヲ得ズト主張スル「マルクス」ノ學說ヲ裏書セリ

「ブルジョア」ハ利潤ヲ追及セントセバ無限ニ其生産力ヲ發展セシメ且生産ニ於ケル資本ノ勢力ヲ強大ナラシメ且擴張セシメザルヲ得ザリキ、其ノ結果資本主義ノ發達ハ資本主義組織ノ固有ノ矛盾ヲ廣キ範圍ニ互リ絶エズ反映スモノニシテ、先ヅ第一ニ社會ノ生産ト生産ノ結果ノ個人所得トノ間ニ存スル決定的矛盾即チ生産力ノ發達ト資本主義的財產制度ト間ノ矛盾ヲ示セリ。生産手段

ノ私有スベキ優先權及生産上ノ無政府狀態ハ生産ノ諸分派間ノ經濟的平衡ヲ攪亂セリ、何トナレバ生産ノ無限ノ膨脹ト「プロレタリア」大衆ノ有限ナル消費トノ間ノ矛盾ハ「プロレタリア」ノ間ニ周期的ニシテ且破壊的ナル不況ト「プロレタリア」大衆ノ失業ヲ誘導スルヲ以テナリ。私有財産ノ優越ヲ認ムル結果各資本主義國間ノミナラズ絶エズ擴大シツツアル世界市場ニ於テモ資本家ノ競争ヲ生スベク此競争ハ資本主義發展ノ必然ノ附隨物タル幾多ノ戦争ヲ惹起スルノ結果トナレリ同時ニ又資本主義社會ノ内部的構造ニモ變化ヲ生ゼリ、大規模生産ノ技術的及經濟的ニ有利ナル爲資本主義以前ノ凡ユル經濟形式ハ其ノ競争ノ過程ニ於テ破壊セラレ資本ノ集中及統一ノ勢ヲ益々増進セリ。此ノ法則ノ行ハレタル結果產業界ニ於テハ第一ニハ小企業ノ破壊セラレ第二ニハ小企業カ大企業ノ補助物タル狀態ニ墮落スルコトナレリ。農業ニ於テハ農民間ニ區分ヲ生ジ農民大衆ヲ無産化シタルノミナラズ主トシテ農業ヲシテ黙示或ハ明示ノ中ニ大資本ニ隸屬セシムルニ至レリ。小農ハ勞力ヲ只盡瘁シ且殆ンド斷食スルガ如キ生活ヲ爲シツツ漸ク獨立ノ體面ヲ維持スルヲ得タリ

機械使用ノ増加、技術上ノ不斷ノ改良、資本ノ有機的組織ノ發達及之ニ加フルニ勞働ノ分業化及勞働ノ生産力ノ増加並勞働ノ激甚化セルコトハ其特長トシテ婦人、幼年者ノ雇傭ヲ増加シ、巨大

ナル産業豫備軍ヲ組織スルニ至レリ。此豫備軍ハ自己ノ村ヲ去ラザルヲ得ザルニ至レル「プロレタリア」化シタル農民及頽廢セル都市ノ小中「ブルジュア」ノ中ヨリ絶エズ補充セララルナリ。社會ノ一方ニ小數ノ百萬長者ノ存在シ他方ニ無産「プロレタリア」ノ夥シキ大衆ノ存在スルコト勞働階級搾取ノ度合ノ絶エザル増大、ヨリ廣キ範圍ニ互ル資本主義ノ根本的ナル矛盾及其ノ結果タル恐慌、戦争等ノ頻發、間斷ナキ社會的不平ノ増加、無産階級不平ノ勃發、之レ等ハ資本主義生産其自身ノ機械的絡繰ニ依リ統一訓練セラレ居レルモ資本主義ノ基礎ヲ不安定ナラシメ資本主義撲滅ノ日ヲ早ムルモノナリ

産業資本主義時代ハ主トシテ自由競争ノ時代ナリ。即無主ノ植民地ノ分割及征服ヲ前提トシ全世界ヲ通シ資本主義ノ比較的圓滑ナル發展及擴張ノ時代ニシテ資本主義ヨリ生ズル矛盾ノ絶間ナク増大スル時代ナリ。之等ノ矛盾ヨリ來ル負擔ハ主トシテ植民地ノ虐ゲラレタル民衆ノ肩ニ課サレタリ

然ルニ二十世紀ノ初期ニ當リ資本主義時代ハ帝國主義時代ニ席ヲ讓レリ。帝國主義時代トナリテヨリ資本主義ノ發達ハ苦悶ニ陥リ、自由競争ハ獨占ニ變ジ無主ノ植民地ハ總テ分割セラレタリ。今ヤ植民地及勢力範圍ノ分配ノ遺直シヲナサントシテ先ヅ戦争ニ訴ヘントシツツアリ

資本主義ヨリ生ズル矛盾ガ多岐ニ互レルコト及世界中到ル處該矛盾ヲ生ジタルコトハ帝國主義（財閥資本主義）時代トナリテ最モ明瞭トナレリ。即同時代ハ歴史のニ觀察シテ新タナル形式ノ資本主義ヲ生ジタルコト、世界ノ資本家經濟ノ各種異レル部分ノ關係ニ新タナル組合セラ生ジタルコト、資本家社會ノ主タル階級間ノ關係ノ一變セルコトヲ以テ其特徴トス

此ノ歴史的新時代ハ資本家社會ニ於テ原則的ナル學力上ノ法則ノ發達セル結果トシテ生ゼリ。資本ノ集中及中央集權ノ法則即資本ノ求心力ハ有力ナル獨占的結合體（「カルテル、シンジケート、トラスト」）ノ形成及銀行ニ依ツテ連結セラレタル企業ノ大團結ナル新形式ヲ生ゼシメタリ。産業資本ト銀行資本トガ合併シ此ノ形式ノ資本主義ガ獨占的性質ヲ有スルコトハ産業資本ノ時代ヲ財閥資本ノ時代ニ變ジタリ。封建的獨占、商業資本獨占ニ取ツテ代リタル産業資本主義時代ノ「自由競争」ハ今度ハ財閥資本獨占ニ代ラルル順序トナレリ。

複雜ナル機械化學的方法及電力ノ使用ハ益々増加シ有機的資本組織ノ勃興シ其結果生ズル利潤ノ減少ハ組合値段ノ高價維持ニ依ツテ纔ニ償ハルベキ利潤ノ減少等ノ爲ニ益々植民地ノ探索、事業地奪取ノ苦悶ヲ生ズ、大量生産ノ結果ハ新ナル外國市場ヲ求ムルノ必要ヲ生ズベク原料及燃料ノ價格騰貴ハ右原料ノ資源ノ探求ヲ刺戟スベク遂ニハ資本ノ輸出ヲ促シ國際資本家經濟ノ諸所ニ於

テ決戦起ル、結局植民地市場、源資、投資地ノ獨占ハ資本家發展ノ不同ヲ甚大ナラシメ植民地並ニ市場ノ分割ニ關シ列國ノ苦悶ヲ激増セシメタリ

世界工業ノ生産力増大ハ經濟生活ヲ一層國際化スルノミナラズ同時ニ地表ノ分配ヲ改正センガ爲ノ闘争ヲ惹起スルニ至ルベシ地表ハ既ニ巨大ノ金融資本ヲ有スル國家間ニ分配セラレ不斷ニ争闘ヲ誘致シ且ツ其ノ争闘ヲシテ益々激烈ナラシム。「ボイコット」、産業特別保護、關稅戰爭等ニヨリ争闘ス從ツテ資本主義ノ獨占ノ形式必ズハ帝國主義戰爭ヲ伴フベク其ノ戰爭ハ關係範圍及産業破壞性ニ於テ史上未曾有ナリ

前顯ノ事業ニ依リ國家ノ勢力ト兵力トハ「ブルジョア」ニ對シ特種ノ意義ヲ有ス、茲ニ於テ金融資本ハ國家資本主義ノ形式ニ發達スベキ傾向ヲ示ス、右國家資本主義ノ形式ハ一方ニハ外國市場ノ獲得及工業ハ軍事の動員ヲ容易ナラシメ他方ニ於テハ軍國主義ノ例外的發達陸海空軍ノ充實化學及細菌學ノ應用ヲ招來ス

斯クノ如クシテ帝國主義ノ根本的矛盾ヲ益々増大ス、小資本家間ノ競争ハ終止シテ大資本家間ノ競争ニ讓ルベク大資本家間ノ競争ハ又巨大ノ資本ヲ有スル財閥及其ノ政府間ノ灼然の團體ト政府ト競争ニ依ルベク地方的民族的危機ハ國家的危機ニ變ジ最後ニ世界の危機タルニ至ル地方的戰爭

ハ國家乃至全世界ノ戰爭ヲ生ズ階級闘争ハ部分的勞資爭議ヨリ民族的爭議トナリ更ニ國際的勞資
 争闘トナル、二大革命勢力ガ財閥資本組織ノ勢力ニ對シ編成セラル、一ハ資本家國ニ於ケル勞働
 者團體、他ハ外國資本ニ壓迫セラレタル植民地民家ガ帝國主義本家ニ於テ革命無産運動ニ參加ス
 ルコトナリ

此ノ革命的根本傾向ハ歐米並日本ニ於ケル無産階級ノ一部ノ如ク資本家ノ爲ニ腐敗セシメラルル
 カ又ハ大衆革命運動ニヨリ脅カサレタル植民地及準植民地ノ民族的「ブルジョア」ノ裏切りニ依ツ
 テ痲痺セラル植民地、準植民地ヨリ搾取スルコトニ依リ本國ノ「ブルジョア」ハ補償的過剰利益ヲ
 得之ヲ本國ニ於ケル勞働者ノ賃銀ニ充テ彼等ニ搾取ノ興味ヲ與ヘ且ツ帝國主義「祖國」ニ對スル
 忠誠ヲ購ヒ得タリ、此ノ組織的買収ハ勞働者中ノ官僚階級無産階級及資本主義支持階級間ニ「ブ
 ルジョア」的影響ヲ反映セシメタル社會民主々義者及勞働組合ノ主要分子ニ依リ行ハレタリ
 然ルニ勞働階級ノ上層ヲ腐敗セシムルコトニ依リ帝國主義ハ遂ニ該階級ノ勞働階級ニ對スル勢力
 ヲ破壊セリ、何トナレバ帝國主義ノ矛盾ノ増加、勞働者大衆ノ條件ノ惡化、戰禍ノ莫大ナル失費
 ト負擔、強國ガ獨占市場例ヘバ植民地ヲ失ヒタルコト等ハ社會民主々義ノ基礎ヲ破壊スベケレバ
 ナリ

同様ニ植民地、準植民地ニ於ケル民族的「ブルジョア」ノ裏切り及其ノ帝國主義強國トノ妥協ハ結
 局帝國主義者ノ壓迫ノ増大、大衆ニ對スル民族的「ブルジョア」勢力ノ失墜、革命危機ノ擴張、農
 民革命運動ノ解放、民衆ノ獨立及民族的自由獲得ノ抗争ニ於テ植民地無産階級ニ霸權ヲ得シムル
 好機ヲ與フルコト等ノ原因タルノミ

帝國主義ハ世界資本主義ノ生産力ヲ増大シ又社會主義ノ前提ヲ作レリ、帝國主義戰爭ハ帝國主義
 國家ノ國境外ニ進出セル産業生産力ガ國際的産業組織ヲ要求スルコトヲ示ス、帝國主義ハ火ト劍
 ニ依ツテ此ノ國家資本家ノ國際單一「トラスト」組織ノ傾向ヲ斷タントセリ、然レ共社會民主主義
 夢想家ノ賞讃スル超帝國主義的理想郷ハ資本主義ノ自家崩壞ナル矛盾ニ逢着スベシ、資本集中ヲ
 目的トシ益々世界的ニ擴大セントスル帝國主義ノ戰爭ハ勞農階級ノ上ニ大ナル負擔ト荒廢ヲ齎ラ
 ス爲ニ帝國主義ハ無産階級ノ鐵槌ノ下ニ粉碎セラルベキナリ

帝國主義ハ資本主義發達ノ最高様式ナリ、ソハ世界産業ノ生産力ヲ巨大ナル規模ニ發展セシメ全
 世界ヲ自己ノ鑄型ニ鑄直セリ、帝國主義ハ植民地、民族、國民ヲ資本家搾取ノ範圍内ニ引キ入
 レタリ、然レトモ同時ニ資本ノ獨占ハ社會寄生ナル墮落、資本主義ノ崩壞ノ素因ヲ成長セシメタ
 リ、組合値段ノ高價維持及市場獨占ハ生産力ヲ減退セシメタリ、植民地勞農階級ヲ過度ニ搾取シ

暴利ヲ貪リツツアル帝國主義ハ國家ノ年金ヲ寄生的ニ受領スル者及利札切り取りヲ業トスル寄生階級ヲ作ル、帝國主義ハ社會主義ノ仕事ヲ大規模ニ發達サセ社會主義ノ基礎ヲ作レリ、然レドモ強國間ノ固有ノ敵意ハ世界産業ノ結合ヲ斷ツベキ戰爭ヲ惹起ス、故ニ帝國主義ハ瀕死ノ資本主義ナリ、資本主義發達ノ最後ノ階級ナリ世界社會革命ノ緒ナリ

故ニ國際無產革命ハ一般ニ資本主義發展ノ條件ヨリ殊ニソノ帝國主義的様式ヨリ招來セラル、經濟及政治的發展ノ不平均ハ資本主義ノ原則ナリ此ノ不平均ハ帝國主義ノ時代ニ一層強メラレタリ此ノ點ヨリ國際無產革命ハ單純ニ關聯セル國際行動トノミ認メ得ザルコトヲ示ス、社會主義ノ勝利ハ最初ハ小數或ハ一ツノ資本主義國ニ於テ可能ナリ然レドモ之等ノ無產者ノ勝利ハ世界革命ノ基礎ヲ擴大シ資本主義一般ノ危機ヲ強ム、カク資本主義組織ハ全體トシテ斷末魔ニ迫リツツアリ財閥資本ノ獨裁ハ死ニ瀕シ無產階級獨裁之ニ代ラントシツツアリ

第二、資本主義ノ一般の危機、世界革命ノ初期

資本主義大國間ニ於ケル土地再分配ノタメノ帝國主義的鬭爭ハ第一ノ帝國主義世界戰爭（一九一四年乃至一八年）ヲ發生セシメタリ。該戰爭ハ世界資本主義ノ全組織ヲ動搖セシメ其一般の危機ノ初期ヲ劃セリ。又該戰爭ハ國家資本主義ノ武裝ヲ堅固ニシ以テ好戰諸國ノ全國家經濟ヲ結合シ

不生産的經費ヲ著シク増加シ、生産手段及人類ノ勞働力ヲ夥シク破壊シ夥多ノ人口ヲ殺戮シ工業勞働者、農民及植民地人民ニ多大ノ負擔ヲ課シタリ從ツテ該戰爭ガ階級鬭爭ヲ助成シ以テ革命的大衆運動及内亂ヲ誘致シタルハ己ムヲ得ザル所トス。帝國主義戰線ハ其最モ廣キ部分即帝政露西亞ニ於テ破ラレタリ。一九一七年ノ二月革命ハ大地主專制ノ權勢ヲ十月革命ハ「ブルジョア」ノ權勢ヲ孰レモ顛覆セリ、コノ勝利ヲ得タル「プロレタリア」革命ハ掠奪者ヨリノ掠奪ヲ行ヒ地主及資本家ヨリ生産手段ヲ取上ゲ人類ノ歴史上始メテ一大國ニ於ケル「プロレタリア」ノ獨裁ヲ樹立シ強固ニシ新ラシキ「ソヴィエト」制國家ヲ創造シ國際的「プロレタリア」革命ノ基礎ヲ造リタリ世界資本主義ノ全體ガ受ケタル強力ナル衝擊、階級鬭爭ノ尖鋭化及十月ノ「プロレタリア」革命ノ直接ノ影響ニヨリ植民地及半植民地ハ勿論歐羅巴大陸ニ於テモ革命的運動ノ連鎖ヲ續發セシメタリ一九一八年三月ニハ芬蘭ニ於ケル勞働者ノ革命、同年八月ニハ日本ニ於ケル米騒動、同年十一月ニハ埃太利及獨逸ニ革命アリ半封建的王国ノ統治ヲ破壊セリ一九一九年三月ニハ洪牙利ニ於ケル「プロレタリア」ノ革命及朝鮮ニ於ケル叛亂アリ四月ニハ「パウアリア」ニ於テ「ソヴィエト」政府ノ樹立ヲ見タリ一九二〇年一月土耳其ニ於ケル「ブルジョア」ノ國民革命、九月伊太利ニ於ケル勞働者ノ工場占領一九二一年三月獨逸ニ於ケル新進勞働者ノ叛亂一九二三年九月「ブルガリア」

ノ叛亂秋ニハ獨逸ニ於ケル革命ノ危機、一九二四年十二月「エストニア」ノ叛亂、一九二五年四月及八月「モロッコ」及「シリヤ」ニ於ケル叛亂、一九二六年五月英國ニ於ケル總同盟罷工、一九二七年維納ノ勞働者叛亂尙又印度ノ深刻ナル動亂及亞細亞全大陸ヲ席卷セル支那大革命等之等ハ皆單一ナル國際革命ノ連鎖中ノ鎖環ニシテ又資本主義ノ深刻ナル一般の危機ノ構成部分ナリ世界經濟ノ統一ハ革命ノ國際的トナリタル場合實現セラル。然ルニ各國ニ於ケル革命ノ發展ガ一樣ナラザルコトハ世界經濟ノ各部分ノ發展ガ一樣ナラザル反映ナリ。

資本主義ノ危急存亡（一九一八年乃至一九二一年）ニ當リ革命的改革ヲ齎ラサントセル最初ノ企劃ハ諸國ニ於ケル「プロレタリア」ノ敗北ニ終レリ。而シテ之等ノ敗北ヲ招キタル根本的理由ハ先ヅ第一ニ社會民主主義ノ指導者及改革主義勞働組合ノ指導者ノ背反的戰術次ニ諸國ニ於テ未ダ共產黨ノ樹立ヲ見ザリシコト及勞働階級ノ大多數ガ未ダ共產黨員ノ指導ヲ承引セザリシガ爲ナリ此等ノ敗北ハ「ブルジョア」階級ヲシテ資本家相互關係ニ付部分的安定ヲ得シメタリ「プロレタリア」及植民地人ニ對スル搾取ハ著シク増大シ彼等ノ生活標準ハ極メテ抑壓セラルルニ至レリ。世界經濟ノ生産力ハ再ヒ増加ニ向ヒ技術方面ニ於テハ著シキ進歩ヲ見セ、産業ノ「トラスト」化及合理化ハ急速ニ發達シ國家資本主義ヘノ發展ノ傾向ハ復活シ勞働階級及植民地ニ加ヘラルベキ壓

力ハ増加セリ

國際的の革命ノ進行中ニ於テ社會民主主義及改良主義ノ勞働組合指導者並「ファシスト」型ノ戰闘的資本主義諸團體ハ積極的ニ革命ニ反抗シ且資本主義ノ部分的安定ヲ支持スル有力ナル反革命的勢力トシテ特別ナル意義ヲ有スルニ至レリ

一九一四年ヨリ一八年ニ至ル戰爭危機ニ續イテ社會民主主義的第二「インターナショナル」ハ不面目ナル崩壊ヲ遂ゲタリ

資本主義ノ下ニ於テ「プロレタリア」ハ國家ヲ有セズ云々ノ「マルクス」及「エンゲルス」ノ共產主義宣言ニ掲ゲタル理論並「スツットガルト」及「ペーブル」大會ニ於テ可決セラレタル不戰決議ニ拘ラズ國家社會民主黨ノ指導者ノ大部分ハ戰時募債ニ贊成シ帝國主義祖國ノ防衛ヲ強調シ（帝國主義「ブルジョア」ノ國家的團體）帝國主義戰爭ニ反對セズシテ却ツテツノ最モ忠誠ナル軍人、宣傳員且讚美者トナレリ（社會帝國主義ニ代レル社會愛國主義）社會民主主義者ハ次ニ略奪的條約（「ブレスト」條約「ヴェルサイユ」條約）ヲ支持シ「プロレタリア」勃興ヲ慘酷ナル方法ニ依リ鎮壓セシ時ニ當リ軍國主義者側ニ味方シテ積極的ニ活動シ（「ノスケ」）又最初ノ「プロレタリア」共和國（「ソヴィエトロシヤ」）ニ對シ戰爭ヲ行ヒ又「プロレタリア」ガ政權ヲ獲得シタル時卑

劣ニモ「プロレタリア」ニ背叛シ（「ハンガリア」）國際聯盟ニ加入シ（「アルバートトーマス」、「ポ
ールヴァンカー」、「ヴァンダーヴィルド」、「ブレイトチエイド」）公然ト植民地ノ奴隸ニ反對シテ右奴
隸所有者タル帝國主義者ノ味方トナリ（英國労働黨）労働階級ノ最モ保守的ナル運動者ヲ積極的
ニ援助シ（「ブルガリヤ」及「ポーランド」ニ於テ）英國「プロレタリア」ノ大總同盟罷工ニ背叛
シ曠夫同盟罷工ニ對スル闘争ヲ援助シ支那及印度ヲ紛糾セシメントシ（「マクドナルド」政府）又
帝國主義的國際聯盟ノ宣傳員タリ又彼等ハ資本主義ノ先驅トシテ「ソヴィエトロシヤ」ニ於テ樹立
サレタル「プロレタリアート」獨裁ニ反對スル闘争ニ於ケル組織的勢力ナリ

此ノ反革命政策ヲ組織的ニ實行シツツ社會民主主義ハ其二翼ヲ交互ニ運用ス即チ社會民主主義ノ
右翼一明ニ反革命的ナル一ハ「ブルジョア」ト妥協スル爲ノ必然ナルモノニシテ其ノ左翼ハ労働者
ヲ巧ニ瞞着スルガ爲メ必要ニシテ時トシテハ平和主義者ヲ裝ヒ又時トシテハ革命的言辭ヲ弄シツ
ツ實際ニ於テハ最大ノ危機ニ際シテ労働者ヲ裏切ルモノナリ英國獨立黨及一九二六年ノ總同盟當
時ニ於ケル總會ノ左派指導者、「ウァトン」叛亂當時ニ於ケル「オットーバウエル」ノ一派）故ニ該
社會民主主義ハ社會民主黨ノ最モ有害ナル分派ナリ労働階級ノ内ニ於テ「ブルジョア」ノ利害ヲ奉
ジツツ及階級協力主義ヲ完全ニ奉ジツツ社會民主主義者ハ周期的ニ反對黨ノ立場ヲトリ労働階級

諸部ノ信任ヲ得ルガ爲メ且カクシテ更ニ不面目ニモ特ニ階級ノ決戦ノ眞只中ニ於テ労働階級ノ現

在利害ニ背叛センガ爲メ經濟的闘争ヲ指導スルガ如ク偽ハルモノナリ

社會民主主義ハ理論ニ於テ全然「マルキシズム」ニ叛ケリ社會民主主義ハ「ブルジョア」自由改良

主義ヲ完成セントシテ改革主義時代ニ入り社會帝國主義ヲ是認セリ

即チ階級戦争ニ關スル「マルクス」ノ綱領ヲ曲解シ階級平和ヲ主張ス其唱ヘルトコロハ「プロレ
タリア」獨裁主義ニ非ズシテ「ブルジョア」ト提携ナリ「ブルジョア」國家ノ破壊ニ非ズシテ其ノ
建設ナリ帝國主義戦争ガ資本主義ノ下ニ避ケ難キ事ヲ指摘スルコトニ非ズシテ平和ナル急進帝國
主義ナリ「プロレタリアート」ノ國際的團結ニ非ズシテ帝國主義祖國防衛ノ主義ヲ宣傳ス又「マ
ルクス」ノ辯證的唯物主義ニ代フルニ理想的哲學ヲ以テシ「ブルジョア」ノ宗教的欺作ヲ弄ス
斯ノ如ク總テノ方面ニ於ケル國際的社會民主主義、第二「インターナショナル」及其ノ労働組合、
「阿姆斯特ダム」労働組合聯合ハ「ブルジョア」社會ノ遺物ニシテ且其ノ最誠實ナル支柱トナレリ
社會民主主義ト俱ニ「ブルジョア」ガ労働者ヲ鎮壓シ若クハ労働階級ノ警戒ヲ緩メルモノ即チ「ファ
シズム」ナリ帝國主義ノ時代、階級闘争ノ急進及内亂分子ノ増大一特ニ帝國主義戦争後ハ議會
主義ニ對スル危機ヲ招來シタリ後ノ戦争時代ニ於ケル資本主義ニ對スル不信任、數多ノ非社會的

ナル社會分子ノ出現、都市ノ數多ノ小「ブルジョア」及智識階級ノ搾取（第一ニ「ヨーロッパ」諸國ニ於テ）及最後ニ「プロレタリア」大衆運動ノ絶エザル威嚇ハ「ブルジョア」獨裁ノ民主主義的假面ヲ被レル議會主義ノ破滅ヲ來シ公然タル「ブルジョア」獨裁ノ形式タル「ファスシズム」ヲ勃興セシメタリ

「ブルジョア」自身ノ爲ニ一層安定セル確固タル然モ永久的ナル支配ヲ保障スルガため「ブルジョア」ハ漸次議會組織ヲ破棄シ且内部黨派ノ關係及結合トハ無關係ナル「ファスシズム」ノ方式ヲ採用ス可ク餘儀ナクセラレツツアリ「ブルジョア」ハ其國家的理想ナルモノニ職業ノ代表制度ノ假面ヲ被セ（種々ノ支配階級團體ノ）特異ナル社會的籠絡ノ形式ヲ以テ小「ブルジョア」智識階級其他ノ民衆ノ不滿ヲ自己ノ爲ニ利用シ（「アンティセミティズム」、資本家ニ對スル攻撃、議會演壇ニ於ケル慷慨）又「ファシスト」ノ「ユニッツ」、黨機關及官僚政治ヲ創造シ腐敗ヲ利用ス、同時ニ「ファスシズム」ハ勞働階級ヘノ侵入ニ努力シ又最後方ニアル勞働者ノ郡ヲ招集シ彼等ノ社會民主主義ノ受働性ニ對スル不滿ヲ自己ノ爲ニ利用ス「ファスシズム」ノ主ナル作用ハ勞働者ノ革命的前驅即共產主義ノ單位「プロレタリアート」ノ指導者ヲ滅スニアリ外交ニ於ケル著シキ帝國主義的侵略ト同時ニ行ハレタル社會的籠絡、腐敗及積極的白禍ノ「コンピネーション」ハ「ファスシ

ズム」ノ特徴ナリ「ブルジョア」ニトリ最モ危險ナル時代ニ於テ「ファスシズム」ハ其目的ノ爲メ反資本主義ノ云ヒ廻シヲニコシ政權ニ對シ自己ヲ確立シタル時ニハ反資本主義的言辭ヲ擲チ而シテ現在ニ於テハ大資本ノ恐威的獨裁トシテノ自己ヲ一層明ニシタリ（「ムッソリニ」、「ビルストドスキ」）「ブルジョア」ハ政況ノ變化ト俱ニ交互ニ「ファスシズム」又ハ社會民主主義トノ提携ノ方法ヲ採ル而シテ稀ニ社會民主主義ニ於テ公然「ファスシズム」ノ役割ヲ行フ（獨逸ニ於ケル「ノスケ」波蘭社會黨等）之等ハ正規ノ資本主義ニ採リテハ特異ノモノナリ彼等ハ一般資本主義ノ危機ノ徵候ナリ彼等ハ革命ノ進行速度ヲ阻害ス史的ナル戰爭時代ノ經驗ハ資本主義ノ安定ハ勞働階級ニ對スル壓迫ニ依リテ得レル且其生活標準ノ組織的低下ハ部分的、一時的ノ安定ニ外ナラザルコトヲ示シタリ此ノ安定ハ資本主義ノ一般の危機ヲシテ一層銳キモノタラシメ且「プロレタリア」

ノ世界革命ニ於ケル新形勢ヲ創造スルトコロノ新シキ且ヨリ深遠ナル矛盾ヲ招來ス
第一次ノ帝國主義戰爭（一九一四—一八年世界戰爭）及「ロシヤ」「ツアア」帝國ニ於ケル勞働階級ノ十月勝利ノ結果世界經濟ハ二ノ根本的ニ相敵對スル分野ニ分レタリ即チ帝國主義國家ノ分野及「ソヴィエトロシヤ」ニ於ケル「プロレタリアート」獨裁ノ分野之レナリ二國家ノ階級構成ニ關

スル相異及階級的特徴、内治、外交、經濟及文化政策ニ於ケル兩者目的ノ根本的相異、二分野發展ノ方向ニ於ケル根本的相異ハ資本主義世界ヲシテ戰勝セル「プロレタリア」國家ト激シキ衝突ヲ致サシム二個ノ相敵對スル組織ハ單一ナル世界經濟ノ組織中ニ於テ衝突シツツ有リ即チ資本主義組織及社會主義組織之ナリ是迄階級闘争ハ「プロレタリアート」カ國權ニ與ラサル事實ニヨリ定メラレタル形式ニ於テ行ハレタルモ今ヤ階級闘争ハ眞ニ世界的ノ廣サヲ以テ行ハレ然モ勞働階級ハソレ自身ノ國家―國際「プロレタリアート」ノ唯一ノ祖國―ヲ有ス「ソヴェト」聯邦ノ存在及勞働民衆上及全世界ニ振フ其ノ勢力ハソレ自身世界資本主義ノ深遠ナル危機及歴史上未タ且テ見サル程ノ階級闘争ノ擴大及増進ヲ最モ著シク示スモノナリ

固有ノ矛盾ヲ除去スル力ナキ資本主義世界ハ國際團體（國際聯盟）ノ建設ニ努力シツツアリ即チ該團體ノ主要ナル目的ハ革命危機ノ潮流ヲ阻ミ封鎖又ハ戦争ニ依リ「ソヴェトプロレタリア」共和國ヲ抑壓スルニ在リ一方ニ於テ革命「プロレタリアート」及抑壓セラレタル植民地人民ノ全力ハ「ソヴェトロシア」ヲ繞リテ動キツツ有リ不安定且内部的ニ腐蝕セル但シ充分武裝セル資本ノ提携ハ勞働ノ單一旦世界の提携ニ直面ス

斯クノ如ク第一時資本主義戦争ノ結果根本的ナル新對峙ハ世界的範圍及意義ヲ有スルニ至レリ即

チ「ソヴェトロシア」及資本主義世界間ニ於ケル敵對之ナリ

一方世界經濟ノ資本主義分野ニ於ケル對峙ハ更ニ激烈トナリ世界ノ經濟中心ハ米合衆國ニ移リ「弗共和国」ハ凡ユル國家ノ開拓者トナリ從ツテ合衆國及歐羅巴ノ資本主義特ニ英國資本主義間ノ關係ヲ更ニ銳クシタリ從來ノ保守的帝國主義國家中最有力ナル大英國及新進帝國主義國家中ノ最タル且既ニ世界ノ霸權ヲ掌握セル合衆國間ノ闘争ハ資本國ノ世界的闘争ノ樞軸トナリツツアリ獨逸ハ「ヴェルサイユ」條約ノ搾取ニ遇エリト雖モ既ニ經濟的ニ回復シ再ヒ帝國主義政策ノ軌道ヲ歩ミツツアリ而シテ再ヒ大英帝國及佛蘭西ノ競争者トシテ世界市場ニ出現ス太平洋ハ主トシテ米日間ノ闘争ニ基ク扞格ノ渦中ニ卷込マレツツアリ他方變化斷エ間無ク不安定ナル國家聯合間ノ利害衝突ハ展開シ二等國ハ帝國主義國家及其聯合ノ手中ニ在リテ其補助者トシテ行動ス世界資本主義ノ産業機關ノ生産能力ハ増進シタルモ他方歐羅巴内國市場ハ大戰及「ソヴェト」聯邦カ資本主義分野ヨリ脱出セル結果制限セラレタリコハ主要ナル原料資源及燃料ノ獨占ト共ニ資本主義國家間ノ闘争ヲシテ更ニ其範圍ヲ廣メシメタリ石油、護謨、棉花、石炭及金屬ニ對スル平和的闘争市場及投資區域分配ニ對スル闘争ハ著々他ノ世界戦争ヲ導キツツアリ而シテ該戦争ノ破壊性ハ戰術ノ著シキ發達ト併行シテ増大スベシ更ニ帝國主義諸國、植民地及半植民地諸國間ノ敵對ハ高マ

リツツアリ又世界大戰、植民地ニ於ケル資本主義ノ發展、「ソヴェト」革命勢力ノ増進、主タル海軍國且植民帝國タル大英國（加奈陀、埃太利亞、南阿弗利加）内ニ進行シツツアル分裂ノ傾向ノ結果歐羅巴帝國主義ハ衰へ從ツテ植民地及半植民地ニ於ケル叛亂ヲ助長セリ數億ノ支那國民ヲ立タシメタル支那大革命ハ帝國主義組織ニ數多ノ破綻ヲ起シ印度數億ノ労働者及農民中ノ熄ムコトナキ革命騷擾ハ帝國主義英國ノ世界的籠城地ノ支配ヲ威嚇シ革命發展ノ最重要ナル要素タル「ソヴェト」聯邦ノ存在ハ諸國ノタメニ社會主義ヘノ轉換ノ途ヲ開クモノナリ

斯ノ如ク人口ノ歴倒的多數ハ對帝國主義戰爭ニ進ミツツアリ諸植民地ノ革命ノ進行ハ亦深遠ナル帝國主義ノ一般的危機ヲ示スモノナリ最後ニ革命ノ危機ハ明ニ帝國主義ノ中心ニ於テモ熟シツツアリ即チ労働階級ノ生活標準、團體ノ組織及其政治的權利ニ對スル「ブルジョア」ノ攻撃ハ「プロレタリア」大衆ノ高マリツツ抵抗ヲ招來シ及労働階級ト資本家間ノ階級闘争ヲシテ更ニ鋭キモノタラシム大英帝國（一九二六年總同盟罷工）獨逸及米合衆國ニ於ケル勞資間ノ大争闘、大衆ノ左翼ヘノ躍進、共產黨ノ勢力及權威ノ増進「プロレタリア」獨裁國ニ對スル労働大衆ノ同情ノ増大ト之等ハ皆革命ノ潮流ガ再ビ帝國主義ノ中心ニ現レツツアルコトヲ明示スルモノナリ

斯ノ如ク世界ノ帝國主義組織並資本主義ノ部分的安定ハ種々ノ原因ニヨリ破壊シツツアリ其原因トハ帝國主義諸國間ノ闘争及敵對、植民地大衆ノ闘争ヘノ進出、本國ニ於ケル革命「プロレタリアート」ノ勃興及最後ニ「ソヴェト」聯邦ニ於ケル「プロレタリア」獨裁ニ依リ全世界ノ革命運動ニ及ホセル覇權之ナリ國際革命ハ發展シツツアリ

コノ革命ニ對シ帝國主義ハ其力ヲ集中シツツアリ植民地ニ對スル遠征新世界戰爭「ソヴェト」聯邦ニ對スル運動ハ今ヤ帝國主義政治ノ實際的問題ナルト共ニ又國際革命ノ凡ユル勢力ヲ解放シ且資本主義ヲシテ避ケ難キ破壊ニ導ク可シ

第三、共產「インターナショナル」ノ終局ノ目的—世界共產主義

共產「インターナショナル」ノ終局ノ目的ハ資本主義ノ世界經濟ニ代フルニ共產主義的世界經濟ヲ以テスルニ在リ、共產主義的社會ノ基礎ハ歴史的發展ノ全過程ヲ通ジテ準備セラレタルモノニシテ右共產主義的社會コソ實ニ人類發達ノ唯一ノ出發點ナリ、蓋シ共產主義的社會ノミガ人類ノ墮落ト破滅ノ脅威ヲ與ヘツツアル資本主義制度ノ根本的矛盾ヲ除去スルコトヲ得レバナリ

共產主義的社會ハ社會ニ於ケル階級ノ分立ヲ除去ス即チ生産ニ於ケル無規律狀態ヲ廢止スルト同時ニ社會ニ於ケル無規律狀態ヲ除去スベシ、共產主義社會ニ於テハ其ノ社會ノ人員ハ統一セラレ

タル單一ノ社會ニ於ケル勞働ニ於テ協力スルニ至ルベク互ニ争闘ヲ續ケツツアル階級ニ代ハルニ至ルベシ、資本主義社會ニ於テ階級争闘ノ爲メ費サレタル人類ノ「エネギー」ノ莫大ナル不生産的勞費ハ終止スベク斯クノ如クニシテ解放セラレタル人類ノ「エネギー」ハ自然ニ對スル争闘ノ爲メ且ツ人類ノカノ向上發展ノ爲メ用ヒラルルニ至ルベシ

生産ニ於ケル私有財産ヲ廢止シ之ヲ變ジテ社會ノ財産ト爲シタル後共產主義制度ハ世界市場ノ基本要素即チ競争ト社會生産ノ盲目的過程ニ代フルニ意識的ニ統一セラレ且ツ計畫セラレタル生産ヲ以テスルニ至ルベシ、生産ノ無規律状態及競争ノ廢止ニ依リ同時ニ破壊的危機竝ニ更ニ破壊的ナル戦争ハ除去セラルベシ、生産力ノ莫大ナル空費竝ニ社會ノ病的發達ハ變ジテ凡テノ資源ハ計畫的ニ管理セラレ社會ハ無制限ノ而モ急速ナル發達ヲ遂ゲツツアル生産力ヲ基礎トシテ何等ノ苦痛ヲ伴フ事ナク經濟的發達ヲ遂グルニ至ルベシ

私有財産竝ニ階級ノ廢止ハ人類ニ依ル人類搾取ヲ除去スルニ至ルベシ勞働ハ最早其ノ敵タル階級ノ利益ノ爲メノ勞働タラザルニ至ルベク勞働ハ生活ノ手段タリシモ今ヤ生活ノ必要タルニ至ルベシ、經濟上ノ不平等即チ奴隷的階級ノ貧困状態及物質的生存ノ悲惨ナル標準ハ消滅スルニ至ルヲ以テ貧富ノ觀念モ從テ消滅スルニ至ルベシ、勞働ノ分配ニ依リ系統建設セララルト共ニ筋肉勞

働及精神勞働ノ對立モ除去セラルベシ、同時ニ階級支配ノ機關竝ニ國家ハ先ヅ第一ニ消滅スベシ階級支配ノ權化タル國家ハ階級ノ消滅セル範圍ニ於テ消滅シ同時ニ總テノ強制法規ハ消滅スベシ

此文共ニ

階級ノ消滅ト共ニ所有形式ニ於ケル教育ノ獨占ハ打破セラルベシ一般ニ何人ト雖モ基礎教育ヨリ高等教育ニ至ル總テノ教育ヲ受ケ得ルニ至リ其ノ結果或特定ノ團體ガ人類ヲ支配スルコトハ不可能ト爲リ技術アルモノ又ハ天才ヲ有スルモノニ對シテハ其ノ範圍ヲ選擇シ又ハ其ノ才能ヲ發達セシメ得ル廣汎ナル範圍ガ開カルルニ至ルベシ

共產主義的社會ニ於テハ生産力ノ發達ニ對シテ何等社會的制限ヲ課スルコト無シ、生産ノ手段タラズ私有財産、利潤ヲ追及セントスル利己的慾望、大衆ヲ無理ニ無智ノ状態ニ止マラシムルコト及大衆ノ貧困状態―此等ハ總テ資本主義社會ノ技術的進歩ヲ阻害スルモノナルガ―及莫大ナル空費ハ最早共產主義的社會ニ於テハ存在セザルニ至ルベシ

世界經濟組織ノ各部分ニ於テ天然ノ資源竝ニ生産ノ自然的、氣候的條件ハ極度ニ利用セララルベシ都市ト田舎ノ區別ハ農業ガ他ノ産業ニ比シ技術的見地ヨリ見テ低キ程度ニ止ルガ故ニ生ズルモノナルガ右差別モ消滅スベシ科學ト技術ハ極度ニ結合セララルベシ研究調査ハ益々發達シ社會ノ最モ

廣汎ナル範圍ニ互リ實用ニ供セラルルニ至ルベシ労働ハ最モ科學的ナル組織ニ於テ結合セラレ統
計的計算ト經濟ノ計畫的調節ノ最良ノ方法使用セラルベシ社會ノ需要ニ於テ急激ナル増加ヲ見ル
ニ至ルベク右ハ全組織ヲ内部ヨリ促進スル最モ有力ナル衝動タルベキモノナリ此等ノ總テハ労働
ノ最大限度ノ生産力ヲ確保スル所以ニシテ右ハ人類ノ「エネルギー」ヲ解放シテ科學並ニ美術ノ
有力ナル發達ニ向ハシムルモノナリ

共產主義社會ニ於テハ生産力増進スルヲ以テ人類全體ノ福利ヲ増進シ從テ文化ヲシテ未ダ歴史上
見ザル發達ヲ遂ゲシムルコトヲ得ベシ初メテ統一セラレタル人類ハ總テノ國境ヲ貫通シ且人類相
互間ニ於ケル明白ニシテ相互的ナル關係ヲ基礎トスル文化ヲ有スルニ至ルベシ右理由ニ依リ永遠
ニ總テノ神祕、宗教、偏見、迷信ヲ打破シ且ツ全能ニシテ合理的ナル人智ノ發展ニ對シ有力ナル
衝動ヲ與フベシ

共產主義ノ比較的發達セル階梯ニ於テハ共產主義的社會ハ既ニ其ノ基礎ノ上ニ確立セラレ同時ニ
男女共ニ總テノ方面ニ互リ其ノ發達ヲ遂ゲ生産力ハ莫大ノ發達ヲ遂ゲルニ至ル、然レドモ此ノ階
梯ハ其ノ歴史的条件トシテ更ニ低キ階梯ヲ前提トスルモノニシテ此ノ階梯ニ於テハ共產主義的社
會ハ資本主義社會ヨリ出生セルノミニシテ從テ右資本主義的社會ヨリ傳統セル經濟的、倫理的、

智的特徴ヲ保有ス、此ノ階梯ニ於テハ社會主義的生產組織ノ發達猶不當ニシテ其ノ爲メ必要ニ應
ジテ生産ノ結果ノ分配セラルル事ヲ許容ス、労働ノ分配即チ一定ノ團體ニ對シ一定ノ労働ノ機能
ヲ承認スルコト特ニ筋肉労働ト精神労働ノ區別ハ未ダ除去セラレズ、階級ハ廢止セラレタルモ舊
社會ニ於ケル階級分立ノ遺物、從テ「プロレタリア」ノ國家的權力ノ遺物、強制法規、權利殊ニ
「ブルジョア」ノ權利（消費ニ於ケル私有財産ノ權利）サヘ猶存在ス、其ノ結果不平等關係ハ未ダ
全ク消滅スルニ至ラズシテ幾分トモ其ノ痕跡ヲ留ム、田舎ト都市トノ區別モ未ダ消滅スルニ至ラ
ズ而レドモ舊社會ノ右殘骸ハ何レノ社會力ニ依リテモ擁護セラルル事ナシ、右殘骸ハ生産力發達
ノ特定ノ階梯ノ一部分タルモノニシテ人類ガ資本主義的制度ノ羈絆ヨリ解放セラレ自然力ヲ征
服シ共產主義的精神ニ馴致セラレ、且社會主義ヨリ完全ナル共產主義ニ進ムト同時ニ消滅スベ
シ

第四、資本主義ヨリ社會主義ヘノ過渡期及「プロレタリア」ノ獨裁

資本主義的社會ヨリ社會主義的社會ヘ推移スル場合ニ於テハ革命的轉形期アリ、右期間ニ於テハ
社會組織ハ全ク轉形スルモノナリ、右ハ政治的過渡期ニシテ右期間ニ於テハ國家ハ「プロレタリ
ア」ノ革命的獨裁ニ外ナラザルベシ、又帝國主義ノ世界的獨裁ヨリ「プロレタリア」ノ世界的獨

裁ニ移ル間ニ於テハ「プロレタリア」ノ争闘ノ長キ期間存スルモノニシテ右期間ニ於テハ「プロレタリア」ハ戦勝ト敗北ヲ繰リ返スモノナリ、而シテ右期間ハ資本主義ノ組織ニ於ケル繼續のニシテ且ツ一般的ナル危機ヲ包含スル時期ニシテ且社會革命ノ爛熟期ナリ、右期間ハ民族戦争及植民地叛亂ノ時期ナリ民族戦争及植民地叛亂ハ其レ自體「プロレタリア」ノ社會主義的革命運動ニハアラザルモ之ヲ客觀的ニ見ル時ハ其ノ帝國主義ノ支配ヲ顛覆セントスルモノナル範圍ニ於テ「プロレタリア」ノ世界革命ノ要素タルモノナリ、又右過渡期ニ於テハ資本主義的經濟組織ト社會主義的經濟組織及資本主義的社會制度ト社會主義的社會制度ガ相併立シ兩者ガ平和的關係ト武装的争闘トヲ繼續スル時期ナリ此ノ時期ニ於テハ社會主義「ソヴィエト」聯邦ハ形成セラレ右ハ帝國主義諸國ニ對シテ戰闘ヲ賭シ且ツ植民地人民等ト更ニ益々密接ナル關係ヲ設定スルモノナリ

「ブルジョア」革命ハ既ニ成立シ且ツ經濟上支配力ヲ有スルニ至リタル生産組織ヲ政治上解放スルコトヲ意味スルニ過ギズ即チ搾取者ノ階級ノ掌中ニ存スル權力ヲ他ノ者ニ移轉スルコトヲ意味スルモノナリ、之ニ反シ「プロレタリア」革命ハ「プロレタリア」ガ「ブルジョア」ノ財産關係ニ強制的ニ干渉シ(ロ)搾取階級ノ財産ヲ沒收シ且(ハ)社會ノ經濟的基礎ヲ急激ニ改造シ竝ニ人類ニ依ル人類ノ搾取制度ヲ廢止センコトヲ以テ目的ト爲ス「ブルジョア」革命ハ封建諸候ノ政治的支配ヲ

終焉セシムル爲メ數世紀ヲ要シタルガ右ハ各個ノ革命ノ連續ニ依リ之ヲ打破セリ「プロレタリア」ノ國際的革命ハ單一ニシテ且ツ同時ナル行動ニアラザルベク右ハ全時期ニ互ルモノナリ、然レドモ現今各國間ニ密接ナル聯絡存在スルヲ以テ「プロレタリア」ノ革命ハ非常ニ短期間ニ其ノ使命ヲ果スコトヲ得ベシ而シテ社會主義經濟ヲ建設セントスル周約的事業ハ長期ニ互ルモノニシテ右ハ世界的社會主義革命ガ完成シ且ツ「プロレタリア」ガ其ノ世界的政權ヲ確立シタル後ニ於テノミ開始セラルベキモノナリ

「プロレタリア」ガ政權ヲ獲得スル事ハ社會主義的經濟組織ノ發達及「プロレタリア」文化發達ノ前提條件ニシテ右「プロレタリア」文化ハ性質ヲ變更シツツ遂ニ生活ノ凡テノ方面ニ於テ社會ノ指導者タルニ至レリ、轉形ノ過程ニ總テノ他ノ階級ヲ引キ入レ、斯ノ如クシテ階級廢止ノ基礎ヲ置クモノナリ

「プロレタリア」ノ獨裁ヲ樹立シ且社會組織ヲ轉形セン事ヲ目的トスル争闘ニ於テハ地主ト資本家ノ同盟ニ對シ労働者ト農民トハ「プロレタリア」ノ精神的政治的融合ノ下ニ、同盟ヲ締結スベク右同盟ハ「プロレタリア」ノ獨裁ヲ樹立スルノ基礎タルベキモノナリ

過渡期ノ特徴ハ搾取者ノ抵抗ヲ苛酷ニ抑壓スル事、社會主義的建設ノ業ヲ組織スル事及社會主義

ノ精神ニ於テ男女ヲ訓練シ以テ階級ヲ打破スルコトナリ
右ノ如キ重大ナル歴史的任務ヲ滿タサレタル後ニ於テ初メテ過渡期ハ共產主義社會ニ變化シ初ム
ルモノナリ

斯ノ如クニシテ資本主義的世界經濟ヨリ社會主義的世界經濟ニ推移スル爲メ必要ナル前提條件ハ
世界「プロレタリア」ノ獨裁ニシテ此ノ獨裁ハ社會主義ガ若干國ニ於テ勝利ヲ博シタル後ニ於
テ、且新ニ成立スルニ至リタル「プロレタリア」共和國ガ既存ノ「プロレタリア」共和國ト聯邦
ヲ爲シ、右聯邦ガ帝國主義ノ羈絆ヨリ解放セラレタル植民地ヲ味方ト爲シ又右聯邦ガ「ソヴェ
エト」社會主義共和國ノ世界的聯合ト爲リ國家トシテ統一セラレタル國際的「プロレタリア」ノ
羈絆ノ下ニ人類ヲ統一スル場合ニ於テ完成セラレルモノナリ
「プロレタリア」ニ依ル政權ノ獲得トハ議會ニ於テ多數ヲ制スル事ニ依リ既存ノ「ブルジョア」國
家機關ヲ平和的ニ獲得スルコトヲ意味スルモノニアラズ「プロレタリア」ニ依ル政權ノ獲得トハ
「ブルジョア」ノ權力ヲ暴力ヲ以テ顛覆シ資本主義的國家ノ機關（「ブルジョア」軍隊、警察、官
僚組織裁判所、議會等）ヲ破壊シ、且ツ搾取者ノ抑壓ノ爲メノ武器トシテ「プロレタリア」權力
ノ新機關ヲ以テ之ニ代フル事ナリ

一八七一年ノ巴里「コンミュン」ノ經驗ヲ無限ニ擴張セル露國並ニ洪國革命ニ依リ示メサレタル
如ク「プロレタリア」國權ノ最モ便宜ナル形式ハ「ソヴェエト」國家ナリ
右ハ國家ノ形式トシテ最モ廣汎ナル範圍ニ亘レル大衆運動ヨリ直接ニ發生シ、大衆ノ活動ヲシテ
最大ノ效果アラシメ且其ノ終局ノ勝利ヲ最モ確實ニ保證スルモノナリ、「ソヴェエト」國家ハ「ブ
モクラシー」ノ最高ノ形式即チ「プロレタリア」的民主主義ヲ代表スルモノニシテ實際ハ「ブ
ルジョア」ノ專制ナルモ假面ヲ以テ之ヲ包メル「ブルジョア」的民主主義トハ之ヲ區別セザルベ
カラズ

「ブルジョア」的民主主義トハ異リ「プロレタリア」民主主義ハ明ニ「プロレタリア」ノ壓倒的
多數ノ利益ノ爲メニ搾取者ヲ抑壓スルコトヲ以テ目的トナスモノナリ「プロレタリア」的民主主
義ハ其ノ敵タル階級ヨリ政權ヲ剝奪シ散在セル小「ブルジョア」農民ニ比シ一時的特權ヲ「プロ
レタリア」ニ許與シ以テ「プロレタリア」ノ指導的地位ヲ強固ナラシメントスルモノナリ同時ニ
「ソヴェエト」ハ「プロレタリア」ノ指導ノ下ニ大衆團體ヲ包括スルノ形式ニシテ從テ右ハ事實上
「プロレタリア」及農民ノ大衆ヲ戰闘ニ引キ入レ且之ヲ社會主義的建設ノ業ニ參加セシメ又國家
行政ノ實際的事務ニ參與セシムルモノナリ、彼等ハ彼等ノ事業ノ總テニ於テ勞動階級ノ大衆團體

ニ依頼シ、勤勞者ノ間ニ民主主義ノ原則ヲ實施シ且他ノ如何ナル政府ノ形式ヨリモ大衆トノ間ニ一層密接ナル接觸關係ヲ設定スルモノナリ、代表ヲ選舉シ又之ヲ解任スルノ權利、立法者及行政者ノ結合、及生産ヲ基礎トシ、住所ヲ基礎トセザル選舉制度（仕事場及工場等ニ依ル選舉等）ハ總テ「ブルジョア」ノ代議制的共和國ト「プロレタリア」ノ「ソヴェエト」獨裁トノ間ニ著シキ差異アルヲ示スモノナリ

「ブルジョア」的民主主義ハ形式上ハ法律ノ前ニ於ケル各人ノ平等ヲ承認スルモ其ノ實階級間ニ於ケル經濟上物質上ノ明白ナル不平等關係ニ立脚スルモノナリ

資本家階級ハ生産手段及其他ノ重要ナル富ヲ獨占スルモノナルガ右獨占ヲ保持シ又ハ之ヲ一層強ムルコトニ依リ「ブルジョア」的民主主義ハ法律ノ前ニ於ケル各人ノ形式的平等及民主主義的權利ト自由トヲ變ジテ被搾取階級殊ニ「プロレタリア」ニ關スル範圍ニ於テハ之ヲ法律的擬制タラシメ其ノ結果右形式的平等並ニ民主主義的權利及自由ヲ以テ大衆ヲ欺瞞シ且之ヲ奴隸タラシムルノ手段トシテ利用ス形式的權利ニ關シテハ「ソヴェエト」國家ハ搾取者及人類ノ敵ヨリ政治上ノ權利ヲ剝奪シ人民間ニ於ケル不平等ヲ全然排除シ以テ他ノ如何ナル國ニ於テモ存立セザル平等關係ヲ設立セリ同時ニ「プロレタリア」ノ獨裁ハ絶エズ右平等關係ヲ現實ニ實現スル爲メ必要ナル物質

的基礎ヲ創造シツツアリ而シテ其ノ手段タルベキモノハ（イ）婦人ヲ解放スルコト及（ロ）植民地ノ工業化ヲ容易ナラシムルコト等ナリ故ニ「ソヴェエト」民主主義ハ「プロレタリア」ノ民主主義ニシテ換言スレバ勤勞大衆ノ民主主義ナリ更ニ換言スレバ搾取者ニ反抗スル民主主義ナリ

「ソヴェエト」國家ハ「ブルジョア」階級ヲ完全ニ武裝解除シ且ツ武器ヲ「プロレタリア」ノ掌中ニ集中スルコトヲ以テ前提トナスモノニシテ「ソヴェエト」國家ハ武裝セル「プロレタリア」ノ國家ナリ、而シテ武力ノ編制ハ階級主義ヲ基礎トシテ完成セラルルモノニシテ右原則ハ「プロレタリア」獨裁ノ全組織ニ適應シ且工業「プロレタリア」ニ對シテ指導的地位ヲ保障スルモノナリ、右編制ハ革命的訓練ヲ基礎トスルモノナルガ同時ニ赤衛軍隊及海軍ノ部員ト勤勞大衆間ニ於テ密接ニシテ且不斷ナル聯絡ヲ保持スルコト及彼等カ行政並ニ社會主義建設ノ事業ニ參加スルコトヲ前提トス

勝利ヲ收メタル「プロレタリア」ハ其ノ政權ノ獲得ヲ利用シ以テ經濟的革命即チ革命ニ依リ資本主義的財產關係ヲ社會主義的生產方法ニ轉形スルノ手段タラシム右經濟的大革命ハ地主及資本家ノ財產ヲ沒收スルコト即チ「ブルジョア」ノ獨占財產ヲ變ジテ「プロレタリア」國家ノ國有財產タラシムルコトヲ以テ其ノ第一歩トナスモノナリ

共産「インタナショナル」ハ此ノ範圍ニ於テ次ノ事項ヲ以テ「プロレタリア」獨裁ノ根本的任務ト爲ス

(1) 工業、運輸、通信

- (a) 私人經營ニ屬スル大規模工業（工場、仕事場、鑛山及電業所）ノ總テヲ沒收シ「プロレタリア」ノ所有ト爲シ且總テノ國營並ニ市營企業ヲ「ソヴィエト」ノ手ニ移スコト
- (b) 私營鐵道、水路、並ニ空中輸送設備（商業用及旅客運輸用）ヲ沒收シ之ヲ（プロレタリア）ノ所有ト爲シ且ツ國營業ニ市營運輸事業ヲ「ソヴィエト」ノ手ニ移スコト
- (c) 私營通信設備（電信電話、及ラヂオ）ヲ沒收シ之ヲ「プロレタリア」ノ所有ト爲シ同時ニ國營並ニ市營通信設備ヲ「ソヴィエト」ノ手ニ移スコト

(2) 農業

- (a) 都市及田舎ニ於ケル總テノ大規模所有地（私有地、教會所有地）ヲ沒收シテ之ヲ「プロレタリア」ノ所有ト爲シ同時ニ國有並ニ市有ノ土地（森林、鑛山、湖水、河川ヲ含ム）ヲ「ソヴィエト」ノ手ニ移シ斯クテ總テノ土地ヲ國有ト爲スコト
- (b) 廣汎ナル所有地ニ接屬スル總テノ財産即チ建物、機械、貯藏品、家畜、農業設備（大規模製粉車、酪農場、果物及野菜乾燥場）ヲ沒收スルコト

- (c) 廣汎ナル土地殊ニ模範農場ニシテ經濟上相當重要ナルモノハ之ヲ「プロレタリア」獨裁ノ機關及「ソヴィエト」農業團體ノ監理經營ニ移スコト
- (d) 分割地殊ニ小作人ニ依リ耕作セラルルモノハ之ヲ貧農及中農ノ使用ノ爲メ之ヲ移轉スルコト（農民ノ所有ニ移サルベキ土地ノ量ハイ）經濟的必要並ニ（ロ）農民ヲシテ中立ノ地位ニ立タシメ且被等ヲシテ「プロレタリア」ノ味方タラシムルノ必要ニ依リ之ヲ決定ス此ノ點ハ事情ヲ異ニスルニ從ヒ又相異ナカラザルベカラズ）
- (e) 土地ノ賣買ヲ禁止スルコト
- (f) 高利ヲ防止スルコト、役務ヲ條件トスル總テノ取引ノ廢棄、農民被搾取階級ノ總テノ債務ノ廢棄

- (g) 農業ノ改善ノ爲メ信用制度ヲ組織スルコト

- (h) 農業「コーペラチーブ」、集團農場、「コンミュン」ヲ財政上又其他ニ於テ支持スルコト

(3) 商業ト信用

- (a) 私營銀行（金準備、證券、預金等ノ全部ヲ「プロレタリア」ノ國家ノ所有ニ移スコトヲ

含ム)ヲ「プロレタリア」ノ所有トスルト同時ニ國營並ニ市營等ノ銀行ヲ「プロレタリア」
國家ニ移轉スルコト

(b) 銀行ノ集中、即チ「プロレタリア」ノ國營ニ歸スルニ至リタル大規模銀行ノ總テヲ中央
國立銀行ニ從屬セシムルコト

(c) 卸賣業(倉庫、昇降機、店舗、在庫品等)ヲ國營トシ且之ヲ「ソヴェエト」國家機關ニ
移轉スルコト

(d) 外國貿易ノ獨占

(e) 外國並ニ國內資本家ニ對スル國家ノ債務ヲ否認スルコト

(4) 所謂精神的產物ノ製作所

(a) 印刷工場ノ國有

(b) 新聞並ニ書籍出版ノ國營

(c) 大規模ナル活動寫真企業及劇場等ノ國有

(5) 家財

(a) 巨額ナル家財ノ沒收

(b) 沒收セル家屋ハ之ヲ地方「ソヴェエト」團體ニ移スコト

(c) 労働者ヲ「ブルジョア」ノ住宅ニ移住セシムルコト

(d) 宮殿及其他大規模ノ私有又ハ公共ノ敷地ヲ労働者階級ノ使用ニ供セシムルコト

(6) 労働日時ト労働者ノ工業監理

(a) 労働時間ヲ七時間ニ低減スルコト及健康ニ有害ナル仕事ニ在リテハ更ニ之ヲ低減スルコト

(b) 労働者ノ工業監理ヲ組織スルコト工業監理ニ於テ労働組合ト密接ニ協同スル事ヲ條件ト
シテ工業監理ノ爲メ國家機關ヲ設置スルコト

「プロレタリア」獨裁ノ第一期ニ於テ同國內ニ於ケル他ノ階級又ハ他ノ社會團體ニ對スル「プロ
レタリア」ノ政策ハ次ノ如シ

(1) 「ブルジョア」、地主、將校、官僚ハ労働階級ノ絶對ノ敵ナリ、彼等ノ組織的技能ハ利用シ
得ベキモ無産階級獨裁確立後ナラザルベカラス

(2) 「ブルジョア」ノ傳統ニヨリ教育セラレタル工業知識階級ニ對シテハ無産階級ハ其ノ反革命
行動ヲ抑壓スルト共ニ其ノ訓練ヲレタル社會的勢力ノ利用ヲ忘ルベカラス

本階級ヲ無産階級ニ思想上加擔セシメ社會變革事業ノ協力者トセシムルヲ要ス

- (3) 農民階級ニ對スル共產黨ノ事業ハ農村勞働階級ノ指導者トナルコトナリ其ノ手段ハ(イ)無産及貧困農民ノ援助(ロ)地主ヨリ農民へ耕地移轉(ハ)中産農民ヲ中立セシメ地主トノ連絡ヲ絶ツ(但シ無産獨裁確立後ハ中産農民ハ之ヲ合併ス)等ナリ

- (4) 無産階級ニ對シ極端ナル反感若ハ同情ヲ有スル小「ブルジョア」ハ出來得ル限り之ヲ味方トスルコトヲ必要トス之レカ爲ニハ僅少ノ財産私有ト營業ノ自由ヲ許セバ可ナリ

前記事業遂行中勞働團體ノ意義ハ根本的ニ變化ス資本主義ノ下ニ於テハ勞働組合ハ資本家及資本主義國家ニ對スル闘争ノ武器ナルカ無産者國家ニ於テハ無産者獨裁ノ槓杆ニシテ又大衆ニ共產主義ヲ教授スル學校ナリ故ニ勞働組合カ社會主義國家建設ノ事業ニ其ノ首領ヲ參與セシメ官僚政治ト闘フ範圍ニ於テ勞働組合ハ「プロレタリア」國家ノ經濟組織ノ支柱ナリ

資本主義ノ下ニ於テハ「コーペラチヴ」ハ往々墮落シテ資本主義ノ單ナル附屬物トナルモ「プロレタリア」國家ニ於テハ最重要ナル分配機關ノ一ナリ

最後ニ農村「コーペラチヴ」ハ都市トノ連絡機關ナリ本「コーペラチヴ」ハ資本主義下ニテハ資本家銀行、企業ヲ利用スル爲資本主義企業タルモ無産者國家ニ於テハ無産者ノ機關ヲ利用ス

ルヲ以テ其ノ運用ヲ誤ラサレハ社會變革ノ重要ナル槓杆タルベシ

社會主義國家建設ニ際シ無産者團體ハ共產黨ノ活動ニ依リ統一セル精神ト行動ヲ有シ來ル故ニ新社會編纂者ノ使命ハ無産者教育ヲ充實シ社會主義ノ爲ノ科學、工業、政治ノ知識ヲ有スル男女ノ養成ナリ

勞働者階級ハ資本家階級ノ生産手段ノ獨占ヲ廢止シタル後ハ更ニ進テ「ブルジョア」ノ教育機關(高等教育ヲ含ム)ノ獨占ヲ廢止セサル可ラズ「プロレタリア」ノ爲ス可キ諸般ノ事業中最モ重要ナルハ勞働者階級中ヨリ工業方面ノ専門家(例ヘバ技師、技手、會計士等)ノミナラズ科學並軍事方面ノ専門家ヲモ績々輩出セシムルニアリ而シテ更ニ進デハ「プロレタリア」階級ノ文化的向上、政治教育ノ普及、知識ノ發達、技術上ノ進歩、勞働ノ習慣ノ養成、「ブルジョア」並小「ブルジョア」ノ偏見ノ撲滅ニ努メサル可ラズ

斯クノ如ク「プロレタリア」ハ「ブルジョア」ノ偏見並迷信ヲ撲滅スルニ努メザル可ラザル處、其等偏見又ハ迷信中最モ有害ナルハ人民ノ阿片タル宗教ニシテ此ノ宗教ヲ撲滅スルコトハ最モ緊要ナリ。而シテ此ノ撲滅運動ハ最モ系統的ニ又最モ熱心ニ繼續セサル可ラズ。「プロレタリア」ハ支配階級並帝國主義者ノ代辯者タル教會ニ對スル國家ノ支持ヲ停止スルト共ニ教會ガ國家ノ教育

事業ニ關與スルヲ止メシメ、僧侶階級ノ企ツル反革命運動ヲ絶滅セシメサル可ラズ。「プロレタリア」ハ信教ノ自由ヲ認メツツモ一切ノ手段方法ニ訴ヘテ反宗教運動ヲ起スト同時ニ唯物史觀ノ基礎ノ上ニ立ツ新教育制度ヲ採用セサル可ラズ

「プロレタリア」ノ世界革命ヲ達成スル爲メニハ幾多ノ過程ヲ經サル可ラズ。即チ純然タル「プロレタリア」革命、「プロレタリア」革命ニ早晚變化ス可キ「ブルジョア」ノ民主的革命、國民的解放戰爭、植民地革命ナリ。此等ノ各種ノ革命ヲ經テ後始メテ「プロレタリア」ノ世界的獨裁政治可能ナリ、資本主義ノ發達ハ各國ニヨリテ同一ナラズ、從テ國ニヨリテ資本主義ノ形體並ニ爛熟ノ程度ヲ異ニシ從テ革命ノ過程及條件ヲ異ニス。斯ノ如ク四圍ノ事情カ國ニヨリテ異ナル結果トシテ、「プロレタリア」ノ政權獲得ノ方法並様式ヲ異ニセザル可ラザルハ又已ムヲ得ザル處ニシテ、又或國ニ於テハ「プロレタリア」獨裁政治ノ實現ニ至ル迄過渡的過程ヲ經ルヲ要シ社會主義建設ノ形體ヲ異ニス。斯クノ如ク各國ノ資本主義ハ其ノ體様ヲ異ニシ從テ「プロレタリア」獨裁ハ其ノ實現ニ至ル過程ヲ異ニセザル可ラサル處今之ヲ概觀スレバ大略左ノ三個ノ型ニ分類スルヲ得

資本主義ノ發達高度ニ達セル諸國（北米合衆國、獨逸、英國）

右諸國ニ於テハ生産力ハ強大ニシテ生産力著シク集中セラレ居リ、小規模生産ハ比較的輕キ意義ヲ有スルニ過ギズ且「ブルジョア」的民主主義的政治組織ハ既ニ確立セラレ長キニ互ル、「プロログラム」上ニ於ケル右諸國ニ對スル根本的政治上ノ要求ハ直接「プロレタリア」ノ獨裁ニ推移スル事ナリ、(イ)經濟上ニ於テ先ヅ第一ニ大規模生産ヲ沒收シ(ロ)只小部分ノ土地ヲ農民ノ手ニ移シテ國有「ソヴィエト」農場ノ多數ヲ結合シ、(ハ)不統一ナル市場關係ハ之ヲ只極メテ小サキ範圍ニ局限スベシ、一般社會主義的發達殊ニ農民ノ農場經營ノ集中ハ急速ニ進展ス

資本主義發達ノ途中ニ在ル諸國（一九一七年迄ノ露國、波蘭等）右諸國ニ付テハ其ノ農業ニ於テ尙著シク準封建制度的關係ノ殘存セルモノアリ、工業ノ發達ハ漸ク社會主義的建設ノ事業ノ爲メ充分ナル程度ニ達シ居リ尙「ブルジョア」ノ民主主義的改革ハ完成ノ域ニ達シ居ラザルモノトス右諸國ニ於テハ「ブルジョア」的民主主義的革命的社會革命タル可能性アリ右民主主義的要求ノ爭鬭ヲ經テ遂ニハ勞働者ノ革命ヲ要求スルニ至ルヲ得ベシ此等諸國ニ於テハ農業革命ハ可成重要ナル役割ヲ演ズルモノニシテ「プロレタリア」ノ獨裁ハ社會革命ニ進展シツツアル「ブルジョア」ノ民主主義的革命的過程ニ於テハ之ヲ完成スルヲ得ザルベク換言スレバ沒收セラレタル土地ノ「プロレタリア」及沒收セラレタル土地ノ農民ノ民主主義的獨裁ヨリ「プロレタリア」獨裁へ推移セント

スル争闘ヲ經テ遂ニハ勞働者ノ革命ヲ要求スルニ至レルヲ得ベシ此等諸國ニ於テハ農業革命ハ可成リ重要ナル役割ヲ演ズルモノナリ即「プロレタリア」ノ獨裁ハ即刻ニハ完成セラレザルヤモ知レザルガ「プロレタリア」及農民ノ民主主義的獨裁ヨリ「プロレタリア」ノ社會主義的獨裁ニ推移スル過程ニ於テ右獨裁ノ實現ハ農民ノ意向如何ニ係ルモノナリ大規模ノ土地財産ヲ沒收スルノ過程ニ於テ沒收セラレタル土地ノ可成リノ部分ガ農民ノ任意ノ使用ニ供セラル又市場關係ノ範圍モ相當廣ク又農民ヲ「コーペラチーブ」ニ於テ組織シ後ニ彼等ヲ生産ニ於テ結合セントスルノ任務ハ社會主義的建設ノ事業ニ於ケル最モ重要ナル任務ナルモ其進捗ノ度ハ前記資本主義ノ發達ノ極度ニ達セル國ニ比シ緩漫ナルベシ

植民地及半植民地（支那印度等）

右諸國ニ於テハ工業ハ未發達ノ状態ニ在リ只時トシテハ比較的ヨク發達セル場合アルモ尙獨立シテ社會主義的建設ヲ爲スニハ不適當ナル状態ニ在リ經濟竝ニ政治組織ニ於テハ封建的中世紀的關係ガ支配シ居リ且重要ナル工業、商業、銀行及運輸手段等ハ外國ノ帝國主義的團體ノ掌中ニ在リ斯ノ如キ諸國ニ於ケル最モ重要ナル任務ハ封建制度ニ對シテ戰闘シ且絶エズ一方ニ於テハ農民ノ革命ヲ誘導シ他方ニ於テハ外國ノ帝國主義者ニ對シテ民族獨立ノ目的ヲ以テ戰闘スル事ナリ斯ク

ノ如キ諸國ニ於テ「プロレタリア」ノ獨裁ハ只幾多ノ準備的階梯ヲ通過シ且只「ブルジョア」ノ民主主義的革命ガ社會主義革命タルニ至リタル後ニ於テノミ之ヲ達シ得ベキモノニシテ社會主義的建設ノ業ニ成功セントセハ既ニ「プロレタリア」獨裁ヲ樹立セル國ヨリ直接ノ援助ヲ得ザルベカラズ

現時期ニ於テハ「プロレタリア」國ガ政權ヲ獲得スベキ事ハ資本主義ノ發達セル諸國ニ於テハ第一要務タルニ至レリ而シテ右資本主義諸國中「ソヴィエト」聯邦ニ於テハ既ニ「プロレタリア」ノ獨裁ヲ樹立シ右獨裁ハ世界的意義ヲ有スルニ至レリ、植民地及半植民地ニ於ケル解放運動ハ世界的資本主義ガ此等諸國ニ侵入スル場合ニ於テ發生スルモノニシテ右諸國ガ「プロレタリア」ノ獨裁及一般ニ國際的「プロレタリア」運動ヨリ支持ト援助ヲ得ル場合ニ於テハ右解放運動ハ社會主義運動ニ迄發達スルニ至ルベシ

植民地及半植民地ニ於テ蟠踞シツツアル革命的争闘ガ特別ノ事情ニ在ルコト、「プロレタリア」及農民ノ民主主義的獨裁ヲ樹立シ且右獨裁ヲシテ「プロレタリア」ノ獨裁ニ迄發達セシメンガ爲メニハ長期ニ互ル争闘ヲ爲サザルベカラザルコト及最後ニ右争闘ガ民族的運動トシテ重大ノ意義ヲ有スル點ヨリシテ總テノ國ニ於ケル共產黨ハ特別ノ任務ヲ負フモノニシテ共產「インターナシヨナ

ル」ハ此等特別ノ任務中左ノ事項ヲ以テ最モ重要ナルモノト思考ス

- (1) 封建的支配、諸侯ノ官僚主義及外國ノ帝國主義ノ顛覆
 - (2) 「プロレタリア」及農民ノ民主主義的獨裁制ヲ設立スルコト
 - (3) 完全ナル民族ノ獨立及民族統一ヲ確保スルコト
 - (4) 帝國主義者ニ所屬スル大規模企業（工業運輸、銀行及其他）ヲ國有トスルコト
 - (5) 諸侯領、教會領ノ沒收總テノ土地ノ國有
 - (6) 八時間制ノ採用
 - (7) 勞働者及農民ノ代表者ヨリナル「ソヴィエト」ノ設立
- 民族解放ノ目的ヲ有スル植民地革命及運動ハ之ヲ帝國主義ニ反抗スル爭鬪タル點及勞働者ニ依ル政權ノ獲得タル點ヨリ見テ極メテ重大ナル意義ヲ有スルモノナリ從テ植民地及半植民地ガ過渡期ニ於テ重要ナル意義ヲ有スル所以ハ右植民地ハ工業諸國（世界商業地）ニ對スル世界農業地ノ關係ヲ代表スルモノニシテ社會主義的世界經濟ヲ組織セントスルノ問題ハ即チ帝國主義ノ以前ノ植民地ニ對スル帝國主義諸國ノ關係ヲ定ムル問題ナリ從テ植民地ニ於ケル勤勞大衆トノ間ニ友誼的軍事同盟關係ヲ設定スルコトハ世界ノ工業「プロレタリア」ノ遂行スベキ主タル任務ノ一ナリ

斯ノ如クニシテ世界革命ノ進歩ハ一方ニ於テハ本國勞働者ヲシテ「プロレタリア」獨裁ヲ目的トスル爭鬪ニ奮起セシムルト共ニ又他方ニ於テ幾百萬ノ植民地ノ勞農ヲシテ外國ノ帝國主義ニ反抗セシムルモノナリ而シテ「ソヴィエト」共和國ハ益々其ノ經濟力ヲ増加シツツ社會主義ノ中心點タルニ至レルガ右中心點ノ存在スルガ爲メ帝國主義ノ羈絆ヲ脱シタル植民地ハ經濟上益々右中心點ニ向テ接近シ且漸次國際的社會主義ノ工業上ノ中心點ト結合シ以テ社會主義建設ノ道程ニ引キ入レラレスケテ經濟的及文化的發達ノ機會ヲ得ルニ至ル、比較的進歩ニ遅レタル從前ノ植民地ニ於ケル農民「ソヴィエト」ハ政治上「プロレタリア」獨裁ノ中心點ニ集合シ漸次發達ヲ遂ゲツツアル「ソヴィエト」共和國ノ一般的組織ノ内ニ加入シ且ツ最後ニハ世界的「プロレタリア」獨裁ノ系統中ニ加入スルニ至ル

生産ノ新方法トシテノ社會主義ハ發達シ全世界ニ及ベリ

第五、「ソヴィエト」聯邦内ニ於ケル「プロレタリア」ノ獨裁ト國際的社會革命

世界經濟ガ一方ニ於テハ資本主義諸國他方ニ於テハ社會主義建設ノ途ニ在ル諸國ニ二分セラルルノ事實ハ資本主義制度ガ深甚ナル危機ニ瀕セル事ヲ最モ明ニ示スモノナリ、從テ社會主義建設ノ事業ニ於テ成就シタル成果ト目トスベキ「ソヴィエト」聯邦内ニ於ケル「プロレタリア」ノ獨裁ヲ

内部ヨリ強固ニシ且「プロレタリア」及植民地ノ被抑壓民族ノ大衆間ニ「ソヴェト」聯邦ノ努力ト權威ヲ伸展スルコトハ國際的社會革命ヲ繼續シ之ヲシテ益々激烈ナラシメ且ツ其ノ範圍ヲ擴張スル所以ナリ即チ「ソヴェト」聯邦内ニ於テ確立セル「プロレタリア」ノ獨裁ハ社會革命ノ重要ナル構成部分ニシテ換言スレバ右社會革命ノ前衛ニシテ且ツ其ノ根據地ナリ

露國ニ於テハ王侯並ニ「ブルジョア」ヲ顛覆シ且完全ナル社會主義制度ヲ確立スベキ必要ト物質的前提條件存在シタルガ爲メ同國ノ勞働者ハ國際的「プロレタリア」ノ援助ヲ得テ同國內及外國ノ反革命的軍隊ノ攻撃ヲ勇敢ニ擊退シ、農民ノ多數トノ間ニ設定セル同盟關係ヲ鞏固ニシ、且ツ社會主義的建設ノ事業ニ於テ著シキ成功ヲ收メタリ

「プロレタリア」ガ社會主義的建設ノ道程ヲ急速ニ前進シ得タルハ右「プロレタリア」ノ社會主義的工業ト農民ノ小規模經濟トノ間ニ適當ナル接觸ヲ保持セルガ爲メニシテ右接觸ハ農民ニ對シテハ農業ノ生産力ノ増大ヲ確保シ且ツ社會主義的工業ニ對シテハ其ノ指導的地位ヲ保證セリ「プロレタリア」ガ社會主義的建設ニ於テ急速ナル進歩ヲ遂グルヲ得タルハ尙社會主義的工業ト農業トノ間ニ聯絡ヲ設立セルガ爲メニシテ斯クテ農民ガ寄食階級ノ不生産的消費ノ爲メ勞働スルヲ止メタリ、尙農業ハ資本家ノ私潤ノ爲メニ生産セズシテ消費者大衆ノ不斷ニ増進シツツアル慾望ヲ滿

足スルガ爲メニ生産スルガ故ニシテ右事實ハ之ヲ畢竟スルニ生産ノ全過程ニ互リ之ヲ促進スル處大ナルモノアリ、尙最後ニ經濟上ニ於ケル重要ナル地位ガ「プロレタリア」ノ國家タル「ソヴェト」聯邦ノ手ニ集中セラレ、組織的經理ハ益々其ノ重要ノ度ヲ増シ且其ノ結果トシテ生産手段ガ從來ヨリモ更ニ經濟的ニ分配セラレツツアルガ爲メナリ

資本主義國家側ニ於テハ露國ニ對シテ財政上經濟上「ボイコット」ヲ組織的ニ企圖セルガ右「ボイコット」ニ拘ラズ「ソヴェト」露國ノ「プロレタリア」ハ同國ノ全經濟ニ互リ生産力ヲ増加シテ更ニ高キ標準ニ達セシメ又大規模工業發達ヲ圖リ資本主義國家ノ其レヲ凌駕セシメ以テ同國生産手段ノ全生産額、工業ノ全生産額ヲ増加シ並ニ全國商業ニ於テ國民經濟中社會化セル部分ノ享クル分前ヲ増加シツツアリ

斯ノ如クニシテ國營商業並ニ急速ナル發達ヲ遂ゲツツアル「コーペラチブ」及土地ノ國有ヲ槓桿トシテ使用シ以テ國營社會主義的工業、運輸並ニ銀行制度ハ小農ヲ益々誘導シツツアリ

特ニ農業ノ範圍ニ關シテ生産力ノ増進ハ農民間ノ分化ヲ制限スベキ諸條件（土地ノ國有從テ土地賣買ノ禁止、急激ナル果進稅、貧困ナル農民及中流農民ノ「コーペラチブ」及生産團體ノ金融、勞働者ノ雇傭ヲ調節スル法律、大農ヨリ若干ノ政治上ノ權利及公權ヲ剝奪スルコト）ヲ必要トス

然レドモ社會主義工業ノ生産力ガ充分ナル發達ヲ遂ゲズ從テ農業ニ對シテ廣汎ニシテ且ツ新ナル技術的基礎ヲ與フルコト得ズ從テ農民ノ農場ヲ生産關係ニ於テ結合シテ大規模ノ公共企業タラシムルコトヲ得ザル場合ニ於テハ大農階級ハ所謂新「ブルジョア」ト稱セラルル分子トノ間ニ先ヅ經濟的關係次テ政治的關係ヲ設定シ之ヲ發達セントスルノ傾向ヲ有スルモノナリ

「ソヴィエト」聯邦ノ「プロレタリア」ハ同國ニ於テ經濟上重要ナル地位ヲ占メ右「プロレタリア」ハ新經濟政策實施後最近數年間ニ著シキ減少ヲ見タル地方ノ私有資本ノ殘部ヲ驅逐シツツアリ右「プロレタリア」ハ地方ニ於ケル搾取階級ノ上ニ凡ユル制限ヲ課シ且ツ農民及單純ナル物資ノ生産者ノ多數ヲ急激ニ増加シツツアル「コーペラチーブ」ノ仲介ニ依リ「ソヴィエト」經濟團體ニ引キ入レ從テ又之ヲ社會主義的建設ノ事業ニ引キ入レツツアリ

社會主義ハ既ニ「ソヴィエト」露國ノ經濟上ニ於ケル決定力ニシテ主トシテ同國ノ經濟的發達ノ全般ニ互リ之ヲ決定シ且ツ此ノ事實ニ依リ同經濟ノ更ニ大ナル發達ヲ促スモノナリ

「ソヴィエト」露國ガ技術的經濟的進步ニ遅ルルガ爲メ且ツ大戰中及内亂中多大ノ損害ヲ蒙リタルガ爲メ同國ハ其ノ工場設備ヲ復舊シ新企業ヲ發達セシムルガ爲メニ多大ノ資本ヲ支出セザルベカラザリキ而シテ右ハ社會主義發達ノ道程ニ於テ重大ナル障害ヲ横タヘタリキ而レドモ勞働階級及

勤勞者ノ廣汎ナル階級ノ生活程度ハ絶エズ高上シツツアリ且同時ニ工業ノ社會主義的合理化ト科學的組織ニ伴ヒ七時間制度ハ漸次採用セラレツツアリ

「ソヴィエト」露國ニ於ケル「プロレタリア」ノ獨裁ハ露國ノ帝國主義ヲ打破シ舊露國帝國ニ於ケル植民地及被抑壓民族ヲ解放シ以テ同聯邦内ニ於ケル各民族ニ對シテ形式上平等ノミナラズ實質上ノ平等ヲ保證セリ「ソヴィエト」露國ニ於ケル「プロレタリア」ノ獨裁ハ右地方ヲ工業化スルノ方法ニ依リ彼等ガ文化上又政治上發達ヲ遂クベキ基礎ヲ組織的ニ設置セリ又右獨裁ハ「ソヴィエト」聯邦内ニ於ケル自治區域自治共和國及聯邦共和國ノ法律上ノ地位ヲ明確ニ定メ民族自決權ノ原則ヲ極度ニ遂行セリ

「ソヴィエト」露國ハ「プロレタリア」獨裁ト社會主義的建設ノ土地ナリ同國ニ於テハ勞働者階級ハ巨大ノ收獲ヲ得且ツ農民ト密接ナル同盟關係ヲ設定ス、同國ハ「マルクス」主義ニ追隨スル新ナル文化ノ發祥シ且ツ存在スル國ナリ、從テ「ソヴィエト」聯邦ハ總テノ被抑壓階級ノ世界的運動ノ基礎ニシテ國際革命ノ中心ニシテ且ツ世界歴史ニ於ケル最も重要ナル要素タリ

世界ノ「プロレタリア」ハ「ソヴィエト」聯邦ニ於テ其ノ最初ノ祖國ヲ得且「ソヴィエト」聯邦ハ植民地運動ノ最大中心點タルニ至レリ

斯ノ如クニシテ「ソヴィエト」聯邦ハ資本主義ノ一般の危機ニ於ケル重大ナル要素タルニ至リタルガ右ハ純然タル資本主義國家ノ經濟的交通ヨリ落伍セルガ爲メニアラズシテ社會主義的の生産組織ノ基礎ヲ創造シ又一般革命運動ニ於テ特ニ重大ナル役割ヲ演ジツツアルガ故ナリ、「ソヴィエト」聯邦ハ「プロレタリア」革命ノ國際的の推進力ニシテ且ツ各國ノ「プロレタリア」ノ政權獲得ノ努力ヲ促進スルモノナリ、「ソヴィエト」聯邦ハ勞働階級ガ資本主義ヲ打破スルノミナラズ社會主義的の建設ヲ爲スノ能力ヲ有スル事ヲ示スモノナリ、「ソヴィエト」聯邦ハ總テノ民族間ニ於ケル友愛關係ト社會主義經濟ニ於ケル總テノ勞働者ノ經濟的の統一ノ最初ノ象徴ナリ

一方ニ於テハ「ソヴィエト」聯邦内ニ於ケル社會主義制度アリ他方ニ於テハ其他ノ國ニ於ケル資本主義制度アリ右二個ノ經濟組織ガ同時ニ存在スルノ事實ハ「プロレタリア」國家ニ對シ資本主義國家ノ加フル攻撃（「ボイコット」封鎖等）ヲ打破スベキ任務ヲ課シ且ツ同時ニ「プロレタリア」國家ヲシテ經濟的「マニニバー」ニ訴ヘ以テ資本主義國家トノ經濟的聯絡ヲ（外國貿易ノ獨占、信用、借款、利權及所謂技術的の援助等ノ手段ニ依リ）利用スルヲ餘儀ナクセシムルモノナリ、此ノ點ニ於テ執ルベキ基本の方針ハ「ソヴィエト」聯邦ノ利益ト兩立スル範圍ニ於テ即チ「ソヴィエト」聯邦ニ於ケル工業ヲ強固ニシ、其ノ大工業及電化事業ノ基礎ヲ設立シ且ツ最後ニ其ノ社會主義者

ヲ技術者トスル工業ヲ發達セシムル爲メ、出來得ル限り廣キ範圍ニ互リ外國トノ間ニ經濟的の接觸ヲ確立スルコトナリ、資本主義國家ノ圍繞スル中ニ於テ「ソヴィエト」聯邦ノ獨立ヲ確保シ得ル程度ニ於テ「ソヴィエト」聯邦ニ於ケル社會主義的の建設事業ガ攪亂セララルノ危險ニ對シ且「ソヴィエト」聯邦ガ資本主義制度ノ從屬物タルニ至ラザル様保證ヲ取付ケザルベカラス

他方ニ於テ資本主義國家ハ一方ニ於テ「ソヴィエト」聯邦市場ニ於テ彼等ノ商業上ノ利益ヲ得ントシ他方ニ於テハ「ソヴィエト」聯邦ノ發達即チ國際的の革命ノ發達ニ對シテ危惧ノ念ヲ懷キ絶エズ其ノ間ヲ動搖セリ右ノ爲メ帝國主義的の國家ノ政策ハ「ソヴィエト」聯邦ヲ圍繞シ且「ソヴィエト」聯邦ヲ抑壓シ世界ノ「ブルジョア」ノ恐怖政治ヲ確立セントスルノ目的ヲ以テ右聯邦ニ對スル反革命運動ヲ指導スルコトヲ以テ其ノ主タル且ツ根本的ナル傾向ト爲ス

然レドモ帝國主義者ノ側ニ於テハ「ソヴィエト」聯邦ヲ圍繞セント企圖シ又右聯邦ニ對シテ軍事的の侵略ヲ爲サントスル危險ハ益々増大シツツアルモ右ハ同聯邦ノ共產黨—共產「インターナショナル」ノ支部ニシテ且ツ右聯邦ニ於ケル「プロレタリア」獨裁ノ指導者タル—ハ其ノ國際的義務ヲ遂行シ且總テノ被抑壓者、資本主義國家ニ於ケル勞働運動、植民地民族ノ反帝國主義運動及總テノ形式ニ於ケル民族的の抑壓ニ反對スル戰闘ニ援助ヲ與フルコトヲ阻止スルモノニアラズ

「ソヴィエト」聯邦ハ世界ノ「プロレタリア」ノ唯一ノ祖國ニシテ且ツ彼等ノ主タル城塞ニシテ且ツ國際的解放ノ運動ニ於ケル最重要ナル要素タルガ故ニ世界ノ「プロレタリア」ハ「ソヴィエト」聯邦ニ於ケル社會主義的建設ノ事業ノ成行ヲ容易ナラシメ且ツ凡有手段ヲ盡シテ以テ資本主義國家ノ攻撃ニ對シ右社會主義建設ノ事業ヲ防衛セザルベカラズ

國際政局ハ「プロレタリア」ノ獨裁ヲシテ緊急問題タルニ至ラシメ且ツ國際政局ニ於ケル凡テノ事件ハ只一點即チ「ソヴィエト」露國ニ對スル世界「ブルジョア」ノ戰鬥タル一點ニ集中セラレツツアリ而シテ右「ソヴィエト」露國ハ一方ニ於テハ各國ノ先進労働者ノソヴェト運動他方ニ於テハ植民地及被抑壓民族ノ運動民族の解放ヲ中心トセザルベカラズ（レーニン）

植民地殊ニ「ソヴィエト」聯邦ヲ攻撃シツツアル帝國主義國家所屬ノ植民地ニ於テハ帝國主義軍隊ノ牽制運動ヲ利用シテ反帝國主義戰鬥ヲ極度ニ發達セシメ且ツ帝國主義的羈絆ヲ脱シ又其ノ完全ナル獨立ヲ獲ル目的ヲ以テ革命的行動ヲ組織スルヲ要ス

「ソヴィエト」聯邦内ニ於ケル社會主義ノ發達及其ノ國際的努力ノ増進ハ「ソヴィエト」聯邦ニ對シテ資本主義國家及其ノ社會民主主義者ノ憎惡ヲ惹起セルノミナラズ全世界ニ互ル労働大衆ノ間ニ「ソヴィエト」聯邦ニ對スル最大ノ同情ヲ喚起シ「ソヴィエト」聯邦ガ帝國主義ノ攻撃ヲ受ケタル

場合總テノ國ノ被抑壓階級ガ「ソヴィエト」聯邦防衛ノ爲メ戰鬥セントスルノ覺悟ヲ促スニ至レリ

斯ノ如クニシテ最近世界經濟ニ於ケル矛盾ノ増進、即資本主義經濟ノ一般的危機ノ増進ト「ソヴィエト」聯邦ニ對スル武力的攻撃ハ大規模ノ革命ヲ勃發セシメ其ノ結果ハ多數ノ所謂文明國ニ於ケル資本主義ヲ壓倒シ且植民地ニ於ケル革命ヲシテ勝利ヲ博セシメ以テ「プロレタリア」獨裁ノ基礎ヲ擴大シ吾人ヲシテ全世界ニ互ル社會主義ノ終局的勝利ニ著シク接近セシメザルヲ得ズ

第六、共產「インターナショナル」ノ戰略及戰術「プロレタリア」獨裁ヘノ途
 共產主義ハ労働運動ニ於テ革命的傾向ヲ博スルモノニシテ且又革命的「マルキシズム」、「レーニンニズム」ノ唯一ノ代表タルモノナリ故ニ共產主義ハ労働運動ニ於ケル他ノ總テノ主義ニ對シ反對ナリ

「アナーキズム」ノ著名ナル代表者（「クロボトキン」、「ジャン」、「グレーブ」、「コルネリツセン」其他）ハ一九一四年乃至一八年ノ戰爭中裏切リテ帝國主義「ブルジョア」階級ノ味方ニ走レルガ彼等ハ大衆ヲ統へ中央集權的ニシテ訓練アル「プロレタリア」團體ノ組織ノ必要ヲ否認シ以テ「プロレタリア」ヲシテ有力ナル資本團體ノ面前ニ無力ナラシムルモノナリ又「アナーキズム」ハ個々

ノ恐怖政策ヲ唱導スルコトニヨリ無産階級ヲシテ大衆組織及大衆闘争ノ手段ヨリ引離シ絶對的自
由ノためニ必要ナル「プロレタリア」ノ獨裁ヲ否認スルコトニヨリ「ブルジョア」階級、其軍隊及
其凡ユル抑壓機關ニ對スル最モ重要銳利ナル武器ヲ「プロレタリア」ヨリ奪ヒ去ルモノナリ
「アナキズム」ハ「プロレタリア」闘争ノ樞軸タル如何ナル大衆運動トモ相距ルコト遠ク且「ソ
ヴェト」聯邦勞働階級ノ獨裁ニ對スル敵意ヲ含ミ其戰術、其態度ヲ通シ反革命勢力ノ共同戰線ニ
事實參加シツツアル一分派タラントシツツアリ

革命「サンデカリズム」ノ「アルツロ、ラブリオラ」「ジューオー」等夥多ノ指導者ハ「ファシス
ト」型ノ所謂反議會主義反革命ノ圈内ニ逃避セリ彼等モ亦政治的闘争（特ニ對議會闘争）及「ブ
ロレタリア」ノ革命的獨裁ヲ否認シ且勞働ニ關シ一般的ニ又勞働組合ニ於テハ特ニ地方分權ヲ主
張シ「プロレタリア」ノ政黨ヲ否認シ及暴動ノ必要ヲ理解セズ總同盟罷工（「ザ、フォールド、ア
ムス、タクティックス」）ノ重要性ヲ主張セズ其結果彼等ガ何等カノ勢力ヲ有スル場合ニハ常ニ大
衆ノ革命運動ヲ妨害ス故ニ「プロレタリア」獨裁否認ニ基ク其對「ソヴェト」聯邦攻撃ハコノ點
ニ於テ同主義ヲシテ社會民主主義ト同一範疇ニ置クモノナリ

「建設的社會主義」（「マクドナル」及其一派）ハ不相變自由博愛、反革命ヲ主張シ「フェビアンズ

ム」（「ウエブ、バーナードショウ」其他）ノ「ブルジョア」的傳統ニ囚ハレ原則トシテ「プロレタ
リア」ノ獨裁及暴力手段ヲ一般ニ否認ス彼等ハ議會ニヨル政權獲得ヲ主張シ階級戰ヲ以テ野蠻ナ
ル計畫ナリト宣言ス、建設的社會主義ハ微温的ナル「プログラム」ヲ推稱ス即賠償ヲ支拂ヒテ國
有化ヲ行ヒ又ハ地價ニ對シテ課税シ相續税及特別所得附加税ヲ課シ此等ヲ以テ資本主義廢止ノ手
段トス「ソヴェト」聯邦ニ於ケル「プロレタリア」獨裁ニ對シテハ眞向ヨリ敵對シツツアリ從ツ
テ「ブルジョア」ト完全ニ同盟シ「プロレタリア」ノ共產主義運動及植民地革命ニハ積極的ニ反抗
シツツアリ所謂「ギルド」社會主義（「ペンティ、オラーシ、ホブソン、コール」）ハ貸銀制度
ヲ不道德ナル制度ナリトシテ之ガ廢止ヲ要求スルコトヲ以テ其出發點トス「ギルド」社會主義者
ノ大多數ハ革命ニ對スル有力ナル反對者ナリ勢力獲得ニ付最モ重要ナル本問題ヲ等閑ニ付シ乍ラ
「ギルド」社會主義者ノ大多數ハ勞働者ヲ聯盟「ギルド」ヲ根據トシテ結合シ且コノ組織體ヲ平和
手段ニヨリ「ブルジョア」國家ノ骨組内ニ於テ産業ノ支配運行ヲ掌ル組織體ニ變革セント努力シツ
ツアリ其計畫ニ於テハ「ブルジョア」國家ノ帝國主義的性質ヲ有スルニ拘ラズ彼等ハ各階級ヲ統べ
消費者ノ利益代表タル地位ヲ占メツツアリ。コレト同時ニ議會政治及直接行動ヲ否認スルコトニ
ヨリ「ギルド」社會主義者ハ勞働階級ヲ完全ニ不活動的ニシテ消極的タラシムス如クシテ彼

等ハ労働組合主義者、「ユートピア」信者、日和見主義者ノ一派ヲ代表セル連中ニシテ反革命的役割ヲ演ジ得ルニ過ギズ

英國ノ「フェビアン」ノ連中（「ウエブ」夫妻、「バーナードショウ」其他）ハ彼等ノ社會主義ヲ自由博愛主義ノ基礎ノ上ニ建設シツツアリ彼等ハ革命ニ對シテハ故意ニ敵對シ主義トシテ漸進主義ノ代辯者ナリ。此等總テノ傾向ハ「プロレタリア」革命ノ主タル敵ナル社會民主主義ト其政策上ノ根本問題「プロレタリア」獨裁問題ニ於テ一致ス、從ツテ此等總テハ多少ノ差コソアレ結局「ソヴィエト」攻撃ト云フ點ニ於テハ社會民主主義ト同一傾向ニ歸スルナリ。他方全ク誤レル「マルクス」主義ヲ捧ズル社會民主主義者ハ「フェビアン」會員、建設的社會主義者及「ギルド」社會主義者ノ理想論ニ益々頼ラントシツツアルナリ

此等ノ傾向ハ第二「インターナショナル」ノ「ブルジョア」社會主義ニ於テ公認サレ居ル自由主義的改良主義的理想論ニ變革サレントシツツアリ。植民地ノ労働運動ニ於テ共產主義者ハ植民地ニ特有ナル種々ノ思想傾向ノ影響ヲ受ケタリ、即右傾向ハ其發達ノ或階梯ニ於テハ頗ル有效ナル役割ヲ演ジタルモ最近保守的勢力ト化シ始メタリ

孫逸仙ハ小「ブルジョア」社會主義ノ理想家トシテ支那革命最初ノ舞臺ニ於テハ非常ナル積極的大

役割ヲ演ジタリサレド同國ニ階級差別ヲ生ジ且支那革命ハ更ニ發達シ階級戰ヲ曖昧模糊タラシメ社會主義ニ關シ「デモクラタイツク」又ハ超階級的ナル解釋ヲトリタル爲孫逸仙ハ革命ノ發達ヲ遲延セシムル保守的勢力ト化シタリ

印度ニ於ケル「ガンデー」主義類似ノ傾向ハ默從主義ヲ辯護シ階級戰ヲ否認シ革命發達ノ過程ニ於テ公々然タル反動的勢力ト化シツツアリ、此傾向ハ斷然共產主義ヲ以テ抗爭セザル可ラズ共產主義ハ上記各傾向トハ異ナリ殊ニ社會民主主義トハ別物ナリ即共產主義ハ「マルクス、エンゲルス」ノ主義ト全然一致シ「プロレタリア」獨裁獲得ノタメ理論上並實際上ノ闘爭ニ從事シツツアリ

共產「インターナショナル」ガ「プロレタリア」獨裁ヲ獲得センガタメノ争闘ニ於テ成功センガタメニハ各國ニ右闘爭ニ於テ鍛鍊ヲ經且大衆ト緊密ナル接觸ヲ有スル強固ナル訓練アル中央集權的ナル共產黨ノ存在スルコトヲ前提トス

右共產黨ハ労働階級ノ前衛ニシテ最良ナル最モ階級意識ノ明確ナル活動的ナル勇敢ナル労働階級所屬者ヨリ成立シ且全「プロレタリア」闘爭ノ經驗ノ結晶ナリ。「マルクス」ノ革命理論ヲ根據トシ労働階級ヲ全體トシテ其一般的且永續的利益ヲ代表シ共產黨ハ「プロレタリア」ノ主義主張

「プロレタリア」ノ意思及其革命的行動ノ一致ヲ人格化スルモノナリ。共產黨ハ革命黨ニシテ鐵ノ如キ紀律及「デモクラティック」ナル中央集權主義ニヨル嚴格ナル革命的制度ニヨリ結合セリ。斯ノ如キハ「プロレタリア」前衛ノ階級意識明ナルコト、其革命ニ對シ忠實ナルコト、「プロレタリア」大衆ト永久ノ接觸ヲ保チ且ツ正當ナル政治上ノ指導的地位ヲ維持スル能力アリタルコトニヨリテ捷チ得タル所ニシテ、既ニ大衆自身其試練及確證ノ經驗ヲ有ス

共產黨ハ「プロレタリア」獨裁建設ノ歷史的使命ヲ完フスル以前先ヅ第一ニ左記戰略上ノ目的ヲ專心實現セザル可ラズ

共產黨ハ婦人勞働者及幼年勞働者ヲモ包含シ同黨ニ屬スル階級所屬者ノ大多數ニ勢力ヲ扶植セザル可ラズ、勞働者一般ノ大衆ノ廣キ範圍ニ勢力ヲ及ボサザル可ラズ、(都市及地方ノ貧民、下層知識階級及所謂「スモールメン」即小「ブルジョア」階級)而シテ此手段ニヨリ共產黨指導ノ下ニ「プロレタリア」ノ政治的霸權ヲ確立セザル可ラズ

共產黨ハ社會民主主義及資本主義ノ最モ信賴シ得ル要塞タル黄色勞働組合ノ官僚主義ノ政治上ノ勢力ノ信用ニ値セザルコトヲ主張シ其内情ヲ暴露シ撲滅セザル可ラズ、共產黨ハ「プロレタリア」ノ各團體ノ大衆ニ勢力ヲ擴張セザル可ラズ、(勞働組合、協同組合、工場委員會其他)

最モ廣汎ニ互ル「プロレタリア」大衆ノ機關タル勞働組合ヲ占領セントノ見解ヲ以テ日毎ニ實行スベキ仕事ハ特ニ重要ナリ。コレガ爲メニハ反動的勞働組合ヲモ占領セントノ見解ヲ以テ努力セザル可ラズ、而シテ改良主義者ノ指導的地位ニ變化ヲ生ゼシメザル可ラズ、何トナレバ之亦準備時代ノ最モ重要ナル使命ノ一ナレバナリ

次ニ極貧農民ノ大衆階級ヲ味方ニシ中流ノ農民階級ヲ中立セシムルコトハ非常ナル意義ヲ有ス、決定的衝突ニ對シ階級力ヲ準備整頓スルニ當リ農民ノ大衆階級ヲ味方ニ得ンガタメノ「プロレタリア」、「ブルジョア」間ノ鬭爭ハ極端ニ重要ナル地位ヲ占ム、コレガ爲農民ノ間ニ活動スルコトハ共產黨ニトリ最モ顯著ナル(「プロレタリア」及半「プロレタリア」)階級並割當土地耕作者及小農ヲ味方トスルコト及彼等ヲ「プロレタリア」ノ政治上及精神上ノ霸權ニ服從セシムルコト而シテ此方法ニヨリ「プロレタリア」ヲ全人民ノ利益ノ擁護者ト化セシメ人民大衆ノ金融資本ノ壓迫ニ對スル鬭爭ニ於テ彼等ノ指導者タラシムルコトハ權力獲得ノ途上勝利ヲ得ントスル共產主義者ニトリ必要ナル前提要件ナリ

戰術上ノ方針ヲ決定スルニ當リ共產黨ハ具體的ナル對内對外ノ現狀各階級間ノ關係、資本主義ノ實力程度、「プロレタリア」ノ準備程度、中間階級ノ態度等ヲ考慮ニ入レザル可ラズ、共產黨ハ其

「スローガン」ヲ書上ゲ事情ニ從ヒテ活動スベク其手段ヲ決定ス、革命ノ進行状態ニ在ル中ハ共產黨ハ過渡的ナル「スローガン」ヲ提唱シ部分的要求ヲ具體的事情ヨリ生ズル要求トシテ主張セザル可ラズサレド共產黨ハ此等ノ要求及「スローガン」モ權力ヲ獲得シ「ブルジョア」ノ資本主義的社會ヲ破壊セントスル革命的目的ノタメニハ之ヲ犠牲ニセザル可ラズ、其日其日ノ必要及争闘ヨリ隔離シ且コレニ對スル共產黨ノ活動ヲ制限スルコトハ共ニ許ス可ラザル所トス。共產黨ノ使命ハコレヲノ必要ヨリ出發シ勞働階級ヲ指導シ權力獲得ノ革命戰ニ從事セシムルニ在リ

革命的潮流ノ横溢シツツアル時又支配的階級ノ組織紊亂セル時、大衆ハ革命的動亂状態ニ在リ中間階級ハ「プロレタリア」ノ側ニ傾キツツアリ而シテ大衆ハ活動ト犠牲的奉仕ニ對シ準備セル場合共產黨及「プロレタリア」ノ使命ハ大衆ヲ「ブルジョア」國家ニ對シ直接攻撃ヲナサシムベク指導スルコトナリコレハ過渡期ノ「スローガン」(「ソヴィエト」)又ハ勞働者ノ工場管理、地主ノ土地掠取ノタメ農民委員會ヲ組織スベシト「スローガン」ノ總テノ爲ニ宣傳ヲ行フコト及其他大衆運動ヲ組織スルコトニヨリ成功スベシ、コレガタメニハ總テ他ノ枝葉的ナル共產黨ノ活動、煽動、宣傳ハ議會ノ活動ヲモ含メ悉クコレニ從屬セシメサル可ラズ、即チ中ニハ罷業、示威運動ト結合セル罷業、武装示威運動ト罷業トノ結合セルモノ及「ブルジョア」ノ政治的權力ニ反抗スル武装暴

動ト結合セル一般罷業ヲモ包含ス、コノ争闘ハ軍隊式規律ニヨリテ律セラレザル可ラズ又戰爭計畫ニ從ヒ且軍隊ノ攻撃ト同様ノ形ニ於テ行ハレサル可ラズ。コレガ爲ニハ「プロレタリア」ノ獻身的ナル忠實ト勇敢トヲ必要トス、上記行動ニ先立チテ行フベキハ第一ニ大衆組織ヲ軍隊的トナスコトナリコノ軍隊的組織ハ勞働者ノ最大多數(勞働者委員會、農民代表、兵卒委員會)ヲ引キツケ且ツ活動セシムルモノニシテ第二ニハ陸軍及海軍内ノ綱紀ヲ肅正スルコトナリ

共產黨ハ「レーニン」ノ政治的戰術ノ根本原則ヲ遵奉セザル可ラズ換言スレバ大衆ヲ革命ニ導キ彼等ヲシテ共產黨ノ活動方針ノ誤ラザルヲ知悉セシメザル可ラズ

若シ前記根本原則ヲ遵守セザランカ共產黨ハ必然的ニ大衆ヨリ分離シ共產主義ハ墮シテ一片ノ學究的左翼主義ト化シ去ル可シ

革命運動ガ未ダ高調ニ達セザル間ハ共產黨ハ「プロレタリア」ノ日常生活ニ於ケル不滿ニ關スル部分的要求ヲ提唱シ共產「インターナショナル」ノ根本的任務ト相聯關セシメザル可ラズ。若シ「プロレタリア」ノ必要ニ應シテ部分的要求ヲナサザルニ於テハ共產主義ノ根本方針ト相背馳シ共產黨ハ全然大衆ヨリ孤立分離スルニ至ルベシ。革命ノ準備時代ニ於テハ共產黨ノ戰術中最モ重大ナルモノハ即チ統一戰線ヲ布クコトナリ

今部分的要求ヲ具體的ニ云ヘバ大略左ノ如シ

(1) 勞働問題

(イ) 經濟的紛糾問題

資本主義ノ攻撃ニ對スル抵抗、賃金、勞働日數、強制仲裁裁判失業ニ關スル要求

(ロ) 政治的紛糾問題

大工業間ノ相互爭鬭、罷業權、勞働組合ノ政治權利ニ關スル要求

(ハ) 純然タル政治問題

課税、生活費、「フアシスム」、革命的諸政黨ノ迫害、「ホワイト、テラー」ノ諸問題ニ關スル要求

(ニ) 世界政策問題

「ソヴェエト」聯邦ニ對スル態度、支那革命、國際的勞働組合運動ノ統一政策、帝國主義ニ對スル抵抗、戰爭ノ危險並帝國主義的戰爭ノ組織的準備ニ對スル抵抗ニ關スル要求

(2) 農村問題

租稅政策、農民ノ負債問題、搾取的資本ニ對スル爭鬭、貧農ニ對スル土地ノ分與、小作制度

ニ關スル要求

共產黨ハ先ツ以上ノ諸問題ニ對スル部分的要求ヨリ始メテ次第ニ其ノ要求ノ範圍並程度ヲ擴大シ最後ニ大農ノ土地沒收、更ニ進テハ勞働者農民ノ政府ヲ樹立スル迄ニ至ラザル可ラズ
 共產黨ハ此ノ目的ヲ以テ單ニ一般農民ニ對シテ活動スルノミナラズ農村青年及婦人ニ對シテモ亦活動スルコト必要ナリ。其ノ爲ニハ共產黨ハ上述ノ一般的要求ヲ提唱スルノミナラズ此等青年及婦人ノ特種ノ要求ヲモ亦併セテ主張スルコト必要ナリ

(3) 植民地並半植民地

植民地並半植民地ニ於テハ勞働階級ハ相當重大ナル役割ヲ演シ且「ブルジョア」ハ斷然反革命的態度ヲ表明セルヲ以テ共產黨ハ「プロレタリア」ノ霸權獲得、延テハ「プロレタリア」並農民ノ獨裁政治、更ニ進テハ勞働階級ノ獨裁政治ニ向テ驀進セザル可ラズ。斯カル地方ニ於テハ共產黨ハ全力ヲ集中シテ廣キ範圍ニ於ケル「プロレタリア」ヲ組織シ(勞働組合)、又革命的農民組合ヲ組織シ勞働階級ニ直接關係ヲ有スル要求ヲ提唱ス可シ。「プロレタリア」ハ根本的ニ「ブルジョア」階級ト敵對關係ニアリ、而シテ此ノ敵對關係ハ一時的妥協ニヨリテ消滅スルモノニ非サルヲ以テ「プロレタリア」ハ一個獨立ノ階級トシテ自由ヲ獲得スルヲ其ノ理

想トス。共產黨ハ「プロレタリア」ノ右理想ヲ宣傳普及セサル可ラス、共產黨ハ又大衆ニ向テ勞働者階級ノ覇權獲得ノ理想ヲ教示スルヲ要ス

「プロレタリア」ノ革命ト植民地ニ於ケル帝國主義反對運動トハ利害相一致スルヲ以テ共產「インターナショナル」ノ支部ハ左記方針ノ下ニ活動スルヲ要ス

帝國主義國ニ於ケル共產黨ハ植民地ニ於ケル自由獲得運動ヲ組織的ニ援助セサルヘカラス殊ニ被壓迫民族カ屬國のニ或ハ財政的ニ帝國主義的強國ニ隸屬シ居ル場合ハ前記援助ノ義務ハ一ニ右帝國主義國ノ勞働者ノ双肩ニ懸ル。(例ヘハ植民地ヨリノ撤兵、被壓迫國ノ解放ヲ軍隊間ニ宣傳スルコト、軍隊及軍需品ノ輸送拒絶、罷業其他ニヨル反抗等ヲ行フベシ。)植民地ハ本國ヨリ獨立スルノ權利アルコト、植民地ハ帝國主義ニ反抗スル爲武器ヲ採ルノ權利ヲ有スルコト又植民地ノ前記運動ヲ積極的ニ援助スル必要アルコトヲ極力宣傳スルヲ要ス

植民地並半植民地ニ於テハ共產黨ハ外國ノ帝國主義ニ對シ勇敢ニ闘ヒ且帝國主義國ニ於ケル無産階級ト提携スルノ必要アルヲ提唱セサルヘカラス。更ニ農民大衆ヲシテ地主壓制ノ轉覆ニ向テ蜂起セシメ農民革命ニ向ハシメ或ハ僧侶其他宗教家ノ舊弊ナル反動的勢力ヲ一掃スヘク指導セサルヘカラス同時ニ勞働者及農民ヲ糾合シテ獨立團體ヲ組織シ以テ彼等ヲシテ「ブルジョアジー」ノ影

響ヨリ離脱セシメサル可ラス

「ブルジョア」トノ一時的協調ハ右協調カ勞働者トノ革命的組織ヲ阻害セス且兩者ノ提携ニヨリテ帝國主義ニ眞ニ抗爭セントスル場合ニ於テノミ之ヲナスモ可ナリ

共產「インターナショナル」ハ所謂文明諸國ニ於テ無産階級獨裁ナル旗幟ノ下ニ帝國主義ニ對抗シテ革命ヲ形成シツツ植民地ノミナラズ形式上ハ獨立セル諸國(例ヘハ「ラテン」亞米利加)ニ於テ帝國主義ノ暴威ニ對抗スル各運動ヲ支持スルヲ要ス、又各種ノ排外主義及弱小民族ニ對スル帝國主義ノ凡ユル虐待(「ネグロ」、黄色勞働者等ニ對スル態度)ヲ極力排撃シ此等虐待サレツツアル諸民族カ「ブルジョア」ニ反抗シテナス階級闘争ヲ支援スルヲ要ス

共產「インターナショナル」ハ國內ニ小數民族ヲ有スル帝國主義諸國ニ於ケル排外主義ヲ克服セサニ可ラズ、此等ノ諸國ニ於テハ排外主義ハ「ブルジョア」並其ノ社會民主的の代表者タル第二「インターナショナル」ニ依リ盛ニ主張サレツツアリ

共產「インターナショナル」ハ帝國主義諸國ニ於ケル「ブルジョア」ノ行動ト諸民族間ニ親交關係ヲ樹立シタル「ソヴェエト」聯邦ノ行動トヲ比較對照スルヲ要ス

共產「インターナショナル」ハ帝國主義的戰爭ノ危險防止ヲ目的トスル組織的準備ニ特別ノ注意ヲ

拂ハサル可カラス

各國ノ共產黨ハ「ブルジョア」階級ノ帝國主義的計畫ヲ陰蔽スル社會的排外主義、社會的帝國主義並平和主義ノ弄言ヲ躊躇ナク暴露セサル可カラス、且又共產「インターナショナル」ノ主要ナル綱領實現ノ必要ヲ力説シ合法手段ハ勿論非合法手段ヲモ盡シテ以テ右綱領ノ實現ニ努メサル可ラス、而シテ共產「インターナショナル」ノ主要ナル綱領トハ即チ次ノ如シ(イ)帝國主義戰爭ヲ化シテ内亂トスルコト(ロ)國內ニ於ケル帝國主義的政府ノ倒壞(ハ)帝國主義的戰爭ノ起レル場合ニ凡ユル手段ヲ以テ「ソヴェト」聯邦及植民地ヲ防衛スルコト

此等綱領ヲ宣傳シ社會主義者ノ詭辯及國際聯盟ノ社會主義的陰蔽ヲ暴露シ並一九一四年戰爭ノ經驗ヲ絶エス想起セシムルコトハ共產「インターナショナル」ノ總テノ支部及其ノ黨員不斷ノ義務ナリ

革命事業及革命運動ヲ正規ニ指導スル爲メ國際的無産階級ハ何ヨリモ先ツ階級の規律ヲ維持スルニ努メサル可ラス、此ノ規律トハ地方的又ハ部分的利益ヲ犧牲ニシテ一般的又ハ全體的利益ニ從ヒ共產「インターナショナル」ノ指導機關ノ決定ヲ忠實ニ實行スルニアリ

「ブルジョア」ノ規律ヲ遵守スル第二「インターナショナル」ニ加入セル社會民主黨ト異リ共產「イ

ンターナショナル」支部ハ唯一ノ規律ヲ承認スルノミ、此ノ規律トハ即チ無産階級ノ規律ニシテ此ノ規律ニヨリテ世界ノ労働者ハ其ノ最終ノ目的タル無産階級ノ獨裁ヲ實現スルヲ得ルモノナリ

共產主義者ハ彼等ノ意見及企圖ヲ隱蔽スルヲ必要ト認メス、彼等ハ其決勝點ニ到達スル爲ニハ必然的ニ暴力ヲ以テ現在ノ社會組織ヲ破棄スルヲ要スルコトヲ公然宣言ス

支配階級ヲシテ共產主義革命ノ前ニ戰慄セシメヨ、無産階級ハ其ノ失フ可キモノトシテ其ノ羈絆以外ニ何物ヲモ有セス、無産階級ハ其ノ獲得ノ對象物トシテ全世界ヲ有ス

諸國ノ労働者ヨ團結セヨ(昭和三年六月六日附「インプレコール」)

第四章 共產「インターナショナル」ノ諸會議

第一節 會議年鑑

共產「インターナショナル」ハ露國共產黨執行委員會ノ主唱ニ依リ莫斯科ニ於テ其ノ第一回大會ヲ開催シ爾來一九二四年ニ至ル迄一九二三年ヲ除キ毎年大會ヲ召集シ第五回大會ニ及ヘリ而シテ同年後ハ毎年執行委員會ヲ中心トスル擴大執行委員會ヲ以テ大會ニ代エ從來ノ如ク毎年大會ヲ召集セザルコトトセリ、尙本年七月十七日ヨリ第六回大會ヲ開催スルニ至レリ

成立以來今日ニ至ル迄開催セラレタル共産「インターナショナル」大會及執行委員會總會ノ開期ヲ示セバ左ノ如シ

(一) 共産「インターナショナル」大會 (「コンGRES」)

開會年月日	閉會年月日	開催地
第一回大會 一九一九年三月二日	同年同月七日	莫斯科
第二回大會 一九二〇年七月十九日	同年八月六日	同右
第三回大會 一九二一年六月二十二日	同年七月十二日	同右
第四回大會 一九二二年十一月五日	同年十二月十二日	「ベトログラド」
第五回大會 一九二四年六月十七日	同年七月八日	莫斯科
(註)第六回大會 一九二八年七月十七日	—	同右

(二) 共産「インターナショナル」擴大執行委員會 (「プレヌム」)

開會年月日	閉會年月日	開催地
第一回擴大執行委員會 一九二二年二月二十四日	同年三月二十九日	莫斯科
第二回擴大執行委員會 一九二二年六月七日	同年同月十一日	同右

第三回擴大執行委員會 一九二三年六月十二日	同年同月二十三日	同右
第四回擴大執行委員會 一九二四年六月十二日	同年同月十四日	同右
第五回擴大執行委員會 一九二五年三月三十一日	同年同月六日	同右
第六回擴大執行委員會 一九二六年二月十七日	同年三月十五日	同右
第七回擴大執行委員會 一九二六年十一月二十二日	同年十二月十六日	同右
第八回擴大執行委員會 一九二七年三月十八日	同年同月三十日	同右
第九回擴大執行委員會 一九二八年二月九日	同年同月二十五日	同右

第二節 共産「インターナショナル」諸會議ノ業績

一、共産「インターナショナル」ハ其ノ第一回大會ニ於テ世界革命「プロレタリア」獨裁ノ旗幟ヲ闡明シ全世界ノ労働者「プロレタリア」ヲ其傘下ニ糾合スルノ企圖ニ發途セリ即リ同大會ハ設立期ナリト認ムルヲ得ベシ

次デ第二回大會ニ於テハ(イ)一面ニ於テ其内部的構成ヲ整ヘルト同時ニ(ロ)他面ニ於テ共産主義革命ノ爲メ直接戦闘ヲ爲スベキ時期ニ入レリ

(イ) 内部的構成ニ關シテハ一先ツ共産「インターナショナル」ノ規約ヲ議決シテ以テ構成ノ基礎

ヲ置ケリ

(ロ) 直接戦闘期ニ入レル共產「インターナショナル」ハ先ツ「プロレタリア」革命ニ於ケル共產黨ノ任務ニ關スル原則ヲ規定スルト同時ニ一面ニ於テハ中間派「オボチュニスト」ニ對シ他面ニ於テハ宗派的分派的ナル所謂極左派ニ對シテ戦闘スベキ宿命ニ向テ其ノ第一歩ヲ進メザルヲ得ザリキ共產「インターナショナル」ノ加入條件ニ對スル所謂二十一個條ハ同「インターナショナル」ガ其ノ大會ニ於テ中間派「オボチュニスト」ニ對シ築キタル城壁ナリ、又極左派ニ對スル戦闘ハ議會政治問題、勞働組合問題、英國同土ノ勞働黨加入問題ニ於テ具體化セリ前記諸問題ニ關スル同大會ノ決議ハ既ニ「レニン」主義ノ極左派ニ對スル勝利ヲ示セリ

第二回大會後ニ於テハ(イ)獨逸獨立社會黨ハ分裂シテ其ノ左翼派ガ「スバルタカス」トシテ團結シタル結果有力ナル共產黨組織セラルニ至レリ又(ロ)佛國ニ於テモ有力ナル共產黨起リハ「チエッコ、スロヴァキア」社會黨ハ共產黨ニ變リ(ニ)伊太利ニ於テハ莫斯科ノ大會ニ列席シタル同國社會黨員ガ同黨ヨリ分離シテ各々ニ於ケル共產黨著シク發達スルニ至レリ

第三回大會ニ於テ引續キ右翼及極左兩派ノ分子ヲ除外シテ内部的純化ノ過程ヲ追ヒ外ニ對シテハ「大衆ヘ」ノ標語及共同戦線ノ戰術ヲ定メテ勞働組合、産業組合、婦人團體、青年團體等

共產黨々外團體ニ喰ヒ込ミ其ノ地盤ヲ鞏固ナラシメントスル準備ヲ整ヘタリ

第四回大會ハ十月革命ノ第五周年記念日ニ開催セラレ所謂新經濟政策ニ對シテ理論的批判ヲ試ミ、同時ニ農民問題東方問題ヲ議セリ

第五回大會ニ於テハ共產「インターナショナル」ノ基礎漸ク堅ク再ビ「プログラム」案ニ關シテ議決シ又共產「インターナショナル」ノ規約ヲ修正シテ内部的構成ノ完成ニ努ムルト同時ニ外ニ對シテハ第三回大會ニ於テ定メラレタル共同戦線ノ原則ヲ更ニ具體化シ一方ニ於テハ各種ノ大衆團體ニ侵入スルノ歩ヲ進メルト共ニ他方ニ於テハ第二回大會ニ於テ定メラレタル民族問題ニ關スル方針ニ基キ各支部ニ對シ更ニ具體的訓令ヲ發スルニ至レリ、從テ第五回大會ノ重要問題勞働組合内ニ於ケル共產黨々外團體組織ノ問題ト民族問題ナリキ

其後昨年(一九二七年)ニ至リ露國共產黨内部ニ於テ幹部派及反幹部派ノ反目暴黨シテ反幹部ノ失途ト爲リ對外關係ニ於テハ英露ノ斷交ニ依リ其ノ國際的積極的活動ニ一頓挫ヲ來シ益々第三「インターナショナル」モ衰勢ニ傾ケルノ感アリシガ本年ニ至リ反幹部ヲ再ビ收容シテ茲ニ第六回大會ノ開催ヲ見ルニ至レリ

第三節 諸議會ノ組織及決議

第一款 第一回大會

一、開 會

共產「インタナショナル」第一回大會ハ一九一九年三月二日ヨリ同年同月六日ニ至ル期間「モスコウ」「クレムリン」宮殿ニ於テ開催セラルル最初ハ秘密會トシテ會合セルモ第三會合ヨリ後ハ之ヲ公開ノ會議トシテ議事ヲ遂行セリ

同會合併頭「レニン」先ツ開會ノ辭トシテ(一)露國ノミナラス資本主義ノ發達セル歐洲諸國殊ニ獨逸ニ於テモ「プロレタリア」ノ革命戰實現セラレ「ブルジョア」的「デモクラシー」ノ幻覺カ全ク打破セラレタル事(二)斯ノ如キ「プロレタリア」ノ革命運動ヲ促進セルハ帝國主義的戰爭ニシテ「ブルジョア」ハ今ヤ此種運動ノ發展ニ對シ非常ナル危懼ヲ懷キツツアル事(三)「プロレタリア」獨裁ノ實現ヲ可能ナラシムルカ如キ實際的形式ハ「ソヴィエト」制度ニシテ現今此ノ制度ハ露國ノ「ソヴィエト」政權、獨逸ノ「スバルタカス」團體及英國ノ「シヨップ、スチュアート」委員會等ニ依リ闡明セラレ且廣メラルルニ至レル事及(四)英國政府カ勞働代表委員會ヲ經濟機關トシテ承認スルノ意向ヲ示シタル事實ハ此ノ「ソヴィエト」制度カ資本主義ノ故國タル英國ニ於テサヘ勝利ヲ得タル證據ナル事ヲ述フ

二、日 程

- (1) 根本的構成
 - (2) 各國代表ノ報告
 - (3) 共產「インタナショナル」ノ方針、辨論通告者「アルバート」「ブハーリン」
 - (4) 「ブルジョア」的「デモクラシー」ト「プロレタリア」ノ獨裁、同右「レニン」「ラジヤ」
 - (5) 「ベルン」會議ト社會主義運動ニ對スル態度、同右「ブラッテン」「ジノビエフ」
 - (6) 國際事情ト聯合國ノ政策、同右「オポレンスキ」「ブラッテン」
 - (7) 宣言書、同右「トロツキー」
 - (8) 反共產運動、同右「シロラ」
 - (9) 選舉等
- 右ニ關シ「ラコフスキー」其他ノ代表ノ未到着及洪國三代表ノ逮捕ノ事實ヲ報告シ辨論通告者ノ表ハ確定的ニアラサル旨留保シ大會ニ於テ議決セリ

三、會議ノ性質ニ關スル論争

此ノ會議ノ性質ニ關シテ二個ノ意見アリ一ハ今回ノ會議自身ヲ以テ直ニ第三「インタナショナル」

ノ會議トスヘシトナスモノニシテ他ハ此ノ會議ヲ以テ單ニ共產黨ノ國際會議ニ止メ第三「インターナショナル」ノ構成ハ後日ノ會議ニ讓ルヲ以テ便宜トスルモノナリ

後説ハ主トシテ獨逸代表ノ主張スル處ニシテ其ノ理由トスル處ハ(一)招請ノ通知カ極メテ開會間際ニ發セラレタル爲メ第三「インターナショナル」ノ構成ニ關スル通知カ全團體ニ普及シ居ラサル事(二)技術的困難ノ爲各代表ノ「モスコウ」着不可能ナル事ナリ

「ブラッテン」及「ジノヴィエフ」ハ後説ヲ支持セルガ大會ハ前説ニ決シ茲ニ第三「インターナショナル」ハ成立スルニ至レリ

四、代表關係

國名及黨名	票	決	權	評	議	權	票
1 獨逸 共產黨	「アルベルト」						五
2 露國 共產黨	「レニン」、「トロツキー」、「ジノヴィエフ」、「スターリン」、「ブハーリン」、「チチエリン」					「オボレンスキ」、「ウオロウスキ」	五
3 獨逸 共產黨	「グルーベル」、「ファティン」						三
4 洪牙利 共產黨	「ルドニアンツキー」						三

5 瑞典左傾社會民主黨	「グリムルンド」						三
6 諾威社會民主黨	「スタンゲ」						三
7 瑞西社會民主黨	「ブラッテン」						三
8 米國社會勞動黨	「ラインスタイン」						三
9 爾幹革命黨	「ラコウスキー」						三
爾幹「フェデレーション」	「ウンシュリヒト」						三
10 波蘭 共產黨	「シロラ」、「マンナー」、「クシネン」、「ラジャ」、「ラジャ」						三
11 「フィンランド」共產黨	「スクリブニク」、「ポブナー」						三
12 「ウクライナ」共產黨	「グリス」						一
13 「ラトビア」共產黨	「グドリス」						一
14 「リトアニア」及白露共產黨	「ベエーグルマン」						一
15 「エストニア」共產黨	「アイクニ」						一
16 「アルメニア」共產黨							

- 17 獨領植民地共產黨 「クリンガー」
- 18 東露民族聯合團體 「ジャリモフ」「ビケンタエフ」「カルチネロフ」「カシモフ」「マンズロフ」
- 19 佛國「チンメルワールド」左翼 「ギルポー」
- 20 「チエッコ」共產主義團體 「ハンドリル」
- 21 「ブルガリア」共產主義團體 「ドジョロフ」
- 22 南「スラブ」共產團體 「ミルキッツ」
- 23 英國共產主義團體 「ファイベルグ」
- 24 佛國共產主義團體 「サドール」
- 25 和蘭社會民主黨 「ルートゲル」
- 26 「アメリカ、リガ」 「カシャー」
- 27 瑞西共產主義者 「ジャリモフ」
- 28 「トルキスタン」
- 29 「トルコ」

- 30 「ゲオルグ」
 - 31 「アーゼルバイジャン」
 - 32 「ベシヤ」
 - 33 支那社會主義勞動黨
 - 34 朝鮮社會主義勞動黨
 - 35 「チンマーワールド」委員會
- 「スブヒ」
「シユゲンチ」
「バジロフ」
「フッセイノフ」
「ラオシイウ」
「ドジャウ」
「シヤングンク」
- 「バラバノフ」
- 十八名 計四五名

五、決議事項

- (1) 共產「インタナショナル」ノ宣言書
- (2) 共產「インタナショナル」ノ方針
- (3) 「ブルジョア」的「デモクラシー」ト「プロレタリア」獨裁ニ關スル指針條項
- (4) 社會主義運動及「ベルン」會議ニ對スル態度ニ關スル決議
- (5) 世界ノ形勢ト聯合國ノ政策ニ關スル指針條項
- (6) 反共產運動ニ關スル決議

- (7) 社會主義ノ爲メノ戰闘ニ勞働者ヲ結合スルノ必要ニ關スル決議文
- (8) 第三「インタナショナル」構成ニ關スル提議
- (9) 共產「インタナショナル」ノ構成ニ關スル決議文
- (10) 組織問題ニ關スル決議文
- (11) 「チンメルワールド」聯合ニ關スル決議文

六、第一回大會及同大會ヨリ第二回大會ニ至ル執行委員會ニ於テ

採擇セル檄文

- (一) 一般問題ニ關スルモノ
 - (1) 一九一九年五月一日ノ檄文
 - (2) 「ベルサイユ」平和條約反對檄文
 - (3) 「ブルジョア」階級ノ對共產「インタナショナル」戰闘ニ開スル檄文
 - (4) 全世界ノ「プロレタリア」青年團體ニ對スル檄文
 - (5) 「ソヴィエト」共和國ニ對スル戰闘ニ關シ全世界勞働者ニ檄スル檄文
 - (6) 黄色「インタナショナル」ノ「ポイコット」ニ關スル檄文

- (7) 一九一九年七月二十一日ノ國際的罷業ニ開シ聯合國勞働者ニ檄スル檄文
- (8) 議會政治及「ソヴィエト」建設ノ爲メノ戰闘ニ關スル檄文
- (9) 各國婦人勞働者ニ對スル檄文
- (10) 運輸勞働者ノ國際會議ニ對スル檄文
- (11) 各國勞働組合ニ對スル檄文
- (12) 一九二〇年五月祭ノ檄文
- (13) 共產「インタナショナル」第二回大會ノ召集ニ關スル檄文
- (14) 青年共產「インタナショナル」ニ關スル檄文

(二) 米 國

- (1) 全世界ノ工業勞働者聯合ニ對スル公文
- (2) 米國共產黨及共產勞働黨ノ中央委員會ニ對スル檄文

(三) 巴 爾 幹

- (1) 巴爾幹及「ダニューブ」諸國ノ「プロレタリア」ニ對スル檄文
- (2) 波斯、「アルメニア」及土耳其ノ被抑壓民族ニ對スル檄文

(四) 獨逸

- (1) 巴威共產主義者ニ對スル檄文
- (2) 獨逸社會民主黨内閣ノ最近ノ暴虐ニ關スル檄文
- (3) 「ロザルタセンブルグ」ノ死ニ際シテノ檄文
- (4) 「カールリイブタネヒト」及「ロザルタセンブルグ」慘殺一年祭ニ際シ發セラレタル檄文
- (5) 獨逸ノ全労働者ニ對スル檄文(第三「インターナショナル」ニ關スル獨立社會黨「ライブチヒ」會議ノ決議ニ基キ)
- (6) 獨逸ニ於ケル革命戰ニ關シ獨逸労働者及全世界ノ労働者ニ對スル檄文
- (7) 獨立社會黨幹部ニ對スル檄文
- (8) 獨逸共產労働黨ノ黨員ヘノ公文
- (9) 獨逸獨立社會黨ノ凡テノ地方團體ニ對スル檄文

(五) 英國

- (1) 英國獨立労働黨ニ對スル檄文

(六) 「フィンランド」

- (1) 「フィンランド」共產黨ノ會議ニ宛テタル公文

(七) 佛國

- (1) 「ジョウレ」死亡五年祭ニ際シ發セラレタル檄文
- (2) 「ナドール」ノ死刑宣告ニ際シ佛國労働者ニ檄スル檄文
- (3) 「ストラスブルグ」ニ於ケル佛國社會主義者大會ニ對スル檄文

(八) 伊國

- (1) 「ボロニヤ」ニ於ケル伊國社會主義者大會ニ對スル檄文
- (2) 波蘭問題ニ對シ全世界労働者ニ檄スル檄文
- (3) 「ポーランド」ノ攻撃ニ關シ全世界ノ労働者ニ對スル檄文

(九) 露國

- (1) 對露干涉ニ關シ聯合國労働者ニ對スル檄文
- (2) 十月革命二年祭ニ際シ全世界「プロレタリア」ニ對スル檄文
- (3) 第三回全露労働組合會議ニ對スル檄文

(十) 「スカンヂナビア」

- (1) 瑞典同士ノ大會ニ對スル檄文
- (2) 共產主義者及在傾社會主義者ノ「スカンデビア」大會ニ對スル挨拶文
- (3) 「スカンデナビア」労働者、諾威労働黨ニ對スル檄文
- (4) 瑞典労働者ノ「ロクアクト」ニ關シ全世界労働者ニ檄スル檄文
- (5) 諾威社會黨大會ニ對スル檄文

(十) 「ウクライナ」

- (1) 「ウクライナ」ノ労働者及農民ニ對スル檄文
- (2) 「ウクライナ」黨ニ關スル共產「インターナショナル」ノ態度ニ關スル檄文
- (3) 「ウクライナ」ノ第四回「ソヴェエト」大會ニ關シ全世界ノ勤勞大衆ニ對スル檄文

(十一) 洪 牙 利

- (1) 洪牙利革命ニ關シ世界労働者及兵士ニ對スル檄文
- (2) 洪牙利共產主義者大會ニ對スル公文
- (3) 對洪牙利干涉ニ關スル檄文
- (4) 洪牙利社會黨ノ大會ニ對スル挨拶

- (5) 洪牙利委員會制度ノ破壊ニ關シ全世界「プロレタリア」ニ對スル檄文
- (6) 洪牙利労働者ニ對スル虐殺ニ關シ全世界労働者ニ對スル檄文
- (7) 洪牙利ニ於ケル白色恐怖ニ關スル全世界「プロレタリア」ニ對スル檄文

第二款 第二回大會

一、召 集 狀

共產「インターナショナル」執行委員會長「ジノヴィエフ」及同委員會書記「ラデック」ノ名ニ於テ發セラレタル共產「インターナショナル」第二回世界大會ノ召集狀ニ於テハ左ノ點ヲ規定セリ

(一) 開會期日及開會地

開會期日ハ一九二〇年七月十五日、開會地ハ莫斯科トス

(二) 日 程 案

執行委員日程案ヲ提議セルガ右日程案ハ其ノ儘大會ニ於テ採擇セラレタリ (別項參照)

(三) 參 加 資 格

(1) 表決權ヲ有スルモノ

總テノ共產黨、共產主義團體及共產主義的労働組合ニシテ(イ)公然共產「インターナショナル」

ル」ニ加入シ居リ且(ロ)同執行委員會ノ承認ヲ得タルモノ

(2) 評議權ヲ有スルモノ

共產「インターナショナル」ノ基礎ニ立脚スルモ、公然共產「インターナショナル」ニ加入セ
ル共產黨トハ反對ノ立場ニ在ル團體ハ會議ノ評議ニ參加スルコトヲ得

尙革命的「サンヂカリスト」ノ團體ノI、W、W團體及共產「インターナショナル」ト關係ヲ
有スル他ノ團體ハ會議ニ參加スルコトヲ得

(3) 他ノ團體ニ依リ代表セラルモノ

青年同盟ハ青年「インターナショナル」ノ執行委員會ノミナラス各國ノ共產主義團體ニ依リ
テ代表セラルヘシ

(四) 關係諸會議召集ノ計畫

(1) 共產主義婦人ノ國際的會議

(2) 共產青年同盟ノ國際會議

(3) 赤色勞働組合ノ第一回國際會議

右三會議ノ召集ヲ計畫中ナル事ヲ發表セリ

(五) 代表者

各共產黨及其他ノ團體ハ出來得ル限り多數ノ代表者ヲ同會議ニ派遣スヘシ但シ同會議席上ニ
於テ表決權ヲ有スル代表者ノ數ト單ナル代表者ノ數トハ勿論別箇ノモノナリ

同世界會議ニ代表ヲ派遣セル總テノ共產黨ハ絶對ニ其ノ代表ノ内一名ヲ共產「インターナシ
ョナル」ノ執行委員會ノ常任代表者トシテ指名スヘシ右ノ者ハ長期ニ亘リ「モスコウ」ニ滞留ス
ルヲ得ヘシ

(六) 第二回會議ノ任務

第一回世界會議ハ共產主義ノ旗幟ヲ確立セルガ今ヤ其ノ旗幟ノ下ニハ幾百萬ノ階級意識ノ強
固ナル勞働者在リ從テ今回ノ會議ハ最早共產主義的思潮ノ宣傳ニノミ止ラス

共產「インターナショナル」ハ(イ)共產主義ヲ奉ズル「プロレタリア」ヲ組織シ且ツ(ロ)共產主義
革命ノ爲メ直接戰闘スヘキ時期ニ入レリ

二、開 催

共產「インターナショナル」第二回大會ハ前掲執行委員會ノ提議ニ基キ一九二〇年七月十五日ヨリ
同年八月七日ニ至ル間「モスコウ」ニ於テ開催セラレタリ

- (1) 共産「インターナショナル」執行委員會報告
- (2) 各國代表ノ報告
- (3) 現今世界ノ形勢ト共産「インターナショナル」ノ任務
- (4) 議會政治ニ對スル共産「インターナショナル」ノ態度
- (5) 労働組合及職業委員會
- (6) 「プロレタリア」ニ依ル政權獲得ノ前後及同期間中ニ於ケル共産黨ノ役割及構成
- (7) 民族運動問題及植民地問題
- (8) 農業問題
- (9) 中間派ニ對スル共産「インターナショナル」ノ態度
- (10) 共産「インターナショナル」ノ規約
- (11) 組織問題（合法及不法ノ團體、婦人團體）
- (12) 青年共産運動
- (13) 選舉

(14) 雜

四、諸機關ノ構成

(一) 幹部會（選舉ノ結果左ノ如シ）

- 露國側 「レーニン」、「ジノヴィエフ」
- 獨逸側 「レビイ」
- 佛國側 「ロスマール」
- 伊國側 「セラッチ」

(二) 委員會

(1) 委員會組織ノ原則

- (1) 各委員會ハ七名内至十一名ノ同士ヨリ成ル
- (2) 各國團體ハ各委員會ヘ各一名ノ代表ヲ派遣スヘキ權利ヲ有ス
- (3) 事務局ハ各委員會ノ委員ヲ終局ニ決定ス
- (4) 各委員會ハ報告者ヲ選舉ス
- (5) 委員會日程ニ上セラレタル各問題ヲ審議シ之ニ關スル提案ヲ爲ス

(ロ) 委員會ノ分科

- (1) 議會政治委員會
- (2) 勞働組合委員會
- (3) 民族問題植民地問題委員會
- (4) 農業問題委員會
- (5) 共產「インターナショナル」加入ノ條件ニ關スル委員會
- (6) 構成法、組織問題(但シ青年團體、婦人團體ニ關シテハ二個ノ附屬委員會ヲ組織ス)ニ關スル委員會
- (7) 世界ノ現状ト共產「インターナショナル」ノ任務ニ關スル委員會

(ハ) 委員會人名表ニ付キテハ附録參照

(ニ) 特別委員

「マクレーン」ヨリ英國ニ於ケル勞働黨ヲ研究スル爲メ特別ノ委員會ヲ設置スヘキ旨ノ提議アリ大會ニ於テ可決セリ

五、議事規則

- (一) 大會ハ午前十一時ヨリ午後三時迄又午後六時ヨリ午後九時迄之ヲ開會ス
 - (二) 辯論通告者ハ一時間ノ報告時間及外ニ結論ノ爲メ三十分ノ辯論時間ヲ有ス
 - (三) 共同辯論通告者ハ同一ノ辯論時間ヲ有ス
 - (四) 議事進行ノ爲メニ一回限リ二分ヲ限度トシテ發言スルヲ得
 - (五) 各代表ハ各問題ニ付キ二回發言ヲ爲スヲ得(最初ハ十分、二度目ハ五分)
 - (六) 發言ノ通告ハ文書ヲ以テセザルベカラズ
 - (七) 票決ハ票決權ヲ有スル代表之ヲ爲ス
 - (八) 各提案(議事進行ノ爲メニスルモノモ)ハ書記局ニ文書ヲ以テ提出スベシ
- 提案者ハ右手續ヲ完了シタル後第一ニ發言ヲ爲スノ權ヲ有ス

六、資格審査

資格審査委員會ニ於テハ(一)各國間ニ於ケル代表權分配ニ關スル一般的問題及ビ(二)東部「ガリシヤ」ノ代表資格問題(三)瑞西代表「ブルグスドルフ」ノ代表資格問題(四)「ウクライナ」共產團體代表資格問題(五)英米兩國ニ於ケル代表權分配ノ問題ヲ討議シ大會ニ提案スル處アリタリ

(一) 代表權分配問題

右ニ關シ資格審査委員會ハ大體ニ於テ執行委員會ノ提案ヲ採用セルガ左ノ二點ヲ修正セリ
(イ) 和蘭ノ票數ニ付キ七票ヨリ之ヲ四票ニ改ム、理由トスル處ハ和蘭ノ共產黨ハ未ダ勢力大ナ
ラズシテ「インターナショナル」ニ於テモ第二流國ト認ムベキモノナリト云フニアリ(ロ)「バ
スチナ」ノ代表權ヲ認ムル事ニ對シ抗議ヲ受理セリ

其ノ結果代表權分配ハ次ノ如シ

(1) 十票ヲ有スルモノ

獨逸、佛蘭西、英吉利、露西亞、亞米利加、伊太利

(2) 七票ヲ有スルモノ

埃太利

(3) 四票ヲ有スルモノ

和蘭、墨國、波斯、印度、瑞西、土耳其、勃牙利、場合ニ依リ「アイルランド」「エスト

ニア」朝鮮

(4) 二票ヲ有スルモノ

「リトアニア」

(二) 東部「ガリシア」代表權問題

委員會ハ獨立ノ一國トシテ二票ヲ有セシメタリ

(三) 瑞西代表「ブルグスドルフ」ノ代表資格問題

同人ハ最近迄「ブルジョア」的新聞ノ編輯者タリシガ爲メ委員會ニ於テ同人ノ代表資格ニ關シ
問題ヲ生ゼリ
併シ同人ガ前記「ブルジョア」的新聞ノ編輯ニ從事セシハ久シキ以前ノ事ニシテ爾後社會主義
者トナリ同紙ノ編輯ヲ放棄セシ事實判明シ問題解決セリ

(四) 「ウクライナ」共產主義團體ノ代表資格問題

「ウクライナ」ニ於テハ大組織タル共產黨ト相併ンデ共產主義ヲ奉ズル小團體アリ委員會ニ於
テ後者ノ代表者資格問題トナリタルガ委員會ハ右團體ガ(イ)百名乃至五百名黨員ヲ有スル小團
體タルコト從テ(ロ)共產主義ノ具體的活動ト何等關係ナキヲ事ヲ理由トシテ其ノ代表資格ヲ否
定セリ

(五) 英米兩國ニ於ケル代表權分配問題

(イ) 米國ニ於ケル共產黨及統一共產黨間ニ於ケル代表權分配問題

從來米國ニ於テハ共產黨及共產勞動黨併立セルガ第二回大會開會中共産黨ヨリ三萬人共產勞動黨ヨリ二萬人ノ黨員ヲ結合シテ統一共產黨ヲ成立セリ尙右合併ニ際シテ兩黨ノ一部ハ右合併ニ參加セザリキ茲ニ於テ代表權分配ノ問題ヲ生ジ統一共產黨(代表ハ「フリン」)ハ米國代表權ノ全部ヲ要求シ共產黨殘留分子(代表ハ「フレーナ」)ハ米國ノ代表權ノ一部ヲ留保セントス

委員會ニ於テハ只統一共產黨側ノ報告アリタルノミニシテ斯ノ如キ不完全ナル報告ニ基キ共產主義團體ヲシテ共產「インターナショナル」ヨリ失格セシムルコトヲ得ズトシテ共產黨ノ代表資格(「フレーナ」及「ストックリツキー」)ヲ認メ且ツ共產黨及統一共產黨間ノ代表數分配ニ關シテハ共產黨側代表「フレーナ」ハ共產黨ノ多數ヲ統一共產黨ニ加入セル事實ヲ否定セザルガ故ニ其ノ比例ヲ統一共產黨六票共產黨ト定ムベキ事ヲ決定セリ

右委員會ノ決定ニ對シテハ統一共產黨側代表「フリン」ヨリ抗議アリ既ニ兩黨合併アリタル以上共產黨「インターナショナル」ガ共產黨ノ殘留分子ノ代表資格ヲ承認スルハ結局分裂ヲ許容スルモノナルベキ事ヲ理由トセリ

之ニ對シテ共產黨側代表「フレーナ」ハ右合併ノ事實ニ關シ未ダ公報ナキヲ以テ共產黨ガ

其ノ代表ヲ召喚スルコトヲ決議シ又ハ執行委員會ガ事實調査ノ後共產黨ガ「インターナショナル」ヨリ脱退スベキ事ヲ決議スルニ至ル迄代表トシテ留ルコトヲ主張セリ
投票ノ結果九票對十九票ヲ以テ資格審査委員會ノ提案可決セラレタリ

(ロ) 英國ニ於ケル代表權分配問題

英國ニ於テハ社會黨ト「シヨツブスチユアート」ノ併立セルアリ右兩者間ノ代表權分配及其比例ニ關シテハ大會ニ於テ決定スベキモノトセリ

七、第二回大會ニ於ケル思想的對立

共產「インターナショナル」ハ第二回大會ニ於テ一面ニ於テハ共產「インターナショナル」内ノ所謂左翼派ト又他面ニ於テハ「オボチニスト」ニ對シテ抗爭セザルヲ得ザリキ
所謂左翼分子ハ分派の宗派のニシテ革命ノ具體的條件ニ關シ意見ヲ異ニスルモノニシテ右ニ對スル論争ノ原因トナリタル具體的問題ハ三個ニシテ(一)ハ英國同士の勞動黨加入ノ問題(二)ハ勞動組合ニ對スル問題(三)ハ議會政治ニ關スル問題ナリキ

(1) 英國同士の勞動黨加入問題

英國同士の英國勞動黨加入ノ問題ニ關シテハ第二回大會ニ於テ二日ニ互リ論議セラレタルガ

英國代表ノ殆ンド總テハ之ニ反對シ右加入ヲ以テ日和見主義的見解ニ基クモノナリトセリ米國代表中「リード」一派ハ彼等ヲ支持セリ

英國ニ於テハ大衆運動ノ發達ハ極メテ顯著ナルモ共產主義的感化ハ極メテ緩漫ナル特別事情アルヲ以テ共產「インターナショナル」及共產黨ハ同國ニ於テハ多數ノ「プロレタリア」ヲ包含スル各種ノ大衆組織ニ加入シ以テ内部ヨリ共產主義分子ヲ統一シ細胞ヲ作り右大衆組織ヲ以テ共產主義ノ勢力下ニ置カザルベカラザル旨決定セリ

(2) 勞働組合運動

右問題ニ關シテモ勞働黨加入問題ニ於ケルト同様ノ見解ヲ持シ共產「インターナショナル」第二回大會ハ共產主義分子ハ勞働組合内ニ於テ結合シ内部ヨリ勞働組合ノ官僚主義ニ反對シ改良社會主義的政策ニ對シ抗爭セザルベカラザルコトヲ決定セリ

(3) 議會政治問題

革命的議會政策ニ對シテ第二回會議ニ於テ伊太利代表「ボルヂガエ」ノ一派之ニ反對シ瑞西及白耳義ノ代表ノ一部之ヲ支持セルガ共產「インターナショナル」第二回大會ハ共產「インターナショナル」ハ右革命的議會政策ヲ放棄スルベカラザルコトヲ決議セリ

「オボチユニスト」ニ對スル抗爭即チ中間派及半中間派の分子ニ對スル戰闘ハ所謂二十一箇條ニ於テ表現セラレタリ

當時英米ニ於テハ共產「インターナショナル」ノ加入ノ氣運一般ニ旺シテ中間派ノ共產「インターナショナル」ヘ加入セント欲スルモノ多ク又米國カラハ獨逸ノ「シャイデマン」一派ト同様ノ見地ニ立ツ「ヒルキット」派ノ代表又伊國カラハ「ドイツトマン」「クリスピエン」「ダラゴナ」等中間派又ハ改良派代表ノ加入ヲ求メ來タレリ

八、決議事項

- (1) 共產「インターナショナル」ノ宣言
- (2) 「プロレタリア」革命ニ於ケル共產黨ノ任務ニ關スル指針條項
- (3) 民族運動及植民地問題ニ關スル指針條項
- (4) 議會政治問題ニ關スル指針條項
- (5) 農業問題ニ關スル指針條項
- (6) 共產「インターナショナル」ノ構成ニ關スル法規（規約）
- (7) 勞兵委員會組織ニ關スル指針條項

- (8) 労働組合運動ニ關スル指針條項
 (9) 共産「インターナショナル」加入資格條件ニ關スル指針條項

九、執行委員會

(一) 執行委員會ノ構成

- (イ) 第二回大會ニ於テ採決セラレタル共産「インターナショナル」ノ規約ニ依レバ執行委員ノ數ハ十名ニ限ラレ居ル處「ジノヴィエフ」ハ露國共産黨ノ名ニ於テ執行委員ノ數ニ關シテ右規約ノ修正ヲ抗議セリ

其ノ要旨ハ原案ニ於テ「十名」トアルヲ「十名乃至三十名」ト修正セントスルモノニシテ其ノ理由トスル處ハ若シ十名ニ限ルトキハ重要ナル共産黨ニシテ執行委員會ヨリ除外セラルルモノヲ生ズベシト云フニ在リ右修正案ハ全會一致採決セリ

茲ニ於テ執行委員ノ數ハ決定セルヲ以テ次デ其ノ何人タルヤ決定スベキ必要アリ

- (ロ) 「ジノヴィエフ」ハ次回大會ニ至ル期間ノ執行委員ノ名簿ヲ作成シ第二回大會ニ之ヲ提出セルガ右ニ對シテハ和蘭代表「ウイーンコープ」及「ジャバ」代表「マリング」ヨリ修正ノ提議アリ又「チニコ、スラヴァキア」代表「ワネク」ハ補追選舉ニ關シテ提議セリ

「ジノヴィエフ」提出ノ名簿ニ依レバ和蘭ハ執行委員ヲ有セザリシヲ以テ「ウイーンコープ」ハ右ニ對シテ激シク抗議シ「ラデツク」「ジノビエフ」共ニ和蘭ノ除外ハ政治的意議ヲ有スルニアラズシテ單ニ和蘭共産黨ガ黨トシテ勢力僅少ナルノ事實ニ基クモノナルコトヲ説明シ原案維持ニ努メタルガ「ウイーンコープ」ノ修正案ハ大會ニ於テ採用セラレタリ

原案ハ又東方諸國ニ對シテ一名ノ執行委員ヲ選出スベキ權ヲ與ヘタルガ右ニ對シ「マリング」ハ極東及近東ハ大ニ其ノ事情ヲ異ニシ從テ一名ノ執行委員ヲ以テ極東及近東ノ雙方ヲ適當ニ代表シ得ベキ事ハ不可能ナルコトヲ理由トシテ東方民族ノ爲メ二名ノ執行委員ヲ要求セリ右修正モ亦大會ニ於テ可決セラレタリ

「チエツコスロバキア」代表「ワネク」ハ執行委員會ノ補追選舉ヲ提案セルガ右ハ其ノ勢力及人數ニ於テ極メテ有力ニシテ社會革命ニ對シ大ナル意義ヲ有シ從テ執行委員會ニ於テ代表セラレザルベカラザル程度ニ達セル共産黨ヲシテ執行委員會ニ委員ヲ送クル事ヲ得シメントスルモノナリ、換言スレバ右執行委員會ヲシテ自ら補充シ得ルノ彈力性ヲ有セシメントスルモノナリ、右提案モ亦同様大會ニ於テ採決セラレタリ

(二) 執行委員會ノ選舉

執行委員ノ名稱表ハ左ノ如シ

- | | | |
|------|-----------------|-----------|
| (1) | 「マイヤー」(「レビイ」) | 獨逸 |
| (2) | 「ロスメール」 | 佛國 |
| (3) | 「セラチイ」 | 伊國 |
| (4) | 「ケルチ」 | 英 國 |
| (5) | 「リード」(「グルウイシュ」) | 米 國 |
| (6) | 「スタインハルト」 | 埃 國 |
| (7) | 「フリース」 | 瑞 典 |
| (8) | 「シャプリン」 | 勃 牙 利 |
| (9) | 「ミルキツチュ」 | 「ユーゴースラブ」 |
| (10) | 「ルドニアンスキー」 | 洪 牙 利 |
| (11) | 「バック」 | 極 東 |
| (12) | 「サルタンサーデ」 | 近 東 |
| (13) | 「ラデック」 | 波 蘭 |

- | | | |
|------|----------|-------------|
| (14) | 「ヤンソン」 | 和 蘭 |
| (15) | 「マリンド」 | 「ジャバ」 |
| (16) | 「スタツチュカ」 | 「ラトビア」 |
| (17) | 「チャカヤ」 | 「ガリシヤ」 |
| (18) | 「シャツキン」 | 土 耳 古 |
| (19) | 「マナー」 | 「フィンランド」 |
| (20) | 「グラ」 | 「チエツコスロバキア」 |
- (三) 次回大會ニ至ル迄ノ期間ニ於ケル執行委員會ノ所在地ニ關シテハ「ジノヴィエフ」ハ露國タルベキコトヲ提議シ大會ハ全會一致採決セリ

第三款 第三回大會

一、日 程

第三「インターナショナル」執行委員會ハ一九二二年六月一日第三會議ヲ開催スルコトヲ決定シ左ノ如キ日程案ヲ採用セリ

(一) 執行委員會報告

- (二) 世界經濟ノ危機及共產「インターナショナル」ノ新任務
- (三) 革命中ニ於ケル共產「インターナショナル」ノ戰術
- (四) 過渡期
- (五) 「アムステルダム」黃色「インターナショナル」ニ對スル爭鬭
- (六) 赤色勞働組合及共產「インターナショナル」ノ國際委員會議
- (七) 共產黨ノ組織的建設並ニ其ノ活動ノ方法及内容
- (八) 共產「インターナショナル」ノ組織的建設及其ノ加入黨派ニ對スル關係
- (九) 極東問題
- (十) 伊太利社會黨ト共產「インターナショナル」
- (十一) 獨逸共產黨ト共產「インターナショナル」
- (十二) 婦人運動
- (十三) 青年共產運動
- (十四) 共產「インターナショナル」執行委員ノ選舉
- (十五) 雜

右日程ニ關シ佛國「サンヂカリスト」代表「トマシイ」ハ第一次會合席上(一)勞働組合ノ問題ガ佛國「サンヂカリスト」ニ對シ重大ナル意義ヲ有スルコト及(二)佛國代表ハ遅クモ七月十日迄ニ歸國「リユ」ノ會議ニ列席セサルヘカラサル事ヲ理由トシテ日程ヲ變更シ勞働組合ト共產主義ノ關係ヲ第一ニ論究セン事ヲ主張セリ「ジノビエフ」議長ハ佛國代表ノ要求ヲ正當ト認メ盡力スヘキ事ヲ言明シ之ヲ議場ニ諮リ即決セリ

二、諸機關

(一) 執行委員會

委員長 「ジノヴィエフ」

委員

- 露國側 「レニン」、「トロツキー」、「ブハーリン」、「ラデック」
- 佛國側 「ロスマール」
- 英國側 「ケルチ」、「ベル」
- 埃國側 「スタインハルト」
- 洪國側 「ベラクン」、「ルドニアンツキー」、「バルガ」

波蘭側

「ワレツキ」

勃國側

「ディミトロフ」、「ボボフ」、「シャプリン」

米國側

「ヘイウッド」、「クロスビー」

「フィンランド」側

「ターシネン」、「マンナー」、「ラジャ」

和蘭側

「ヤンセン」

諾威側

「フリース」

瑞西側

「イチユナー」

「ゲオルギー」側

「チャカジャ」

「レットランド」側

「シュツカ」

波斯側

「サルタンサーテ」

國際青年同盟側

「シヤッキン」

計

二十八名

(二) 執行委員會幹部會

(A) 會長

「ジノヴィエフ」

(B) 理事

「コラロフ」(勃國)

「ゼンナリ」(伊國)

「ロリロ」(佛國)

「ケーネン」(獨國)

(C) 名譽會長

「レニン」、「トロツキー」、「ムナ」、「インクビン」、「ブランドラー」

(三) 書記局

十五ヶ團體カ各々一名ノ書記ヲ選出スヘキ旨ノ執行委員會ノ決議ニ基キ第二次會合ハ同委員會ノ提出ニ繋ル名簿ヲ可決セリ

「スミス」(英) 「カモッキ」(波蘭) 「シロラ」(「フィンランド」) 「ミルキー」(「ユーゴスラブ」) 「ハントリール」(「チエッコスロバキア」) 「コリチヨナー」(「埃」) 「バジュール」(「洪牙利」) 「マヌイ」 「ルスキー」(「ウクライナ」) 「マーシャル」(「米」) 「シュツカ」(「レットランド」) 「フリース」(「スカンデナビヤ」) 「スムヤッキ」(「極東」) 「サルタンサーデ」(「近東」) 「ニコラエヴァ」(「婦人」) 「ミンツベルグ」(「青年」)

三、決議

(1) 執行委員會報告ニ對スル決議

(2) 露國共產黨ノ戰術ニ關スル決議

- (3) 共産「インターナショナル」ト共産青年運動ニ關スル決議
- (4) 共産主義婦人ノ國際的結合及ヒ國際共産黨婦人書記局ニ關スル決議
- (5) 婦人運動内ニ於ケル共産黨ノ活動ノ形式及方法ニ關スル決議
- (6) 産業組合内ニ於ケル共産黨ノ活動ニ關スル「ラーズ」

第四款 第四回大會

一、開 會

第四回大會ハ一九二二年十一月五日ヨリ「ペトログラード」ノ人民「クラブ」ニ於テ開催セラレ「クララツエーキン」開會ヲ宣ス

二、日 程

- (1) 執行委員會報告
- (2) 新經濟政策 辯論者 「レニン」
- (3) 資本ノ攻勢 同右 「ラデック」
- (4) 「プログラム」問題 辯論者 「ブハリーン」、「タールハイマー」
- (5) 労働組合ニ於ケル共産黨ノ任務 辯論者 「ロゾウスキ」

- (6) 東方問題
 - (7) 農業問題
 - (8) 産業組合問題
 - (9) 婦人運動ニ於ケル共産黨ノ活動ニ關スル任務
 - (10) 教育問題
 - (11) 組織改造問題
 - (12) 國內問題
 - (13) 共産青年運動
 - (14) 「ヘルサイユ」平和條約問題
 - (15) 執行委員會ノ選舉
- 三、幹 部 會
- 1 露 國 「レニン」、「トロキッ」
 - 2 勃 牙 利 「コラロフ」
 - 3 「スカンヂビア」 「シエフロー」

- 4 日本 片山
- 5 「チッコスロバキア」「ノイラート」
- 6 佛國 「ペロン」、「ヘンリー」
- 7 伊國 「マラビニ」
- 8 獨逸 「クララソエトキン」
- 9 米國 「カル」
- 10 英國 「レッキー」
- 11 波蘭 「マルチウスキー」

計 十三名

四、代表關係

幹部會ハ六十四國ヨリ三百五十名ノ代表ヲ大會ニ招請セリ各共產黨ノ代表者ノ數ヲ決定スルニ際シテハ(一)各共產黨ノ黨員ノ多少(二)革命戰ノ現今ニ於ケル各共產黨ノ政治的重要性ノ如何(三)當該國ノ政治及經濟事情(四)當該共產黨ノ不法ノ程度及敵ニ依リ壓迫セラルル程度ヲ考量セリ

國別代表數ハ獨逸二十三、佛國二十四、伊國二十一、露國七十五、「チッコスロバキア」十七ニシ

テ此等大共產黨ノ外青年共產「インターナショナル」及「プロフィンテルン」ヨリ各二十名ノ代表派遣セラレタリ

從テ六十一ヶ國ヨリ三百九十二名ノ代表出席シ其ノ内票決權ヲ有スルモノ三百四十二名、評議權ヲ有スルモノ四十四名、賓客待遇ヲ受クルモノ六名、此ノ外幹部會ハ伊國社會黨ヨリ五名ノ代表ヲ招請シ評議權ヲ與ヘタリ尙「チッコスロバキア」ノ反幹派ヨリ三名ヲ招請シ同シク評議權ヲ附與セリ

五、決議

- (1) 執行委員會報告決議文
- (2) 「プログラム」問題ニ對スル幹部會ノ提案
- (3) 産業組合問題ニ關スル決議
- (4) 婦人勞働者間ニ於ケル共產黨ノ活動ニ關スル決議
- (5) 「ネグロ」問題ニ關スル「テーズ」
- (6) 農業問題ニ關スル活動計畫
- (7) 舊「ボルシエビキ」聯合ノ決議文

- (8) 佛國共産黨ニ關スル決議文
- (9) 丁抹問題ニ關スル決議文
- (10) 組織改造委員會ノ決議文
- (11) 青年共産運動ニ關スル決議文
- (12) 「チエッコスロバキア」共産黨ニ關スル決議文
- (13) 「ソヴイェト」露國ニ對スル「プロレタリア」救援ノ問題ニ對スル決議文
- (14) 「ユーゴースラヴ」問題ニ關スル決議文
- (15) 諾威問題ニ關スル決議文
- (16) 「アイルランド」ニ於ケル恐怖政治ニ關スル決議文
- (17) 「ベルサイユ」平和條約問題ニ關スル決議文
- (18) 共産「インターナショナル」ノ戰術ニ關スル決議文
- (19) 東方問題ニ對スル決議文
- (20) 教育問題ニ對スル決議文
- (21) 露國革命ニ對スル決議文

六、次期執行委員會（選舉左ノ如シ）

委員	委員數	委 員 名	候補數	候 補 名
委員長	一	「ジノヴィエフ」		「デユン」
佛 國	二	「フロツサルスーバリン」	一	「ポツチエル」
獨 逸	二	「ツエトキン」、「ボエルンレ」	一	「レニン」、「トロッキイ」
露 國	二	「プハーリン」、「ラテック」	二	「ムナ」
「チエッコスロバキア」	二	「スメラル」、「ノイラート」	一	「ボルチガ」
伊 國	二	「ゼンナリ」、「グラムシ」	一	「ボルチガ」
「キム」	二	「シュラー」、「シヤッキン」		
英 國	一	「マックマナス」	一	「ニューボルド」
米 國	一	「カル」	一	「ダモン」
「スカンヂナビア」	二	「ヘエグルンド」、「シエフロ」		
波 蘭	一	「ブルチュナク」		
「フィンランド」	一	「クーシネン」		

巴 爾 幹 一 「ヨラロフ」 一 「マカベイ」

「オーストラリア」 一 「ガーデン」

南「アメリカ」 一 「ステュルマー」

南「アフリカ」 一 「アンドレイ」

東 洋 二 片山、「サファロフ」 一 「ロイ」

計 二十五名 計 十名

第五款 第五回大會

一、日 程

(一) 「レニン」ト共產「インターナショナル」(「レニン」主義ノ基礎並ニ其ノ宣傳ニ關ス) 辯論通告者 「カリニン」(露)「ブラウン」(獨)「ロイ」(印度)

(二) 執行委員會ノ活動及戰術ニ關スル報告 辯論通告者 「ジノヴィエフ」

(三) 世界經濟ノ現状 同 「バルガ」

(四) 「プログラム」問題 同 「ブハリーン」、「タールハイマー」

(五) 勞働組合戰術 同 「ロゾウスキー」、「ヘッケルト」

(六) 民族問題

a、民族問題ニ於ケル共產黨ノ態度(露國、波蘭、「チッコスロバキア」及巴爾幹) 同 「マヌイルスキー」、「ワレツキー」、「ボスコウイチ」

b、東洋並ニ植民地ニ於ケル革命運動

同 片山、「チン」

c、「ネグロ」問題

同 「ダン」(米)「フェランド」(佛)

(七) 組織問題

a、黨ノ組織的建設 b、共產「インターナショナル」ノ根本的構成法(規約) c、婦人間ニ於ケル共產黨ノ活動 d、不法活動 e、軍隊内ニ於ケル活動

辯論者ハ組織委員會ニ於テ決定セラル

(八) 宣傳問題

辯論者ハ宣傳委員會ニ於テ決定ス

(九) 「ファシズム」

辯論者 伊國側「ボルヂガ」 獨逸側「フライムート」

(十) 智識階級問題

同 「クララチエトキン」、佛國側「セリエ」、植民地側ハ未定

(十一) 「ソヴェト」共和國聯邦ノ經濟狀況ニ關スル報告

同 「ルイコフ」

(十二) 農民「インターナショナル」

同 「コロロフ」

(十三) 青年運動(本問題ハ最初大會總會議席上ニ於テ次ニ委員會ニ於テ論議ス)

同 「オットーウンガー」

(十四) 國際革命闘士救助會

辯論者ハ組織委員會ニ於テ選舉ス

(十五) 支那ノ問題

(a) 露國 (先ツ第一ニ總會ニ於テ次ニ委員會ニ於テ論議ス)

(b) 獨逸 辯論者「ルートフィシャー」

(c) 伊太利 (d) 勃牙利 (e) 英國 (f) 米國 (g) 日本

(十六) 労働組合問題

共產「インターナショナル」所屬「コオペラティブ」支部ノ國際會議ノ決議ハ編輯委員會ニ於テ審査シ其ノ審査後總會ニ於テ産業組合問題ニ關スル報告トシテ之ヲ提出ス、辯論者ハ「コオペラティブ」支部國際會議ニ於テ之ヲ定ム

二、諸機關ノ構成

(1) 幹部會

委員長 「ジノヴィエフ」

個人資格 「ツェトキン」

露國側 「スターリン」、「ブハーリン」、「トロツキー」

獨逸側	「ブラウン」、「ゲブハルト」
佛國側	「トレント」、「セリエ」
伊國側	「ボルヂガ」
「チッコ、スロバキア」側	「スメラル」、「ムナ」
「スカンデナビア」側	「シエプロ」
「バルカン」側	「コラロフ」
波蘭側	「クラエウスキー」
日本側	片山
印度側	「ロイ」
英國側	「スチュアート」
米國側	「ダン」

(2) 書記局

「ピアトニツキー」、「マクマナス」、「ノイラート」、「ドリオ」、「スチルナー」

(3) 委員會

(1)資格審査委員會(2)編輯委員會(3)政治委員會(4)組織委員會(5)「プログラム」委員會(6)労働組合委員會(7)國民運動及植民地問題ニ關スル委員會(8)農民委員會(9)婦人問題委員會(10)青年委員會(11-16)伊露、英、波蘭、勃牙利及日本ノ各國委員會(17)宣傳委員會(18)獨逸委員會(19)「スカンデナビア」委員會ニ分タル詳細ハ別表參照

三、代表資格

(一) 各支部ノ代表資格

番號	支部名	票決	評議	合計
1	獨逸	四一	一六	五七
2	佛國	二三	一三	三六
3	英國	一〇	一	一〇
4	「チッコ、スロバキア」	二〇	三	二三
5	伊國	一七	一三	二九
6	米國	一〇	一	一一
7	勃牙利	三	一	四
				三〇九

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
「オーストリア」	埃	波	土	「シ	支	「プ	「メ	「アル	白	「ボル	印	希	丁
	及	斯	耳	ヤ	那	ル	キシ	ゼン	耳	トガ	度	臘	抹
			古	バ		シル	コ	チン	義	ル			

| - - 二 二 二 三 - - - - - 二 二 二

- | | - | - | | | | | | - |

三二一
- - 二 三 二 四 - - - - - 二 二 二

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
瑞	和	西	埃	加	「エ	「ラ	「リ	「フ	「ル	「ユ	諾	瑞	波
西	蘭	牙	國	陀	スト	トビ	トア	イン	ルマ	ユー	威	典	蘭
					ニア	ビア	ニア	ランド	ニア	ゴス			
					「	「	「	「	「	ラ			

三 二 三 三 二 二 二 二 六 四 五 九 七 二

| - - 三 | - | 二 二 二 - | | 四

三 三 四 六 二 三 二 四 八 六 六 九 七 一六

36	洪牙利	1	2	2
37	蒙古	1	2	2
38	「アイルランド」	1	1	2
39	「アイズランド」	1	1	1
40	個人資格	1	7	7
41	「ソヴィエト」聯邦	1	2	1
	計	3	26	8
	計	8	2	2
		1	9	2

(二) 各支部外ニ於テ評議權ヲ有スルモノ

- (1) 共産「インターナショナル」執行委員會委員
 1 「ラデック」、2 「スパーリン」、3 「クララチエトキン」、4 「ステルナー」
- (2) 婦人書記局
 1、「カスバロヴァ」
- (3) 農民「インターナショナル」
 1、「ゴロフ」2、「ルカノフ」

(4) 國際革命闘士救援會

- 1、「ベストコウスキー」2、「チジヨムキン」

(5) 國際労働者救助會

- 「ミュンツベルグ」

(6) 「スポーツ インターナショナル」

- 「ロイスナー」

(7) 共産黨中央委員會

- 1、「イワノフ」2、「キゼレフ」3、「コロトコフ」4、「コジレフ」5、「リジチン」
 6、「バステツコフ」7、「ロイゼンマン」8、「チュツカエフ」

(8) 労働組合赤色「インターナショナル」執行局

- 1、「ハイス」2、「ハンマー」3、「ゼルマネトー」4、「カルニン」5、「ニン」
 6、「トムマン」7、「ヘルクレ」

(9) 全露中央労働組合局幹部會

- 1、「ウラジミロフ」2、「コッシオル」3、「ゼンジュシュキン」4、「ヤガロム」

(10) 個人

- 1、「アルバリ」
- 2、「ブランドラー」
- 3、「バルガ」
- 4、「ルジャサノフ」
- 5、「タールハイマー」
- 6、「ストラッサー」

四、「テーズ」及決議

- (1) 執行委員會ノ報告ニ對スル決議文
- (2) 戰術問題ニ關スル「テーズ」
- (3) 世界經濟狀況ニ關スル「テーズ」
- (4) 「プログラム」問題ニ關スル決議文
- (5) 共產「インターナショナル」ノ基礎的構成法
- (6) 職業細胞ヲ基礎トスル共產黨改造ニ關スル決議文
- (7) 共產「インターナショナル」及其ノ支部ノ宣傳ニ關スル「テーズ」
- (8) 労働組合運動ニ關スル決議文
- (9) 労働組合運動ニ於ケル共產「インターナショナル」ノ戰術ニ關スル「テーズ」
- (10) 英國労働内閣ニ關スル決議文

- (11) 「ファシズム」ニ關スル決議文
- (12) 婦人労働者ニ對スル共產黨ノ活動ニ關スル「テーズ」
- (13) 共產青年「インターナショナル」ニ關スル「テーズ」
- (14) 労働階級ノ教育ニ關スル決議文
- (15) 革命闘士救助國際協會ニ關スル決議文
- (16) 國際的労働者救助ニ關スル決議文
- (17) 露國問題ニ關スル決議文
- (18) 波蘭問題ニ關スル決議文
- (19) 瑞典問題ニ關スル決議文
- (20) 諾威問題ニ關スル決議文
- (21) 「イスラント」問題ニ關スル決議文
- (22) 「マルクス」「エンゲル」協會ノ出版ニ關スル決議
- (23) 中歐及巴爾幹ニ於ケル民族運動ニ關スル決議文
- (24) 共產「インターナショナル」ト國際農民委員會ノ關係ニ關スル問題ニ關スル決議文

- (25) 「プロレタリア」革命期ニ於ケル産業組合ノ任務ト共產主義的産業組合ノ義務
- (26) 伊太利共産黨ノ活動ニ關スル「プログラム」

五、檄文

- (1) 帝國主義戦争ノ十年期ニ際シ發セラレタル文檄(共産「インターナショナル」ノ幹部會ノ聲明)
- (2) 「ドーズ」案ニ關シ全世界ノ「プロレタリア」ニ檄スル檄文
- (3) 伊太利労働者ニ對スル檄文(擴大執行委員會)
- (4) 波蘭共産黨所屬ノ總テノ團體ニ對スル檄文
- (5) 第一「インターナショナル」六十年ニ際シ擴大執行委員會ノ發セル檄文
- (6) 漢堡ノ革命的「プロレタリア」ニ對スル擴大執行委員會ノ檄文
- (7) 獨逸共産黨ノ暴力的行爲ニ對シ又獨逸「プロレタリア」ノ反逆的虐殺者ニ對スル檄文
- (8) 十月革命ノ七月期ニ際シ擴大執行委員會ノ發セル檄文
- (9) 獨逸共産黨ノ暴行ニ對スル擴大執行委員會ノ檄文
- (10) 「エストニア」ノ處刑者ニ對スル檄文
- (11) 「エヂプト」共産黨中央委會ニ對スル檄文

- (12) 獨逸労働者ニ對スル擴大執行委員會ノ檄文
- (13) 「エストニア」ニ於ケル労働者ノ流血事件ニ關スル檄文
- (14) 「ベルー」、「ポリビア」及「ベネツエラ」獨立百年祭檄文
- (15) 英國ノ對「エヂプト」最後通牒ニ對スル檄文極東局ノ檄文

六、執行委員會ノ選舉、選舉ノ結果左ノ如シ

委員長 「ジノヴィエフ」

國名 執行委員名

候補者

獨逸	勃利	白耳	英國	米國	埃國
「シニレヒト」	「デシユチ」	「コラロフ」	「ジャクモット」	「ポリット」、「アックマナス」	「フォスター」、「ルランベルグ」
「ローゼンベルグ」	「ロバート」、「ルトフィシャー」	「ディミトロフ」	「スチユアート」、「ガララッチャー」	「ダン」	「フィアラ」
「テールマン」					

和 蘭

「ウィーンコープ」

「ユーゴースラブ」

「ボシュコウイッマリノウイツ」

「ジイミッチ」

印 度

「ロイ」

「アイルランド」

「ラーキン」

伊 太 利

「ボルデガ」、「エルコリ」

「マルコ」、「リエンチ」、「マフィ」

支 那

「チエ」、「デュ」、「リユー」

諸 威

「シエフロー」

「ハンゼン」

波 蘭

「グルシエゴルシエウスキー」

「ボグッキー」、「ネドビツニー」

露 國

「ジノヴィエフ」、「プハーリン」

「ソコルニコフ」、「トロッキー」

「スターリン」、「カメネフ」

「ロゾウスキー」、「ピアトニッキー」

「ルイコフ」

「クリステス」

「ミッキーウイッ」

「ウクライナ」

「マヌイルスキー」、「フルンゼ」

「フィンランド」

「セアールド」、「トレントセリエ」

「クーシネン」

佛 國

「ノイラート」、「スメラルムナ」

「グエ」、「ジェラム」、「ジロード」

「チエッコスロヴキア」

「ヘエグルンド」、「キルボム」

「ベルキック」、「ドブロヴォニー」

瑞 典

「サモアン」

「ツアポトッキー」

「ジャバ」

片 山

「ドリロ」

日 本

「ペネロン」

「ベラクン」

南 米

「ベレツソリス」

西 班 牙

「クラララッエトキン」

七、監督委員會

英 國

「マルフィー」

米 國

「プロウダー」

伯 刺 西 爾

「アストロジランドー」

獨逸	「ケーニヒ」
丁抹	「ラウエルゼン」
伊太利	「ゼンナリ」
「ラトビア」	「ストツユカ」
「リトアニア」	「アングレティ」
波蘭	「ブローチニアク」
露國	「ソルツ」、「ヘコリクスコーン」
佛國	「カシヤン」
「チッコスロバキア」	「クライビヒ」
「ブルガリア」	「カバチエフ」
「エストニア」	「ペエゲルマン」
「メキシコ」	「スチルナー」
土耳其	「メドシッド」

執行委員會所在地

執行委員會所在地ニ付キテハ「モスコウ」ニ決定セリ

第六款 擴大執行委員會第五回會議

一、開會

擴大委員會第五回ハ一九二五年三月二十一日「クレムリン」宮殿内「アンドレエフ」廣間ニ於テ開會セラレタリ

廊下並ニ其他ノ廣間ニハ「インタナショナル」ニ屬スル各支部ノ材料、國際革命闘士救助會宣傳ニ關スル材料ノ陳列アリ、中就執行委員會宣傳部ノ出品ニ係ル各國ノ新聞紙類ノ陳列ハ最モ一般ノ興味ヲ惹ケリ

「ジノビエフ」議長トシテ開會ヲ宣ス

- 二、諸機關ノ選舉
- (1) 幹部會選舉ノ結果左ノ如シ
- | | |
|------------|-------------------------|
| 「ソヴィエト」聯邦側 | 「ジノビエフ」、「ブハーリン」、「スターリン」 |
| 佛國側 | 「スマール」、「カシヤン」 |
| 獨逸側 | 「ゲシュケ」、「ウイタリヒ」 |

- 「チェコスロバキア」側
- 「ハーケン」、「ツアボトキー」
- 「ビオラ」
- 伊 國 側
- 「ドルシー」、「サンポール」
- 米 國 側
- 「ガラッチア」
- 英 國 側
- 「ロイ」
- 東方諸國側
- 「ハンゼン」
- 「スカンデナビア」側
- 「ライキン」
- 「アイルランド」側
- 「タララツェトキン」
- 個人資格
- (2) 書記局
- 「ターシネン」、「ピアトニッキー」、「トレント」、「カッツ」、「フンベルトドロツツ」、「ノイラー」
- ト、「コルンブルム」

三、參加者及表決權

資格審査委員會報告左ノ如シ

(1) 參加者

執行委員總數四十四名中二十四名及ヒ同數ノ缺席委員ヲ補充スル爲メ八名ノ候補出席セリ
 尙候補總數二十七名中五名ノ候補出席セリ從テ出席者總數ハ委員三十二名候補五名ナリ

(2) 表 決 權

- (a) 三票ノ表決權ヲ有スルモノ 露西亞、獨逸、佛蘭西、伊太利及青年共產黨
 - (b) 二票ノ表決權ヲ有スルモノ 英、米、諾威、勃牙利、波蘭及「ヴクライナ」
 - (c) 其他ハ各一票ヲ有スノミ
- 之ヲ合計スレハ五十支部參表決權六十三票ナリ

(3) 委員ノ増派

幹部會ハ擴大委員會議中ニ於テ「チェコスロバキア」佛蘭西、「ユーゴスラヴ」和蘭ノ諸國
 ヨリ委員ノ増派ヲ求メタリ

從テ出席者中表決權ヲ有スルモノ 一〇四

會議ニ加ハルモ表決權ナキモノ 一四〇

合 計

二四四

四、委員會

(1)資格審査委員會(2)政治委員會(3)勞働組合委員會(4)農民問題委員會(5)「チエッコ」委員會(6)「ユーゴ
ー斯拉ブ」委員會(7)和蘭委員會(8)伊太利委員會(9)殖民地委員會ノ九個ノ委員會組織セラル

五、「テーズ」及決議文

擴大執行委員會第五回會議ニ於テ採決セラレタル「テーズ」及決議文左ノ如シ

- (一) 共產「インタナショナル」所屬各團體ノ「ボルシェビキ」化ニ關スル「テーズ」
- (二) 農民問題ニ關スル「テーズ」
- (三) 執行委員會ノ報告ニ關スル決議文
- (四) 勞働組合ノ統一ノ爲メニスル爭鬭ニ關スル決議文
- (五) 共產「インタナショナル」ノ各支部内ニ於ケル煽動並ニ宣傳行爲上ノ緊急任務ニ關スル決議文
- (六) 露國共產黨内ニ於ケル論争ニ關スル決議文
- (七) 「チエッコスロバキア」問題ニ關スル決議文
- (八) 米國ニ於ケル問題ニ關スル決議文
- (九) 伊國ニ於ケル問題ニ關スル決議文

- (十) 「ブランドラー」「タルハイマー」「ラデック」ノ事件ニ關スル中央監督委員會ノ決議
- (十一) 「ブランドラー」「タルハイマー」「ラデック」ノ説明ニ對スル決議文
- (十二) 國際革命闘士救助國際協會ニ關スル決議文
- (十三) 共產「インタナショナル」及共產青年ノ組織會席上ニ於ケル報告ニ對スル決議文

第七款 第六回大會

一、開會

共產「インタナショナル」第六回大會ハ一九二八年七月十七日莫斯科職業組合會館ニ於テ開催
一、「ブハーリン」ノ開會ノ辭要旨

第五回大會以來共產主義運動ハ極度ノ發達ヲ遂ケ就中支那共產黨ハ其ノ間眞實ノ意味ニ於ケル革命的政黨タルニ至リ日本ノ共產黨ハ戰闘的政黨タルノ體型ヲ具備シ初メ印度ニ於ケル共產主義運動又ハ發達ヲ遂ケタリ

共產主義側ニ於テモ城塞ヲ築ケルカ社會民主黨ノ側ニ於テモ亦其ノ勢力ヲ増加セリ、資本主義カ部分的ニ安定セルカ爲メ共產「インタナショナル」ハ帝國主義ニ對スル新ナル決定的打撃ニ大衆ヲ動員スル爲メニ極メテ複雑ナル戰術ヲ採ルヲ餘儀ナクセラルルニ至レリ「ソウイェト」政權及其

ノ共產黨ハ困難ナル事情ノ下ニ於テ社會主義的建設ヲ爲スノ大任ヲ負ヘリ
吾人ハ大會ニ「プログラム」ヲ提出セサルヘカラス右ハ幾百萬ノ労働者及勤勞者ニ適合シ且米
國ヨリ支那ニ至ル諸國ニ對シテ戰術上ノ方策ヲ確定セルモノナリ

三、幹部會ノ選舉

英國 側

「ベル」、「ムルフィー」

「ソヴエト」側

「ブハリソン」、「マヌイルスキー」、「モロトフ」、「ビートニッ
キー」、「スターリン」

佛 國 側

「カシヤン」、「スマール」

「ネグロ」代表

「カールトン」

青年共產「インタナショナル」側

「チタロウ」、「シユラー」

北米合衆國側

「フオスター」、「ロープストン」

伊 國 側

「カルランディ」、「シィラア」

瑞 西 側

「フンベルト」、「ドロツツ」

「チエッコスロバキア」側

「ジイレック」、「ツァポトキー」

日 本 側

片 山

「スカデナビア」側

「キルボーム」

「フィンランド」側

「クーシネン」

南 米 側

「ラセルダ」

波 蘭 側

「レンスキ」、「コスチエヴァ」

赤色職業組合側

「ロソウスキー」

印度支那側

「マナワール」

獨 逸 側

「レンメレ」、「テールマン」

「ギリシヤ」側

「サリス」

「バルカン」側

「スタンコフ」

支 那 側

「ストラチョウリクアン」

印 度 側

「セカンダー」

個人資格

「クララチェトキン」

四、日 程

(一) 執行委員會ノ活動報告(「ブハリソン」)

- (ロ) 青年共産「インタナショナル」ノ活動報告(「シュラー」)
- (ハ) 國際監督委員會報告(「スチュッカ」)
- (二) 帝國主義戰爭ノ危險ニ對スル防遏處置(「ベル」)
- (三) 共産「インタナショナル」ノ「プログラム」(「ブハーリン」)
- (四) 植民地ニ於ケル革命運動(「クーシネン」、「エルコリ」)
- (五) 「ソヴェエト」聯邦事情及「ソヴェエト」聯邦共産黨(「バルガ」、「マヌイルスキー」)
- 五、支那ニ對スル共産「インタナショナル」ノ第六回大會ノ概文
- 第六回大會ハ總テノ労働者及農民並ニ支那「プロレタリア」ノ民族的開放運動ニ同情ヲ有スル總テノ士ニ對シ七月十七日ヨリ同月三十一日ニ亘ル期間ニ於テ赤色職業組合「インタナショナル」カ舉行スル連帶的戰鬥ヲ出來得ル限り支援スヘキコトヲ要求ス

六、「ブハーリン」ノ演說概要

「同志諸君」「ツァール」帝制ヲ覆セル十月革命十周年紀念ノ後ニ於テ茲ニ第六回共産「インタナショナル」大會開催セラル、最近數年間ニ於テ各種ノ外交上或ハ非外交上ノ會議集會等ハ人類ノ爲ニ最モ危險ナル國際「ブルジョア」ノ機關タル國際聯盟ニヨリテ平和ノ假面ヲ着タル虐偽ト

偽瞞トヲ以テ行ハレタリ然ルニ吾カ共産「インタナショナル」萬國大會ノ右等會議ト性質ヲ異ニシ革命的「プロレタリア」ノ大會ニシテ國際共産軍支隊參謀部ノ嚴肅ナル閱兵式ナリ同志諸君吾人ハ本大會ヲ「プロレタリア」國家ノ赤色首府ニ開クニ當リ自己ノ全生命ヲ世界「プロレタリア」革命戰ノ爲ニ犠牲ニ供セル數多ノ同胞ニ對シ茲ニ劈頭贊辭ヲ呈セントス

歐羅巴「プロレタリア」ハ數多ノ忠良ナル闘士ヲ喪失セリ闘士多クハ主トシテ貪慾ナル波蘭ノ鷲ノ爪先ニカカリ「ビルスドスキー」ノ靴底ニ踏踏ラレタリ、伊太利ニ於テハ「ムソソリーニ」ノ暴虐ニ蹂躪セラレ「ボルガリア」ニ於テハ社會民主黨ノ壓迫ニヨリ根絶セラレタリ唯タ茲ニ労働者及農民カ血ヲ以テ潔ク戰ヲ繼續シ居レル一國アリ之レ支那ナリ支那ニ於テハ労働大衆ハ悉ク帝國主義ノ壓制ニ抗爭シ赤手ヲ以テ之ト爭闘ノ苦ヲ嘗メツツアリ而シテ數千ノ労働者ハ拷問ノ刑ニ遭ヒ絞殺的阱ニ陥リ共産黨ノ凱歌ヲ叫ヒツツ落命シツツアリ

波蘭ヨリ日本ニ、伊太利ヨリ支那ニ、馬來群島ヨリ亞米利加ニ亘リテ無數ノ革命闘士ハ絞殺吏ノ斧ノ下ニ斷頭臺ニ晒サレ居レリ吾等ハ革命運動ノ爲ニ捕ハレテ伊太利、波蘭、支那、「ボルガリア」其他諸國ノ牢獄中ニ呻吟スル同胞ニ熱烈ナル挨拶ヲ送ラサル可ラス而シテ彼等ニ關スル注意カ瞬刻モ吾人ヲ離レサルコトヲ彼等ニ知ラシメサル可ラス

同志諸君、第五回共産「インターナショナル」大會以來吾等カ運動ハ漸時擴大シ共産ノ語、共産運動ノ原理及解シ易キ「レーニン」ノ金言ハ數多ノ國家領域並新大陸ヲ貫通シテ新民族ノ耳朶ニ達シ新勞働階級ニ滲透セリ即チ第一共産「インターナショナル」ノ勢力圏内ニ陥リタルモノハ南亞米利加ナリ次ニ共産運動ノ歴史の舞臺ニ乗出シタルハ倭少ナカラモ既ニ戰鬥單位トシテ認メラルルニ至レル日本共産黨ナリ吾人ハ印度ニ於ケル共産運動ノ疑ナキ發達ヲ信スルモノナリ此ノ時ニ當リテ吾等共産運動ノ問題ハ極メテ多岐複雑ナラサルヲ得ス歐羅巴ニ進出セル共産運動ノ最初ノ突撃ト革命ノ堡壘ハ資本主義國勞働階級ノ敗北ニヨリテ終リヲ告ケタリ

資本主義國ハ今ヤ急速自己ノ堅壘ヲ築キ武装ヲ固メツツアリ資本主義ノ崩潰ハ直線的ニ行ハルルモノニ非ス恰モ彼カ部分的建設ヲ以テ漸時ニ其ノ堅城ヲ築キタル如ク其ノ崩潰モ亦曲線ヲ辿ル可キヲ以テ吾人共産運動ノ爲ニ茲ニ新ナル大困難ヲ生シ共産「インターナショナル」及各支部ニ對シ勞働階級ノ闘士養成並動員上最モ多岐多様ナル戰略ヲ考究設定スルノ要アル所以ナリ

資本主義國ニ於テ共産「インターナショナル」ハ一再ナラス職業同盟及大衆ノ戰鬥ヲ引起セリ吾人ノ強敵トスル所ハ社會民主黨ナリ吾人ハ西歐及亞米利加ニ於テモ吾等カ強敵タル社會民主黨カ如何ナル行動ニ出ツルヤヲ熟知スルモ然モ未タ決定的ニ大ナル成功ト共ニ之等敵手ノ頭角ヲ挫折

スヘキ充分ナル手段ヲ盡セルコトナシ今ヤ各共産黨指揮ニ關シ最モ大ナル統制ヲ要ス終リニ吾人カ本大會ノ議題トシテ舉クル所ハ殖民地問題ニ始マリ比較的重要ナラサル第二義的戰術問題ニ及ヒ之ヲ數年前ニ吾人カ取扱ヒタル問題ニ比シ議案夥シク輻輳セリ吾人ハ今ヤ萬國勞働運動史上未曾有ノ階級戰の時機ニ逢着ス故ニ本大會ニヨリ一億萬ノ勞働者及農民ノ爲ニ生活問題ヲ解決シ支那ヲ始メ北米ニ至ル迄ノ諸國ノ爲ニ行使スヘキ確固タル戰術ヲ設定シ引イテ本大會ノ事業ヲ基礎トシテ各共産黨支部カ益々業績ヲ舉ケ「マルクス」主義ニ則リ「レーニン」主義ノ旗幟ヲ掲ケ以テ共産運動ニ突進センコトヲ祈ル次第ナリ、、、

(一九二八年七月十九日「ブラウダ」紙摘譯)

第五章 共産「インターナショナル」ノ戰術上ノ諸問題

第一節 概 說

一、共産黨ノ「ボルシェビキ」化ト單一國際共産黨ノ形成

現今共産「インターナショナル」ノ最モ重要ナル任務ハ共産「インターナショナル」ノ各支部ヲ「ボルシェビキ」化スル事ナリ、而レトモ「ボルシェビキ」化トハ露國ニ於ケル共産黨ノ經驗ノ總テ

ヲ他國ノ共產黨ニ機械的ニ當テ嵌ムル事ヲ意味スルモノト解スヘカラス

眞實ノ「ボルシェビキ」的共產黨ノ根本的特徴トシテ擧クヘキモノ左ノ如シ

(1) 共產黨ハ眞實大衆的政黨タラサルヘカラス即チ其ノ合法團體トシテ認メラルルモノタルト不法團體タルモノトヲ問ハス「ボルシェビキ」的共產黨ハ勞動大衆ト密接ニシテ鞏固ナル接觸ヲ保有シ且ツ勞動階級ノ困苦ト期待トヲ表現スルモノタラサルヘカラス

(2) 其ノ戰略ハ決シテ獨斷的又ハ宗派的ナルヘカラス

(3) 共產黨ハ其ノ本質上革命的ニシテ且ツ「マルクス」ノ主義ヲ奉スルモノタラサルヘカラス

(4) 共產黨ハ集權的ナラサルヘカラス分派ノ成立ヲ許サス

(5) 共產黨ハ「ブルジョア」ノ軍隊内ニ於テ規則的ニシテ且ツ頑強ナル宣傳ヲ行ヒ内ニ共產主義的組織ヲ作ラサルヘカラス

共產黨ノ「ボルシェビキ」化トハ共產「インターナショナル」ノ各支部カ露國共產黨ニ付其ノ國際的意義ヲ有スルモノノ總テヲ體得スルコトヲ意味スルモノナリ

共產「インターナショナル」ノ主要支部カ事實上「ボルシェビキ」化シタル場合ニ於テハ共產「インターナショナル」ハ單ニ言葉ノ上ニ止ラス實際上ニ於テモ「レニン」主義ニ依リ貫徹セラレタ

ル單一ノ世界的團體タルヲ得ヘシ

二、「オボチュニスト」ノ右傾的思潮ニ對スル戰闘

「オボチュニズム」ハ共產「インターナショナル」ノ第四回大會ヨリ同第五回大會ニ至ル期間ニ於テ共產主義運動中ニ豫期以上ニ強固ナル勢力ヲ占ムルニ至レリ、共產「インターナショナル」ノ若干ノ支部ハ初メ社會民主黨ノ搖籃ニ成長シ漸ク其ノ膝下ヲ離レテ共產「インターナショナル」ニ所屬スルニ至リタルモノニシテ其際此等ノ支部ハ社會民主主義ノ傳統的遺物ヲ共產「インターナショナル」ノ内ニ齎シタルガ右傳統ハ今日迄未タ依然トシテ存シ共產「インターナショナル」ハ之ヲ征服スルヲ得サル状態ニ在リ、共產「インターナショナル」所屬ノ政黨ガ大衆的政黨タル場合ニ於テ右翼的傾向ハ殊ニ危險性ヲ帶ブ

勞動運動ニ於テ最モ重要ナル役割ヲ占ムル國ノ二三ニ於テ右翼的傾向ノ代表者ガ共同戰線ノ戰術、勞農政府ヲ曲解シ右戰術ヲ以テ共產主義者ト社會民主主義者ノ政治的同盟即チ總テノ勞動黨ノ有機的聯合政治同盟ナリト解釋セント企圖セル事實ガ第五回大會ニ於テ明白トナレリ、共產「インターナショナル」ニトリテハ共同戰線戰術ノ主タル目的ハ反革命的態度ヲ持スル社會民主黨ノ首領ニ對シテ戰闘シ且ツ社會民主主義ニ染メル勞動者ヲシテ其ノ反革命的首領ノ勢力ヨ

リ解放スルコトニ在ルモノナルガ右翼代表者ハ右戰術ヲ以テ社會民主黨トノ政治的同盟ノ意義ニ解セントスルモノナリ

第五回大會ニ於テハ右小「ブルジョア」的傾向ニ對シテ斷乎タル批判ヲ試ミ共產「インターナショナル」ノ若干支部ニ於テ暴露セル共同戰線ノ戰術ノ曲解ヲ否認シ且ツ斯ノ如キ政策ハ共產「インターナショナル」ノ決議ニ根本的ニ牴觸スルモノニシテ共產「インターナショナル」ハ右政策ニ對シテハ之ヲ批難シ且ツ峻烈ナル戰闘ヲ試ムベキ事ヲ宣言セリ

三、共產主義的大衆政黨ノ形成ニ關スル基本要件

右要件左ノ如シ

(1) 職業細胞ヲ基礎トシテ共產黨ヲ組織的ニ建設スルコト

歐洲共產黨ノ大多數ハ其ノ組織ニ關シ社會民主主義者ノ採レル基本原則ヲ固執スルモ右ハ共產黨ヲ以テ猶選舉ノ補助機關ト認メタル時代ノ遺物ナリ

職業團體内ニ於ケル黨細胞ニ其ノ建設ノ基礎ヲ置カサル以上共產黨ハ眞ノ意味ニ於ケル且ツ内部的團結ノ強固ナル大衆組織トシテ成立スルヲ得ザルベシ青年團體婦人團體ニ付又然リ

職業團體ニ強固ナル基礎ヲ有シ且ツ大規模ノ營業組織ガ共產黨ノ城塞タルニ至ラザル限り如

何ナル共產黨ト雖モ「プロレタリア」ノ決定的多數ヲ戰闘ニ引キ入レ「ブルジョア」ヲ征服スルヲ得ズ

(2) 労働組合内ニ於ケル共產主義者ノ活動ヲシテ正鵠ヲ得シムルコト

(イ) 單ニ紙上ニ於テノミナラス實際上ニ於テ労働組合内ニ共產黨外團體ヲ形成シ及 (ロ) 労働組合ヲ占領スル爲メ組織的ニシテ且ツ頑強ニシテ且ツ永年ニ互ルベキ戰闘ヲ遂行シ (ハ) 社會民主黨首領ノ宣傳スル労働組合ノ分裂ニ對シテハ労働組合ノ統一ヲ主張シテ之ニ對抗スルコトハ共產主義ノ強固ナル尤衆的政黨ヲ形成スル爲メ基本要件ナリ

四、職業委員會運動

職業委員會ハ「プロレタリア」ノ新シキ組織ナルガ漸次新ニシテ眞實革命的ナル労働組合タルニ至ル且ツ順境ニ乗ジテ労働代表委員會形成ノ核心タルニ至レリ

此ノ眞面目ニ考慮スベキ職業委員會ノ運動ニ付キテハ共產黨ハ各々自國ニ於テ右運動ヲ喚起シ又ハ既ニ職業委員會運動ノ存スル國ニ於テハ之ニ對シテ一層強キ勢力ヲ確實ニ扶植セザルベカラズ然ラザレバ共產黨ハ眞ニ共產主義的大衆的政黨ト認ムルコトヲ得ザルベシ

五、農民ニ對スル態度ニ於テ正鵠ヲ得ルコト

農業國半農國ニ於テノミナラズ典型的資本主義國ニ於テモ第一回帝國主義戰爭ノ後經濟的危機ヲ發生セルガ右危機ニ因リ農民階級ノ驚クベキ大部ガ共產主義者ノ革命的思想ニ對シ戰前ニ比シ遙ニ感受シ易キ状態ニ達セリ農民ノ一部ニ對シテハ之ヲ中立セシムルノ政策ヲ採リ又農民ノ他ノ部分ニ對シテハ之ヲ味方ト爲スヲ努ムルニアラザレバ「プロレタリア」ハ勝利ヲ博シ且ツ「ソヴェエト」政權ヲ確立スルコトヲ得ズ

農民問題ニ關スル「テーズ」ヲ以テ満足セズ「プロレタリア」前衛ト農民ノ優良分子トノ間ニ結合關係ヲ作ルコトヲ知ラザルベカラズ而シテ右結合關係ハ（兵卒ハ主トシテ農民ヨリ徵集セラルルモノナルヲ以テ右結合ハ軍隊トノ聯絡ニ對シテ特ニ著シク重大ナル意義ヲ有ス）ハ主トシテ労働者ニ依リ作ラルベシ

此ノ目的ノ爲メニ共產主義者ガ多大ノ勢力ヲ占ムル職業團體内ノ革命的労働者ハ更ニ多クノ代表ヲ組織的ニ地方ニ派遣シ、及基金ヲ募集スルコト等ヲ以テ義務ト爲サザルベカラズ

共產「インターナショナル」側ニ於テ農民問題ニ對シ充分ノ注意ヲ拂ハザルハ社會民主主義ノ餘弊ニ外ナラズ農民階級ノ間ニ革命的活動ヲ爲スベキコトヲ知ラザル共產黨ハ政權獲得ヲ眞面目ニ論議スベキ共產主義ノ大衆組織タルコトヲ得ズ

其ノ際共產「インターナショナル」ノ各支部ガ「マルクス」流ノ労働黨トシテ止リ勞農黨ニ變ズ

ベカラザルコトハ自明ノ理ナリ

六、民族問題ニ關シ正當ナル政策ヲ執ルベシ

第一回帝國主義戰爭ノ結果世界ハ新ニ分合セラレ其ノ結果總テノ國ニ於テ民族抑壓ノ勢ヲ増シ且ツ民族分割ノ問題ヲ生ゼリ斯クテ歐洲諸國ノミナラズ殊ニ植民地及半植民地ニ於テモ「ブルジョア」ノ支配ヲ爆破スベキ原因ト動力ヲ蓄積セララルルニ至レリ

民族問題ニ於テ共產主義ノ採ルベキ正當ナル政策ハ第二回大會ニ於テ採擇セラレタル「テーズ」ノ内ニ詳細ニ明示セラレ居ルガ右ハ大衆ヲ獲得シ且ツ革命ヲ準備スルヲ目的トスル政策ノ最モ重要ナル要素ノ一ナリ

民族問題ハ今日迄共產黨ノ總テヲ支配セル問題ナル處右問題ニ於ケル虛無思想ト日和見主義者ノ脫線的行爲ハ共產黨ノ弱點ニシテ共產黨ハ此ノ弱點ニ打チ克ツニアラザレバ其ノ歴史的任務ヲ遂行スルヲ得ズ

七、民主主義的平和論者ノ妄想

國際事情ニ關聯シ勤勞大衆ノ或部分ガ民主主義的平和主義的妄想ヲ懷クニ至レリ而シテ社會民主黨ノ首領ハ此ノ種妄想ヲ永存セシムル爲メ所有手段ヲ盡シ遺漏ナシ

此種妄想ニ對シテ抗爭スルコトハ共產主義者ガ來ルベキ時期ニ於テ努ムベキ最も重要ナル任務ナルガ右抗爭ト共同戦線ノ戰術トノ關係ニ付キテハ右抗爭ハ同戰術ノ使用ヲ全然排除スルモノニアラズシテ却テ共同戦線戰術 (イ) 社會民主主義ヲ奉ズル労働者ヨリ成ル廣汎ナル階級ヲ經濟戰爭ニ引キ入レ共產主義者ト協同セシムルコト (ロ) 現今ノ民主主義的労働内閣ニ依リテハ滿スコトヲ得サル政治的基礎的要求ヲ確立スルコト) ヲ最も巧妙ニ使用スルハ民主主義的平和主義的妄想ヲ打破スヘキ最良ノ方法タリ

共同戦線ノ戰術ハ左ノ條件ヲ顧慮スル場合ニ於テノミ效果ヲ收メ得ベシ

- (1) 民主主義的社會主義的妄想ヲシテ共產主義ノ戦線ニ侵入セシメサルコト
- (2) 共同戦線ノ戰術ヲ行使シ及勞農政權樹立ノ標語ヲ使用スル場合ニ於ケル總テノ危險ハ共產「インターナショナル」ノ再三指示セル處ガ共產主義者ハ右凡テノ危險ヲ考量スルコト

八、西歐ト東洋

共產「インターナショナル」ハ世界革命ヲ目的トスル團體ナリ
西歐諸國ハ特別ノ事情ニ依リ特ニ共產「インターナショナル」ノ注意ヲ惹キ來タレリ然レトモ東洋ニ於ケル其ノ活動(最モ廣義ニ之ヲ解ス)ニ付キテモ共產「インターナショナル」ハ從來ヨリ

更ニ大ナル注意ヲ拂ハサルヘカラサルニ至レリ

印度、日本、支那及土耳其ニ於テハ既ニ共產主義運動ノ最初ノ萌芽發生シ右諸國ニ於テハ労働者ハ綜合的經濟戰ヲ開始セリ共產「インターナショナル」ハ右運動ニ對シテ最大ノ注意ヲ拂ハサルヘカラス

總テノ被抑壓民族ノ反帝國主義運動ニ付キテハ共產「インターナショナル」ハ其ノ第三回大會ノ決議ノ精神ニ從ヒ之ヲ支持シ且ツ右運動ハ大規模ナル解放運動ノ最モ重要ナル部分ニシテ單獨ニテ西歐ノミナラス世界ニ互リ「プロレタリア」革命ノ勝利ヲ保證シ得ルモノナルノ事實ヲ考慮シ其ノ全方面ニ互リ之ヲ支持セサルヘカラス

八、極左的傾向

露國ノ革命的「プロレタリア」運動タル「ボルシェビズム」ハ一面ニ於テハ少數派及中間派ト殘酷ナル戰闘ヲ交ヘ又他面ニ於テハ極左的傾向ト抗爭ヲ續ケツツ其ノ發達ヲ遂ゲタルガ「ボルシェビズム」ノ國際的團體タル共產「インターナショナル」モ亦其ノ成立ノ第一日ヨリ「オボチュニスト」ニ對シテノミナラス極左的傾向ニ對シテモ抗爭ヲ繼續シ來レリ極左的傾向ハ單ニ「オボチュニズム」ノ反面トシテ表現スル場合屢々アリ

共產「インターナショナル」ノ第四回大會ヨリ第五回大會ニ至ル間ニ於テ極左的傾向ハ反動的勞働組合内ニ於ケル活動ニ關スル問題ニ關聯シ共產主義者ヲ特ニ脅威スルカ如キ觀ヲ示セリ極左的運動ハ勞働組合ヨリ共產主義ノ脱退スルコトヲ獎勵スルモノニシテ共產主義ニ對シテ最大ノ危險ヲ伴フモノナリ此種傾向ハ又勞働組合内ニ於テ共產主義者ヨリ分離センコトヲ欲スル社會民主黨ノ反革命的首領ヲ激勵スルモノニシテ共產「インターナショナル」ハ絶エズ此ノ傾向ヲ斷壓スルニアラザレバ決シテ眞實「ボルシエビキ」的ナル政黨ヲ組織スルコトヲ得ザルベシ尙極左的傾向ハ (イ)「マニユーバー」ノ戰術ヲ主義上批難シ (ロ)特ニ共同職線ノ戰術ニ對シテ理解ナク其ノ實際的遂行ヲ否定シ (ニ)或ハ共同戰術ノ戰術ヲ單ニ經濟ノ範圍ニ局限セントス「マニユーバー」ハ之ヲ日和見主義ノ手段トシテ使用スルヲ許サズ

共產「インターナショナル」ハ右翼ノ日和見主義的傾向ニ對シテ爭鬪スルト同時ニ極左派ノ此種誤謬ヲ闡明セザルベカラズ極左派ハ共產主義ニ準據シ且ツ「マニユーバー」ノ可能ナル大衆的組織ノ建設ヲ不可能ナラシムルモノナリ

第二節 革命的議會政策

第一款 緒言

一、本件ニ關シテハ既ニ第二回大會ニ於テ伊太利代表「ボルヂガ」ヲ主腦トスル所謂極左派トノ問ニ論争アリタル事ハ前述ノ如シ(第三章第二節第二款第二回大會參照)

二、茲ニハ右第二回大會ニ於テ採擇セラレタル「テーズ」ヲ蒐録ス

第二款 議會政治ニ關スル共產「インターナショナル」ノ「テーズ」

第一、「プロレタリア」獨裁ノ爲メノ戰闘ト「ブルジョア」的議會ノ利用

(1) 議會制度ハ國家組織トシテハ「ブルジョア」階級ガ其ノ所謂民主主義的支配ヲ行フ形式ナリ而シテ右形式ハ一定階梯迄發達スル時國民代表ノ擬制ヲ必要トスルニ至ルモノニシテ國民代表ノ擬制ハ外部ニ對シテハ階級以外ニ存スル國民ノ意思ヲ表現シ其ノ實質ニ於テハ支配階級タル資本家ガ抑壓ノ目的ノ爲メニ使用スルノ機關タリ

(2) 議會制度ハ國家組織ノ一形式ナリ、故ニ議會ハ階級モ階級戰モ又國權ヲモ認メザル共產主義的社會ノ形式タルヲ得ズ

(3) 議會制度ハ「ブルジョア」獨裁ヨリ「プロレタリア」獨裁ニ移ラントスル過渡期ニ於テモ又「プロレタリア」國家行政ノ形式タルヲ得ズ即チ階級戰ニ於テ「プロレタリア」ハ其ノ國家組織ヲ戰闘團體トシテ建設セザルベカラズ而シテ右團體ニ於テハ從來ノ支配階級ノ代表者ノ加

入ハ之ヲ許スベカラズ「プロレタリア」獨裁ニハ議會ニ於ケル如キ權力ノ分立ヲ必要トセザルノミナラズ右權力ノ分立ハ「プロレタリア」獨裁ヲ害スルモノナリ「プロレタリア」獨裁ノ形式ハ「ソヴェト」共和國ナリ

(4) 議會ハ「ブルジョア」ノ國家機關中最モ重要ナルモノノ一ニシテ「プロレタリア」ガ之ヲ永久ニ占領シ得ザルハ恰モ「プロレタリア」ガ「ブルジョア」的國家自體ヲ征服シ得ザルト同様ナリ

「プロレタリア」ハ「ブルジョア」ノ國家機關ヲ破壊シ之ヲ粉碎シ同時ニ議會ヲモ打破スル事ヲ以テ任務トスベシ、其ノ際共和制タルト君主制タルトハ之ヲ問ハズ

(5) 「ブルジョア」ノ「コンミュン」制度ハ之ヲ以テ國家機關ト對照スルハ理論上正當ニアラザルモ實質上ハ「ブルジョア」ノ國家組織ニ類似スル機關ニシテ革命的「プロレタリア」ニ依リ打破セラルベク且ツ勞働代表者ノ「ソヴェト」ヲ以テ之ニ代フベキモノナリ

(6) 從テ共產主義ハ議會制度ガ將來ノ社會ノ形式即チ「プロレタリア」ノ階級的獨裁ノ形式タリ得ザル事及議會ヲ永久ニ占領スル事ハ不可能ナルヲ認ム共產主義ハ議會ノ破壊ヲ以テ其ノ目的トナス

故ニ「ブルジョア」ノ國家機關タル議會ヲ利用スルハ只其ノ破壊ノ目的ノ爲メニノミ問題ト爲リ得ベシ

(7) 總テノ階級戰ハ政治的戰鬪タルノ性質ヲ有ス何トナレハ右ハ政權ノ獲得ヲ以テ終局ノ目的トスレバナリ全國ニ播延セル反亂ハ「ブルジョア」國家ヲ脅威スルモノニシテ其ガ爲政治的性質ヲ有ス「ブルジョア」階級ヲ顛覆シ且其ノ國家ヲ破壊セントスル總テノ企圖ハ政治的戰鬪ヲ遂行スル所以ナリ「ブルジョア」ヲ抑壓シ及行政ヲ布クノ目的ヲ以テ「ブルジョア」ノ階級機關ヲ設立スル事ハ其ノ機關ノ性質ガ如何ナルモノニモセヨ即チ政權ヲ獲得スル所以ナリ

(8) 從テ政治的戰鬪ノ問題ト議會政治ニ對スル態度ニ關スル問題トハ決シテ其ノ範圍ヲ同ジウスルモノニアラズ前者ハ「プロレタリア」階級戰ヲ意味スル一般の問題ニシテ小戰鬪タル部分の戰鬪ガ増加シ遂ニ資本主義制度ノ顛覆ヲ目的トスル一般の戰鬪タルニ至ルモノナリ

(9) 「ブルジョア」即チ國權ニ對スル「プロレタリア」戰鬪ノ最モ重要ナル方法ハ就中大衆運動ナリ而シテ大衆運動ハ「プロレタリア」ノ革命的大衆團體（勞働組合、共產黨、委員會）之ヲ行フベク其ノ一般的指揮ヲ爲スモノハ統一セラレ且ツ訓練セラレタル集權的團體タル共產

黨ナリ

革命(大衆戦争)ハ一種ノ戦争ナリ此ノ戦争ニ於テハ「プロレタリア」ハ勇敢ナル政治的闘士ノ團體及有力ナル政治的參謀本部ノ組織ヲ有セザルベカラズ

- (10) 大衆ノ戦闘ハ個々ノ戦闘行爲ノ系統的ニ結合セラレタルモノニシテ其個々ノ行爲タルヤ其ノ形式ニ於テ益々激烈トナリ且理論上資本主義國家ニ反抗スル革命状態ニ達スルモノナリ「プロレタリア」ヲ指揮スルノ地位ニ在ル共産黨ハ大衆ノ戦闘ニ於テハ一般ニ其ノ合法的地位ヲ確立シ以テ其ノ革命的活動ノ支柱タラシメザルベカラズ

- (11) 斯ノ如キ根據地タルモノハ「ブルジョア」ノ議會ナリ議會ガ「ブルジョア」ノ國家機關タル事ハ以テ議會ニ參加スルコトニ反對スルノ理由ト爲スヲ得ズ

共産黨ハ議會ノ權能ニ參與スルガ爲メニ議會ニ進出スルモノニアラズ共産黨ノ議會ニ進入スルハ議會内部ヨリ大衆ヲ援助シ且ツ其ノ行動ニ依リ國家機關及議會自體ヲ粉碎スルガ爲ナリ(例ヘバ獨逸ニ於ケル「リープクネヒト」ノ活動、露國王朝時代ノ議會、所謂民主主義的會議、「クレンスキー」ノ準備議會及立法會議ニ於ケル「ボルシエビキ」ノ活動、並ニ勃牙利共産主義者ノ活動)

- (12) 共産黨ノ議會内ニ於ケル活動ハ主トシテ(イ)議會ヲ革命ノ爲煽動スル事(ロ)共産黨ノ敵ノ假面

ヲ剝ク事及(ハ)依然トシテ民主主義ノ幻想ニトラハルル大衆ヲ精神的ニ統一スルコトニ在ルカ右議會内ノ活動ハ議會外ニ於ケル大衆戦闘ノ目的及任務ニ從フヘキモノナリ

議會内部ヨリ選舉戰及革命的宣傳ニ參加スルコトハ從來地方勤勞者ノ如ク政治的生活ニ遠サカリ來リタル勞働者階級ヲ政治的ニ結合スル上ニ於テ特ニ重要ナリ

- (13) 共産主義者カ「コンミュン」ニ於テ多數ヲ占ムルニ至リタル場合ハ共産黨ハ左ノ事項ヲ努ムヘシ

- (a) 「ブルジョア」ノ中央權力ニ對シテ革命的反抗ヲ爲スコト
 (b) 貧困ナル人民ノ爲メ出來得ル限リ配慮スルコト
 (c) 根本的改革ニ對シテ「ブルジョア」國權カ設クル制限ヲ機會アル毎ニ指摘スルコト
 (d) 「ブルジョア」國權トノ衝突ヲ恐ルルコトナク此ノ基礎ニ基キ最モ激烈ナル革命宣傳ヲ行フコト

- (e) 一定ノ條件ノ下ニ共同團體行政ニ代フルニ地方勞働委員會ヲ以テスルコト

「コンミュン」ノ行政ニ於ケル共産主義者ノ活動ハ資本主義制度ヲ打破セントスル一般的

活動ノ一要素タラサルヘカラス

- (14) 選舉戰自體ニ付キテハ投票ノ多數ヲ獲得スルヲ目的トセス「プロレタリア」革命ノ標語ノ下ニ大衆ヲ革命ニ動員スルヲ以テ目的トスヘシ
- 選舉戰ニ付キテハ黨ノ精銳ノミナラス黨員ノ全部之ニ從事スヘシ其ノ際現存スル大衆ノ活動（反亂、示威、兵卒、海員間ニ於ケル革命的氣運ノ醸成等）ヲ利用シ之ト密接ノ聯絡ヲ保ツヲ要ス

「プロレタリア」ノ總テノ大衆組織ヲ積極的活動ニ引キ入ルル事ヲ必要トス

- (15) 共產黨ハ此等總テノ前提條件竝ニ特別ノ指令中ニ掲ケラレタル前提條件ヲ承認スヘク其ノ活動ニ於テハ社會民主黨ト正反對ナリ即チ社會民主黨ノ如ク所謂民主主義ノ機關タル議會ヲ支持シ出來得ヘクンハ之ヲ占領センカ爲メ議會ニ入ルモノニアラス、共產黨ハ「カールリブクネヒト」及「ボルシエビキ」ノ精神ニ基キ専ラ議會制度ヲ革命ノ目的ノ爲メ利用スヘシ
- (16) 選舉及議會内ニ於ケル革命的運動ニ參加スルコトヲ絕對的且必然的ニ否定スル意味ニ於ケル議會政治反對ノ主義ハ幼稚ナル教義ニシテ所謂代議士ニ對スル憎惡ニ基クモノナリ右ノ憎惡タルヤ健全ナリト云フヘキモ同時ニ革命的議會政策ノ可能ナルコトヲ知ラサルモノナリ尙右教義ハ共產黨ノ役割ヲ誤解スルモノナリ何トナレハ右教義ハ共產黨ヲ以テ勞働者ノ集權的

攻撃團體ト認メスシテ只緩ニ相結合セル分權的團體ト認ムルヲ以テナリ

- (17) 議會内ノ活動ハ主義トシテ承認スルモ其ノ當然ノ論結トシテ特定ノ選舉又ハ特定ノ議會ノ會合ニ絕對的ニ參加スルノ必要ヲ認ムルモノニアラス特別ノ事情ニ依リ議會ヨリ脱退スルノ必要ナルコトアリ又事情ニ依リ左ノ處理ヲ必要トスルコトアリ得ヘシ

(1) 選舉ニ對シ「ボイコット」スルコト

(2) 「ブルジョア」ノ全國家機關竝ニ「ブルジョア」議會ヲ直接實力ニ依リ除去スルコト

(3) 議會自體ニ對シテ「ボイコット」スルモ其ノ選舉ニ參加スルコト等

- (18) 共產黨ハ中央議會竝ニ地方自治機關ノ選舉ニ參加スルノ必要ヲ認メ且此等機關内ニ於ケル活動ヲ一般原則トシテハ認ムルモ問題解決ニ付キテハ一定ノ時期ニ於ケル特別ノ事情ヲ考量シテ具體的ニ之ヲ解決スヘシ若シ武装的戰闘及權力獲得ニ直接推移スヘキ前提條件ノ存スル場合ニ於テハ選舉及議會ニ對シテ「ボイコット」ヲ爲シ又ハ議會ヨリ脱退シ差支ナシ

- (19) 其ノ際吾人ハ常ニ議會利用ノ問題カ比較的重要ナラサル點ニ着眼セサルヘカラス
- 吾人ハ議會外ニ於テ且政權獲得ノ目的ヲ以テ遂行セラルル戰闘ニ其ノ重點ヲ置クヲ以テ議會政治ノ利用ニ關スル特別問題ハ其ノ重要ナル程度ニ於テハ「プロレタリア」ノ獨裁問題及「ブ

「プロレタリア」獨裁ノ目的ノ爲ニスル大衆戰爭ノ問題ノ比ニアラサルコトハ自明ノ理ナリ

- (20) 其レ故ニ共產「インターナショナル」ハ右ノ方針ニ於テ又單ニ此ノ理由ヨリシテ共產黨内
部ニ於ケル分裂ヲ來シ又ハ之ヲ分裂セシメントスル企圖ハ重大ナル過誤タルコトヲ斷然力説
ス

共產黨ハ革命的「プロレタリア」ヨリ成ル集權的團體ニシテ且又總テノ勞働者大衆團體ニ對
シテ指令スルノ地位ニアルモノナルカ共產「インターナショナル」ノ大會ハ右共產黨ノ指揮
ノ下ニ立チ且「プロレタリア」ノ獨裁ヲ實現スルコトヲ目的トスル大衆ノ戰爭ヲ承認シ之ニ
立脚スル總テノ共產主義分子ニ對シテ縱令「ブルジョア」議會利用ノ問題ニ關シテ見解ヲ異
ニスルニセヨ共產分子ノ完全ナル統一ニ努ムヘキ事ヲ要求ス

第二 革命的議會制度

革命的議會政策ノ實際的遂行ヲ確實ナラシムル爲左ノ事項ヲ必要トス

- (1) 共產黨及其ノ中央委員會ハ既ニ準備期ニ於テ即チ議會選舉前ニ於テ其ノ院内團議員ノ品質
ヲ高ムルニ努力スヘシ

共產黨中央委員會ハ共產黨院内團ノ行動ノ一切ニ對シテ責任ヲ負フ共產黨中央委員會ハ共產

黨候補者ニシテ議席ヲ占ムルニ至リタル場合共產主義的政策ヲ遂行スルヲ保シ難キ懸念アル
キモノニ付テハ其ノ候補者タル事ニ對シ抗議スルノ權ヲ有ス

共產黨ハ辯護士等ヲ専ラ代議士トシテ推舉スル社會民主黨ノ舊弊ヲ打破シ勞働者ヲ候補者ト
シテ推舉スルヲ必要トス其ノ際右候補者ノ大多數カ議會ノ經驗ヲ有セサル單純ナル黨員タル
モ差支ナシ議員タランカ爲メニ共產黨ニ近ツキ來ル野心家ニ付キテハ共產黨ハ何等ノ顧慮ナ
ク斷然注意スヘシ

共產黨中央委員會ハ多年ノ活動ニ依リ勞働者階級ニ對シ奉公ノ意ヲ表シタル闘士ノミヲ候補
者トシテ確認スヘシ

- (2) 選舉終了後共產黨院内團ヲ組織スル事ハ専ラ共產黨中央委員會ノ權限ニ屬ス其ノ當時全黨
カ合法團體タルト不法團體タルトハ之ヲ問ハス共產黨院内團ノ總裁及幹事ハ共產黨中央執行
委員會ノ承認ヲ要ス

中央委員會ハ院内團ニ於テ一名ノ常任代表者ヲ設置シ院内團ノ行動ニ對シテ異議ヲ唱フルノ
權ヲ有セシメ且總テノ重要ナル政治問題ニ付キテハ院内團ハ豫メ中央委員會ヨリ訓令ヲ仰ク
ヘキモノトス。中央委員會ハ後述スルカ如キ共產主義者ノ議會内ニ於ケル重大ナル活動ニ際

シテハ院内團ノ辯論者ヲ定メ或ハ抗議スルノ權利及義務ヲ有ス又中央委員會ハ辯論者ニ對シテハ中央委員會ノ承諾ヲ得ル爲メ豫メ其ノ演說ノ梗概又ハ演說全文ヲ提出スヘキ事ヲ要求スルノ權利及義務ヲ有ス

共產黨ノ選舉名簿ニ登録セラレタル候補者ハ總テノ代表資格ヲ辭退スヘキ事ヲ中央委員會カ要求シタル場合ハ直ニ議會ヨリ脱退スヘキ事ヲ豫メ用意スルノ義務ヲ有ス

- (3) 改良主義者又ハ單純ナル野心家カ共產黨院内團體ニ喰ヒ込ミタル國ニ於テハ共產黨中央委員會ハ根本的ニ人員整理ヲ行フヘシ其ノ際多數ノ人員ヲ有スルモ一定ノ共產主義的政策ヲ有セサル院内團ニ比シ縱令人員僅少ナルモ眞ニ共產主義的性質ヲ有スル院内團ノ方カ勞働階級ニトリ遙ニ有益ナリトスル原則ヨリ出發スベシ

- (4) 共產黨代議士ハ中央委員會ノ決議ニ基キ合法的活動ト非合法的活動トヲ連絡スヘキ義務ヲ有ス共產黨代議士カ普通法律ニ對シテ不可侵權ヲ享有スル國ニ於テハ共產黨代議士ハ右不可侵權ヲ利用シテ其ノ組織及宣傳ニ關スル共產黨ノ不法活動ヲ支持セサルヘカラス

- (5) 共產黨議員ハ其ノ院内ニ於ケル凡テノ行動ニ付キ院外ニ於ケル共產黨ノ活動ニ從ハサルヘカラス

共產黨代議士ハ黨又ハ中央委員會ノ訓令ニ從ヒ時ニ示威的法律案ヲ提出スヘシ而シテ右法律案ノ提出ハ同法律案カ「ブルジョア」ノ多數ニ依リ採用セラルルコトヲ目的トスルモノニアラスシテ單ニ宣傳煽動及團結ノ爲ニスルモノナリ

- (6) 勞働者カ街路上ニ於テ示威運動及其他ノ革命的行動ニ及ヒタル際ハ共產黨代議士ハ勞働大衆ノ先頭ニ立チ第一ノ指導者タル地位ヲ占ムヘキ義務ヲ有ス

- (7) 共產黨代議士ハ革命的勞働者、農民及勤勞者ト文書其他ニ依ル聯絡ヲ保持スル爲メ凡ユル手段ヲ盡スベシ、共產黨代議士ハ如何ナル場合ニ於テモ社會民主黨ノ代議士ト同様ノ行爲ヲ爲スベカラス何トナレハ右代議士ハ其ノ選舉民ト取引上ノ關係ヲ繼續スレバナリ

- (8) 議會内ニ於ケル總テノ共產黨代議士ハ立法者ニアラズシテ共產黨ノ煽動員タルベキ事ヲ考量スベシ共產黨議員ハ一般選舉人大衆ニ對シテ責任ヲ有スルモノニアラズシテ彼等ノ所屬スル合法又ハ不法共產黨ニ對シテ責任ヲ負フモノナリ

- (9) 共產黨代議士ハ一場ノ演說ヲ爲サザルベカラス而シテ右演說ハ各勞働者、農民、洗濯婦、牧羊者ニモ解シ得ルモノタラザルベカラス何トナレバ共產黨ハ右辯論ヲ宣傳「ピラ」トシテ

出版シ津々浦々迄配布スレバナリ

- (10) 單純ナル共產主義労働者ハ議會ニ關シテ何等ノ經過ヲ有セザル初心者ナル場合ニ於テモ又議場ニ經驗深キ所謂代議士ニ讓ルコトナク議會ニ登場セザルベカラズ必要ナル場合ニ於テハ共產黨代議士ハ労働者ノ群中ニ於テ其ノ演説ヲ讀ミ上ゲル事ヲ得ベシ斯ノ如クセバ其ノ演説ハ新聞ニ掲載セラレ且ツ宣傳「ピラ」トシテ印刷セラルルヲ得ベシ

- (11) 共產黨代議士ハ議場ヲ利用シテ「ブルジョア」及其ノ公然ノ手先タルモノノミナラズ社會愛國主義者、改良主義者及中間派ノ半數其他共產主義ノ敵タル者ノ假面ヲ剝ギ共產「インターナショナル」ノ思想ノ傳播ニ努ムベシ

- (12) 共產黨代議士ハ如何ニ其ノ味方少ナキ場合ニ於テモ其ノ行動ノ全體ヲ通ジ資本主義ニ對シ挑戰的態度ヲ示スベシ共產黨代議士ハ言辭ノミナラズ行爲ニ於テ「ブルジョア」社會及社會愛國主義ノ強敵タル事ヲ示サザルベカラズ

第三節 民族問題植民地問題ニ對スル共產「インターナショナル」ノ對策

第一款 民族問題ニ關スル「レニン」主義ノ原理

「スターリン」ハ一九二四年四月初旬「スウェエルドロフ」大學ニ於テ「レニン」主義ノ原理ト題

シテ講演スル處アリシガ右講演中ノ一節ニ於テ民族問題ニ觸レ本問題ニ關スル「レニン」主義ノ見解ヲ直截且簡單ニ説明スル處アリタリ以下右講演ニ依リ本問題ヲ概説セントス
本件ニ開シテハ二ヶノ根本問題ヲ考察セザルベカラズ(一)設問及(二)被抑壓民族ノ解放運動ト「プロレタリア」革命之ナリ

一、設 問

民族問題ハ最近二十年間ニ於テ極メテ重要ナル變遷ヲ見タリ即チ「レニン」主義時期ニ於ケル民族問題ハ之ヲ第二「インターナショナル」時代ノ其レニ比スルニ(1)其ノ範圍及(2)内部的性質ニ於テ根本的相異アリ

(1) 範圍ノ差異

從來民族問題ハ通常主トシテ文明民族ニ關スル問題トシテ取扱ハレ從テ其ノ範圍狭少ナリキ即チ「アイルランド」、洪牙利、波蘭、「フィンランド」、「スラブ」及其他二三ノ歐洲民族ガ第二「インターナショナル」ノ英雄等ノ所謂非獨立民族ノ範圍ナリキ

怖ルベキ形式ニ於テ民族的抑壓ヲ受ケ其ノ下ニ呻吟スル幾千萬幾億ノ「アジア」及「アフリカ」民族ハ一般ニハ度外視セラレ白色人種ト有色人種、文明民族ト非文明民族トハ對等ニ併

立セラレザリキ而シテ植民地解放ノ問題ニ關シテハ第二「インターナショナル」ハ二三ノ決議ヲ爲シ其ノ首領等ハ之ヲ誇示スルモ右決議ハ何等云フニ足ルベキ内容ヲ有セズ且ツ極メテ不徹底ノモノナリキ

現今ニ於テハ民族問題ニ於ケル斯ノ如キ二重性ト不徹底ハ根本的ニ掃蕩セラレタルモノト認ムベシ「レニン」主義ハ(1)斯ノ如キ甚シキ不合理ヲ闡明シ(2)白色人種ト有色人種、歐洲民族ト「アジア」民族文明民族ト帝國主義ノ奴隸タル非文明民族トノ間ニ存シタル障壁ヲ打破シ(3)民族問題ト植民地問題ヲ結合セリ

之ニ因リ從來部分的國內問題トシテ取扱ハレ來リタル民族問題ハ今ヤ一般的且國際的問題即チ隸屬國及植民地ノ抑壓民族ヲ帝國主義ノ羈絆ヨリ解放セントスル世界的問題タルニ至レリ

(2) 内部的性質ノ差

(イ) 民族自決權ノ内容(被抑壓民族ノ完全ナル分立ト獨立ノ國家的存在)

從來民族自決權ノ原則ハ通常誤解セラレ單ニ民族ノ自治權ヲ意味スルモノト解セラレ其ノ意義縮少セラルルコト稀ナラザリシガ第二「インターナショナル」ノ二三ノ領袖ハ自治權ヲ

政治的自治權及文化的自治權ノ二者ニ分チ所謂自決權ヲ以テ民族ノ文化的自治權即チ被抑壓民族ガ自己固有ノ文化的施設ヲ所有スルノ權利ナリトシ民族自決權ノ意義ヲ更ニ縮少シ其際政治的自治權ガ支配民族ノ手中ニ在ルト否トハ之ヲ問ハザリキ斯クテ從來領土併合ニ反對スル武器トシテ使用セラレタル民族自決權ノ思想ハ今ヤ領土併合ヲ辯護スルノ手段ニ變ゼントスルノ危険ヲ冒スニ至レリ

然ルニ「レニン」主義ハ自決權ノ概念ヲ擴張シ隸屬國及植民地ノ被抑壓民族ガ (一)完全ニ分離シ且 (二)獨立ノ國家的存在ヲ爲スベキ權利ヲ意味スルモノトナセリ

茲ニ於テ所謂民族自決權ヲ自治權ノ意義ニ解シ以テ領土併合ヲ辯護スルヲ得ザルニ至レリ加之民族自決ノ原則ハ社會「シヨウビニスト」ガ帝國主義戰爭中大衆ヲ欺瞞スル手段トシテ用ヒタルモノナルガ今ヤ右原則自體モ (一)所有帝國主義的野心及「シヨウビニスト」ノ陰謀ヲ暴露シ且ツ (二)國際主義ノ精神ニ於テ大衆ヲ啓蒙スルノ手段タルニ至レリ

(ロ) 被抑壓民族ノ問題ハ從來一般ニ純然タル法律問題トシテ取扱ハレタリ帝國主義ノ支配ノ下ニ於テハ民族ノ一團體(少數)ガ他ノ團體ヲ搾取シ其ノ上ニ生存セルモノニシテ斯ノ如キ支配ノ下ニ於テハ所謂民族ノ平等ハ被抑壓民族ヲ殘酷ニ蔑辱スルモノナリ而ルニ第二

「インターナショナル」ノ諸黨ハ民族ノ平等權ニ關シテ儀式張リタル宣言ヲ爲シ民族ノ平等ニ付キテハ幾多ノ宣言ヲ發シ以テ右事實ヲ蔽ハントセリ
今日ニ於テハ民族問題ニ關スル斯ノ如キ「ブルジョア」的的法律的態度ハ自ラ消滅シ「レニン」主義ハ民族問題ヲ單ナル宣言ニ止メズ之ヲ現實問題トシテ取扱ヒ且ツ民族ノ平等ニ關スル總テノ宣言ハ單ニ宣言タルニ止ラズ被抑壓民族ノ解放運動ヲ直接支持セザルベカラザルモノニシテ若シ然ラザレバ斯ノ如キ宣言ハ何等内容ナキ虛偽ノ宣言タルニ至ルベキ事ヲ聲明セリ

斯クテ被抑壓民族ノ問題ハ被抑壓民族ガ眞ノ意義ニ於ケル民族ノ平等及獨立ノ國家的存存ヲ得ントシテ帝國主義ト抗爭スル場合ニ於テ右被抑壓民族ニ對シ不斷ニ眞ノ支援ヲ與フベキ事ヲ意味スルモノトナレリ

(ハ) 「プロレタリア」革命問題ノ一部ナリ

民族問題ハ從來資本主義ノ支配帝國主義ノ顛覆及「プロレタリア」革命ノ一般問題トハ何等關係ナキ孤立セル獨立ノ問題トシテ取扱ハレタルガ右ハ社會改良主義ノ見解ニ基クモノニシテ植民地ニ於ケル解放運動ト直接聯合セズトモ「プロレタリア」ハ歐洲ニ於テ勝利

ヲ得ベク (二) 民族問題植民地問題ハ「プロレタリア」革命トハ別ニ且ツ帝國主義ニ對シテ革命的戰闘ヲ爲スコト無シニ平穩ニ遂行シ得ベキモノナルコトハ默認セラレタリ

斯ノ如キ反革命的見地ハ今日ハ既ニ終焉セルモノト認ムベク (一) 民族問題ハ只ニ「プロレタリア」革命ト關聯シ且ツ其ノ基礎ノ上ニ於テノミ解決セラレ得ル事及 (二) 西歐ニ於テ革命ノ勝利ヲ收メンガ爲メニハ帝國主義ニ對スル隸屬國及植民地ノ解放運動ト革命上ノ聯絡ヲ保持セザルベカラザル事ハ「レニン」主義ノ證明スル處ニシテ帝國主義戰爭及露國革命ハ之ヲ裏書セリ民族問題ハ「プロレタリア」革命ノ一般の問題即チ「プロレタリア」獨裁ノ問題ナリ

二、被抑壓民族ノ解放運動ト「プロレタリア」革命

(1) 民族問題解決ノ原則

民族問題ノ解決ニ際シテハ「レニズム」ハ次ノ諸原則ヨリ出發ス

(a) 世界ハ二個ノ陣營ニ分タル一ハ文明民族ノ陣營ニシテ文明民族ハ金融資本ヲ擁シ且地表人口ノ著シキ多數ヲ擁取ス他ハ植民地及隸屬國ノ被抑壓被搾取民族ノ陣營ニシテ彼等ハ世界人口ノ大多數ヲ占ムルモノナリ

- (b) 金融資本ニ依リ抑壓セラレ且ツ搾取セラルル植民地及隸屬國ハ帝國主義ノ最大ナル豫備軍ニシテ且ツ最も重要ナル根源ナリ
- (c) 帝國主義ニ對スル隸屬國及植民地ノ革命運動ハ抑壓及搾取ヨリ彼等ヲ解放スル唯一ノ道ナリ
- (d) 最も重要ナル植民地及隸屬國ハ既ニ民族解放運動ノ道ヲ辿リ來レルガ右ハ必ズヤ世界資本主義ノ危機ニ至ルモノナリ
- (e) 先進國ニ於ケル「プロレタリア」運動ト植民地ニ於ケル民族解放運動トハ其ノ利害關係上合同シ共通ノ敵タル帝國主義ニ對シテ共同ノ戰線ヲ作ルニ至ルモノナリ
- (f) 先進國ニ於テ「プロレタリア」ガ勝利ヲ博シ又被抑壓民族ヲ帝國主義ノ羈絆ヨリ解放スル爲メニハ共同ノ革命戰線ヲ作成シ且ツ之ヲ鞏固ナラシメザルベカラズ
- (g) 抑壓國ノ「プロレタリア」ガ被抑壓民族ノ解放運動ヲ直接且ツ決定的ニ支援スルニアラザレバ共同戰線ヲ作成スルコトハ不可能ナリ、何トナレバ他ノ民族ヲ抑壓スルハ自由タリ得ザルヲ以テナリ（「マルクス」）
- (h) 斯ノ如キ支援ハ「民族ノ分離權及獨立國家トシテノ存在權」ナル標語ヲ標榜シ擁護シ且

ツ實現スル事ヲ意味スルモノナリ

斯ノ如キ標語ヲ實現スルニアラザレバ社會主義勝利ノ物質的基礎タル單一世界經濟ニ於テ民族ガ相互ニ結合シ且ツ協同スルコトヲ得ザルベシ

- (i) 右結合ハ民族相互ノ信賴及同胞的關係ヲ基礎トシテ成立スルモノニシテ只自由意思ニ基クモノナラザルベカラズ

(2) 民族問題ノ二方面

斯ノ如クニシテ民族問題ニ於テハ二個ノ方面二個ノ傾向ヲ生ズ (一)ハ帝國主義ノ羈絆ヨリ政治的ニ解放シ且ツ獨立ノ民族國家ヲ形成セントスル傾向ニシテ帝國主義ノ壓迫及植民地ノ搾取ニ原因スルモノナリ (二)ハ民族ノ經濟的接近ノ傾向ニシテ右世界市場及世界經濟ノ形成ト關聯シテ成立スルモノナリ

「レニン」ハ此ノ點ニ關シ左ノ如ク述ブ

「資本主義ノ發達ヲ見ルニ民族問題ニ於テ二個ノ歴史的傾向ヲ認メ得ベシ (一)ハ民族生活民族運動ノ覺醒、民族ニ對スル總テノ壓迫ニ對スル戰爭、獨立ノ民族國家ノ創成ニシテ (二)ハ民族相互間ニ於ケル有ユル關係ヲ發達セシメ且ツ相互間ノ交渉ヲ頻繁ナラシムル事、民族的

障壁ノ破壊及資本、經濟生活、政治及科學等ノ範圍ニ亘リ國際的單一組織ヲ創成スルコト右二個ノ傾向ハ資本主義ノ普通的世界の原則ニシテ第一ノ傾向ハ資本主義發達ノ初期ニ於テ顯著ニシテ第二ノ傾向ハ資本主義爛熟時代ノ特徴ナリ

(3) 民族問題ノ二重性

右二個ノ傾向ハ帝國主義ニトリテハ相調和スベカラザル矛盾ナリ、蓋シ帝國主義ハ植民地ヲ搾取シ且ツ之ヲ帝國主義ノ單一體ノ内ニ強制的ニ保持スルニアラザレバ生存不能ニシテ且ツ帝國主義ハ只併合ト植民地征服ノ方法ニ依リテノミ民族相互間ノ接近ヲ齎シ得ベキモノナレバナリ

之ニ反シ共產主義ニトリテハ右二個ノ傾向ハ同一事(被抑壓民族ヲ帝國主義ノ羈絆ヨリ解放スルコト)ノ兩面ニ過ギズ何トナレバ共產主義ハ(イ)各民族ヲ結合シテ單一ノ世界經濟ヲ構成スルコトハ只相互間ノ信頼及自發的一致ニ基キテノミ可能ニシテ(ロ)民族ノ自發的結合ハ帝國主義ノ一體ヨリ植民地ヲ分離シテ獨立國家タラシムルニ依リテノミ達成シ得ベシト爲スヲ以テナリ

(4) 労働者教育ニ關スル共產主義ノ二重の任務

故ニ支配民族(英、佛、米、伊、日等)ニ於ケル所謂社會主義者ノ奉ズル「シヨウビニズム」ニ對シテハ頑強ニ且不斷ニ且決定的ニ戰闘セザルベカラズ彼等ハ自國ノ帝國主義的政府ニ抗爭スルコトヲ欲セズ且ツ彼等ハ彼等ノ植民地ニ於ケル被抑壓民族ガ奴隸的地位ヨリ脱シ獨立國家トシテ分離センガ爲メ行フ戰闘ヲ支持スルコトヲ欲セズ

斯ノ如キ戰闘ナクバ眞實國際主義ノ精神ニ於テ即チ隸屬國及植民地ニ於ケル勤勞大衆ヘノ接近ヲ圖リ且「プロレタリア」革命ヲ眞實準備スル意義ニ於テ支配民族ノ労働者階級ヲ教育スルコトハ之ヲ考ヘ得ザルベシ、舊帝政時代ノ露國ノ被抑壓民族ヨリノ同情ト支援トヲ得ルニアラザレバ露國革命ハ不成功ニ了リ「デニキン」「コルチャック」ノ徒ハ掃蕩セラレザリシナルベシ而レドモ此等民族ノ同情ト支援ヲ得ル爲メニハ露國「プロレタリア」ハ先ツ第一ニ帝國主義ノ拘束ヲ打破シ此等被抑壓民族ヲ民族的羈絆ヨリ解放セザルベカラザリキ然ラザレバ「ソヴェト」政權ヲ確定シ眞ノ國際主義ヲ養成シ且ツ「ソヴェト」共和國聯邦ナル名稱ヲ有スル彼ノ大規模ノ民族共同團體ヲ創立スルヲ得ザリシナラン而シテ右「ソヴェト」聯邦ハ將來各民族ガ單一ノ世界經濟ニ結合セラルル場合ノ模範タルベキモノナリ

其ノ結果トシテ被抑壓民族ノ社會主義者ノ民族的孤立及偏狹ニ對シテ戰闘スルノ必要アリ彼

等ハ其ノ民族の鐘樓ヨリ出ヅル事ヲ欲セズ且ツ彼等ノ解放運動ト其ノ支配國ノ「プロレタリア」運動トノ相互關係ヲ解セザルモノナリ

斯ノ如キ戰闘ナクバ被抑壓民族「プロレタリア」ノ獨立運動ハ考フルコトヲ得ズ又被抑壓民族ノ「プロレタリア」ハ其ノ共通ノ敵ヲ打破シ且ツ帝國主義ヲ顛覆スルコトヲ目的トスル戰闘ニ於テ其ノ支配民族ノ「プロレタリア」ト連帶ノ責任ヲ有スルモノナルガ右階級の連帶ノ觀念モ之ヲ考フヲ得ザルベシ

斯ノ如キ戰闘ナラバ國際主義ハ不可能ナリ

右ハ抑壓及被抑壓民族ノ勞働大衆ヲ革命的國際主義ノ精神ニ於テ教育スルノ方法ナリ

故ニ問題ハ(一)被抑壓民族ノ革命的解放運動ノ内部ニ於テ革命ノ可能性猶存スルヤ否ヤ(二)若シ存スルトセバ右革命ノ可能性ヲ「プロレタリア」ノ革命ノ爲メ利用シ得ルノ希望アリヤ否ヤ換言セバ帝國主義的「ブルジョア」ノ豫備軍タル隸屬國及植民地ヲ變ジテ革命的「プロレタリア」ノ豫備軍即チ「プロレタリア」ノ盟友タラシムル希望アリヤ否ヤト云フニ在リ
「レニン」主義ハ此ノ點ニ關シ(一)被抑壓國ニ於ケル民族解放ノ運動ハ革命ノ能力ヲ包ムモノニシテ(二)共同ノ敵ヲ撲滅シ且ツ帝國主義ヲ打破スル爲メニ利用スルコトヲ得ベシ帝國主義ノ

機械的發達帝國主義戰爭及露國革命ハ此ノ點ニ關スル「レニン」主義ノ結論ヲ完全ニ確證セリ

從テ「プロレタリア」ガ被抑壓民族及隸屬民族ノ國民的解放運動ヲ斷乎トシテ且ツ積極的ニ支持スベキ必要ヲ生ズ而レドモ「プロレタリア」ハ之ヲ以テ總テノ民族運動ヲ如何ナル場合ニ於テモ支持セザルベカラザルモノト解スベカラズ民族運動ニシテ帝國主義ヲ弱メ又ハ顛覆スルコトヲ目的トスルモノニ限り之ヲ支持スベシ

民族權ノ問題ハ孤立シ且ツ獨立ノ存在ヲ有スル問題ニアラズシテ「プロレタリア」革命ナル一般の問題ノ一部ニシテ其ノ全般ニ從屬スベク又其ノ全般の見地ヨリシテ考察セラレザルベカラズ

四十年前ニ於テ「マルクス」ハ波蘭及洪牙利ノ民族運動ヲ支持シ「チエコスロバキア」及南「スラブ」ノ民族運動ニ反對セリ「チエコスロバキア」及南「スラブ」ガ當時反動的國民ニシテ歐洲ニ於ケル露國ノ前哨即チ專制主義ノ前衛タルニ反シ波蘭及洪牙利ハ革命的國民ニシテ專制政治ニ反抗セルガ爲メナリ即チ「チッコ」及南「スラブ」ノ民族運動ヲ支持スルコトハ當時ノ狀況ニ於テハ歐洲ニ於ケル革命運動ノ最モ危險ナル敵即チ「ツァーリズム」ヲ間接

ニ支援スル所以ナリシヲ以テナリ

第二款 民族問題及植民地問題ニ關スル「テーズ」

(一) 「ブルジョア」的民主主義ハ其ノ本質上一般の平等問題ニ關シ又殊ニ民族間ノ平等問題ニ關シテモ抽象的の見解ヲ持ス

「ブルジョア」的民主主義ハ「人格ノ平等」ナル觀念ヨリ出發シテ財產所有者ト「プロレタリア」搾取者ト被搾取者間ノ形式的法律の平等ヲ宣言シ以テ大ニ被搾取者ヲ欺瞞ス

平等ノ觀念ハ貨物ノ生産關係ニ於ケル平等ヲ反映スルモノナリ然ルニ「ブルジョア」ハ「人格ノ平等」ナル實益ナキ觀念ヲ口實トシテ平等ノ觀念ヲ以テ階級ヲ打破セントスル共產主義ノ戰鬥ニ對抗スル武器タラシム

平等ノ要求ノ真意ハ只階級ヲ打破セントスルノ要求ナリ

(二) 共產黨ハ「ブルジョア」ノ羈絆ヲ脱セントスル「プロレタリア」ノ階級戰ヲ自發的ニ代表スルモノニシテ「ブルジョア」的民主主義ニ對シテ戰鬥シ又其ノ虛言及虛偽ノ假面ヲ剝グ事ヲ以テ主タル任務トナスモノナルヲ以テ右任務ニ從ヒ民族問題ニ於テモ亦抽象的形式の原則ヲ採ル事ナク第一ニ歴史的環境殊ニ歴史的環境ヲ精確ニ評價シ第二ニハ被抑壓階級勤勞大衆被

搾取者ノ利益ヲ以テ所謂國民ノ利益ナル一般の概念ヨリ截然區別ス蓋シ所謂國民的利益ナル一般の概念ハ支配階級ノ利益ヲ意味スルモノナレバナリ第三ニハ被抑壓者トシテ獨立ノ存在ヲ有セズ又平等ノ地位ヲ有セザル民族ヲ以テ抑壓者、搾取者及平等者タル民族ヨリ同様截然區別シ以テ「ブルジョア」民主主義ノ欺瞞ニ對抗セサルヘカラス「ブルジョア」民主主義ハ資本主義及帝國主義ノ時代ノ特徴トシテ資本主義ノ發達セル富裕ナル國家ノ少數カ全世界ノ總人口ノ驚クヘキ多數ヲ財政上ノ關係ニ於テ或ハ植民地關係ニ於テ奴隸タラシムルニ至ルノ事實ヲ蔽フモノナリ

(三) 一九一四年帝國主義戰爭ハ全世界ノ奴隸的民族及被抑壓階級ノ總テニ對シ「ブルジョア」的民主主義ノ虛言ヲ特ニ明瞭ニ暴露セリ

戰爭ノ兩當事者側共ニ民族ノ自由解放及民族ノ自決ヲ根本原則トスルモ一方ニ於テハ「プレス」トリトウスク」及「ブカレスト」ノ平和條約他方ニ於テハ「ベルサイユ」「サンゼルマン」ノ平和條約ハ勝利者タル「ブルジョア」ガ何等ノ顧慮ナク只其ノ經濟的利益ニ從ヒ其ノ國境ヲモ定メタルモノナルコトヲ示セリ「ブルジョア」ニトリテハ國境モ亦單ニ商業ノ對象物ニ過ギズ所謂國際聯盟ハ戰爭ノ勝利者ガ相互ニ其ノ盜賊的行爲ヲ保障セルモノニ外ナラス「ブルジョア」ハ民族の統一ヲ回復シ又其ノ分離セル領土ヲ再ビ併合セントスルノ努力ヲ以テ來ルベキ新戰爭

ニ對シカヲ集中セントスル戰敗者ノ企圖ニ外ナラザルモノトナス然レドモ人工的ニ分離セラレタル民族ヲ再ビ統合スルコトハ「プロレタリア」ノ利益ニモ亦適合スル所以ニシテ經濟上ニ於ケル民族ノ自由ト統一ハ革命的戰爭ニ依リ且ツ「ブルジョア」ヲ顛覆シテ後初メテ「プロレタリア」ガ達成シ得ベキモノナリ國際聯盟及大戰後ニ於ケル帝國主義國家ノ全政策ハ此眞理ヲ一層明確ニ且ツ峻烈ニ闡明シ、到ル處ニ於テ文明國ノ「プロレタリア」竝ニ植民地及非獨立國ノ凡テノ勤勞大家ノ革命的戰鬥ヲ益々激烈ナラシメ且資本主義ノ下ニ於テモ平和的共同生活ヲ營ミ得ベク又民族ノ平等ヲ確立シ得ベシトスル小「ブルジョア」階級ノ妄想ヲ打破スル機運ヲ促進セリ

(四) 民族問題及植民地ニ於ケル共產「インターナショナル」ノ全政策ハ主トシテ大地主及「ブルジョア」ノ顛覆ノ目的ヲ以テ總テノ國總テノ民族ノ「プロレタリア」及勤勞大衆ヲ結合シテ革命的戰鬥ヲ遂行スル事ヲ以テ其ノ根本ト爲スベシ資本主義ニ對スル勝利ハ只斯ノ如キ結合ニ依リテノミ保障セラルベク先ツ資本主義ニ對シテ勝利ヲ博スルニアラザレバ民族ノ抑壓及不平等ヲ除去スルコト不可能ナリ

(五) 國際政局ヲ見ルニ「プロレタリア」ノ獨裁ハ既ニ其ノ緒ニ就キ露國「ソヴィエト」共和國ニ對

スル全世界「ブルジョア」ノ戰鬥ニハ必ズ國際政局上ノ總テノ現象ノ中心タルニ至レリ
露國ハ一方ニ於テハ各國勤勞者前衛ノ「ソヴィエト」運動ノ中心タリ又他方ニ於テハ植民地及被抑壓民族ノ民族的自由解放運動ノ中心タリ

植民地及被抑壓民族ハ其ノ苦キ經驗ニ依リ革命的「プロレタリア」ト結合シ「ソヴィエト」政權ニ依リ世界ノ帝國主義ヲ征服スル以外ニ自救ノ道ナキヲ確信スルニ至レリ

(六) 現今吾人ハ各國勤勞者ノ接近ヲ單ニ承認シ又ハ宣言スルニ止マラズ各國民及各植民地ニ於ケル自由解放運動ト「ソヴィエト」露國トノ最モ緊密ナル同盟ヲ實現スルノ政策ヲ遂行セザルベカラス

其際右同盟ノ形式ハ(イ)各國ノ「プロレタリア」間ニ於ケル共產運動發達ノ楷梯又ハ(ロ)文化ノ未タ進歩セザル各國及民族ノ革命的自由解放運動ガ如何ナル程度迄發達セルカニ依リ決定セラルベシ

(七) 聯邦制度ハ各國勤勞者ノ完全ナル統一ニ至ル迄ノ過渡的形式ナリ聯邦制度ハ實際上既ニ(イ)露國「ソヴィエト」共和國聯邦カ他ノ「ソヴィエト」共和國(過去ニ於テハ洪牙利、芬蘭、「ラトビヤ」現在ニ於テハ「アゼルバイジャン」及「ウクライナ」共和國)ニ對スル關係ニ於テノミナ

ラス(ロ)又露國「ソヴィエト」共和國聯邦自體ノ内部ニ於テモ未タ國家的存在又ハ自治ヲモ享有セサル民族ニ對スル關係(例ヘハ一九一九年及一九二〇年ニ露國聯邦内ニ建設セラレタル「バシキール」及「タタール」自治共和國)ニ於テ其ノ目的ニ適合スルコトヲ示セリ

(八) 此ノ點ニ關スル共產「インターナショナル」ノ任務ハ「ソヴィエト」制度及「ソヴィエト」運動ノ基礎ニ立脚スル聯邦ヲシテ一層ノ發達ヲ遂ゲシムルノミナラス其ノ經驗ヲ研究シ審査スルコトニ在リ

聯邦ヲ以テ完全ナル統一ニ達スル過渡的形式ト認メ益々鞏固ナル聯邦的結合ヲ作ルヘク努力セザルベカラズ

其ノ際左ノ點ヲ考慮セザルベカラズ

- (イ) 極メテ強力ナル軍隊ヲ有スル帝國主義ノ國家ニ圍繞セラルル露國ニトリテハ他ノ「ソヴィエト」共和國ト密接ナル結合關係ヲ設定スルニアラザレバ其ノ存立不可能ナル事
- (ロ) 「ソヴィエト」共和國ニ於テ密接ナル經濟同盟ヲ締結スルノ必要アリ、然ラザレバ帝國主義ニ依リ破壊セラレタル生産力ヲ復興シ且ツ勞働者ノ幸福ヲ保障スルコト不可能ナリ
- (ハ) 總テノ國ノ「プロレタリア」ニ依リ規定セラルル共同ノ「プログラム」ニ從ヒ統一セラレ

タル單一ノ世界經濟組織ヲ創設セント努力スルコト此ノ傾向ハ既ニ資本主義ノ下ニ於テ公然表顯セルカ今ヤ社會主義ニ因リ其ノ發達ト完成ヲ期ス

(九) 共產「インターナショナル」ノ民族政策ハ「ブルジョア」民主主義ガ固持スルカ如キ實際上ハ何等ノ效果ナキ形式的平等ヲ以テ満足スルヲ得ズ總テノ資本主義國家ニ於テハ民主主義的憲法ノ存在スルニ拘ラズ、絶エズ民族ノ平等及少數民族ノ權利侵害セララルモノニシテ右事實ニ付キテハ共產黨ノ其ノ宣傳及煽動活動ノ全般ニ於テノミナラズ議會ノ内外ニ於テスラ之ヲ摘發セザルベカラズ

尙左ノ諸點ヲ必要トス

- (イ) 「ソヴィエト」制度ハ「ブルジョア」ニ對スル戰闘ニ於テ先ツ「プロレタリア」次デ勤勞大衆ヲ統一シ以テ各民族ニ對シ眞實ノ平等ヲ保障シ得ル唯一ノ制度ナルコトヲ終始闡明スルヲ必要トス
- (ロ) 從屬的ニシテ且ツ不平等ノ地位ニ在ル諸民族(例ヘバ「アイルランド」「アメリカネダロ」等)及植民地ノ革命運動ハ當該國ノ共產黨直接之ヲ支持スルノ必要アリ
- (ニ) 第二「インターナショナル」所屬ノ中間派政黨ニ於テノミナラズ同「インターナショナル」ヲ

脱退セル政黨ニ於テモ單ニ言葉上ハ國際主義ヲ承認シ事實上ニ於テハ其ノ宣傳煽動及實際活動ノ全般ニ亙リ小「ブルジョア」的國家主義及平和主義ヲ混ズルコト屢々ナリ尙斯ノ如キ現象ハ共產黨ト自稱スル政黨ニ於テスラ稀ナラズ

「プロレタリア」ノ獨裁ヲ國家的獨裁(即チ只一國ニ於テノミ存在シ獨立シタル世界政策ヲ遂行スル能力ナキ獨裁)ヨリ國際的獨裁(即チ少クトモ重要ナル二三國家ニ亙ルノ「プロレタリア」獨裁ニシテ世界政策ニ對シテ決定力ヲ有スルモノ)ヘ改造セントスル問題ノ熾烈トナルニ從ヒ深キ根底ヲ有スル小「ブルジョア」ノ國民的偏見ニ對シテ益々戰闘セザルベカラズ

小「ブルジョア」ノ國家主義ハ國際主義ヲ以テ民族ノ平等ヲ承認スルモノナリト宣言シ斯ノ如キ承認ハ只言葉ノ上ニ止ル事ヲ無視シ國民的利己主義ヲ以テ侵スベカラザルモノト思考ス之ニ反シ「プロレタリア」ノ國際主義ハ左ノ事項ヲ要求ス

(1) 各國ニ於ケル「プロレタリア」ノ戰闘ヲシテ國際的範圍ニ亙ル「プロレタリア」ノ戰闘ニ追從セシム

(2) 「ブルジョア」ニ對シテ勝利ヲ博セル國民ハ國際的資本主義ヲ顛覆スル爲メ最大ノ國民的犧牲ヲ拂フベキ能力ト覺悟ヲ有セザルベカラズ

資本主義ノ完全ニ發達シ「プロレタリア」ノ前衛トシテ勞働黨ノ存在スル國家ニ於テハ國際主義ノ概念及政策ニ關スル「オポチュニス」及小「ブルジョア」的平和主義者ノ曲解ニ對シテ抗爭スルコトハ第一ニシテ且最モ重要ナル任務ナリ

未ダ資本主義發達ノ極度ニ達セザル國家及民族、封建政治又ハ族長政治ノ時期ニ在ル國家民族竝族長的農業時期ニアル國家及民族ニ關シテハ左ノ諸點ヲ注意スベシ

(a) 總テノ共產黨ハ其ノ實際的行動ヲ以テ各國ニ於ケル革命的自由運動ヲ支持セザルベカラズ其ノ援助ノ形式ニ付キテハ當該國ニ共產黨ノ組織アル場合ニハ該共產黨ニ於テ論究セラルベシ

植民地タルノ理由ニ依リ又ハ財力ノ乏シキ理由ニ依リ資本主義ノ發達ニ遅ルル民族ニ對シテハ之ガ支配國ノ勞働者ハ先第一ニ右ニ對シ實力の支援ヲ與フベキ義務ヲ負フ

(b) 宗教「キリスト」教等ノ反動的且中世紀的威化ニ對シテハ絶對的ニ抗爭スルコト

(c) 汎「イスラム」教汎亞細亞運動及其ノ類似ノ思潮ニシテ歐米ノ帝國主義ニ反對スル自由解放運動ヲ利用シテ土耳其日本ノ帝國主義貴族、大地主、僧侶等ノ權力ヲ強大ナラシムルノ企圖ヲ有スルモノニ對シテ戰闘スルノ必要アリ